

ミャンマー連邦共和国
初等教育カリキュラム改訂プロジェクト
中間レビュー調査報告書

2019年10月

独立行政法人
国際協力機構（JICA）
人間開発部

人間
JR
19-049

ミャンマー連邦共和国
初等教育カリキュラム改訂プロジェクト
中間レビュー調査報告書

2019年10月

独立行政法人
国際協力機構（JICA）
人間開発部

目 次

略語表

中間レビュー調査結果要約表（和文）

第1章 調査の概要	1
1-1 プロジェクトの概要	1
1-2 調査の目的	1
1-3 調査団の構成	2
1-4 調査日程	2
第2章 評価の手法	4
2-1 調査方法	4
2-2 主な調査項目	4
第3章 プロジェクトの実績	6
3-1 投入実績	6
3-1-1 日本側投入	6
3-1-2 ミャンマー側投入	6
3-2 プロジェクトの達成状況	7
3-2-1 成果	7
3-2-2 プロジェクト目標	13
3-2-3 上位目標	15
3-3 実施プロセス	17
第4章 評価結果	18
4-1 5項目評価	18
4-1-1 妥当性	18
4-1-2 有効性	19
4-1-3 効率性	20
4-1-4 インパクト	22
4-1-5 持続性	24
4-2 結論	27
第5章 提言と教訓	28
5-1 提言	28
5-2 教訓	30

付属資料

ミニッツ33

ANNEXES

- Annex1 Schedule of Mid-term Review
- Annex2 Project Design Matrix (PDM) ver.3 (revised on 1 June 2017)
- Annex3 Plan of Operations (PO)
- Annex4 Inputs by Japanese Side
- Annex5 Inputs by Myanmar Side
- Annex6 List of Introduction Training
- Annex7 Progress of Activities
- Annex8 Evaluation Grid

略 語 表

ADB	Asian Development Bank	アジア開発銀行
ASEAN	Association of Southeast Asian Nations	東南アジア諸国連合
CCA	Child-Centered Approach	児童中心型教育
CDT	Curriculum Development Team	カリキュラム開発チーム
CESR	Comprehensive Education Sector Review	包括的教育セクターレビュー
C/P	Counterpart	カウンターパート
CPD	Continuous Professional Development	継続的な職能開発
CREATE	The Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education	初等教育カリキュラム改訂プロジェクト（プロジェクトの呼称）
DBE	Department of Basic Education	基礎教育局
DERPT	Department of Education Research, Planning and Training	教育調査・計画・訓練局
DHE	Department of Higher Education	高等教育局
DTP	Desk Top Publishing	デスクトップパブリッシング、卓上出版
EC	Education College	教員養成校
ESD	Education for Sustainable Development	持続可能な開発のための教育
ETVSCG	Education & TVET Sector Coordination Group	教育・職業技術訓練教育セクター調整グループ
EYE	Equipping Youth for Employment Project	中等教育カリキュラム改訂プロジェクト
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
MM	Man Month	人月
M/M	Minutes of Meeting	ミニッツ、協議議事録
MMK	Myanmar Kyat	ミャンマーチャット（通貨）
MSDP	Myanmar Sustainable Development Plan	ミャンマー持続可能な開発計画
NCC	National Curriculum Committee	国家カリキュラム委員会
NEPC	National Education Policy Commission	国家教育政策審議会
NESP	National Education Strategic Plan	国家教育戦略計画
NLD	National League for Democracy	国民民主連盟
PDM	Project Desing Metrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PLAF	Primary Learning Assessment Framework	初等学習評価フレームワーク
PO	Plan of Operation	活動計画
SDGs	Sustainable Development Goals	持続可能な開発目標

SSWG	Sub-Sector Working Group	サブセクター・ワーキンググループ
STEM	Strengthening pre-service Teacher Education project	教員養成強化プロジェクト
SWC	Subject-wise Curriculum Committee	教科別カリキュラム委員会
TET	Teacher Education Team	教師教育チーム
UNESCO	United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization	国際連合教育科学文化機関
UNICEF	United Nations Children's Fund	国際連合児童基金

中間レビュー調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：ミャンマー	案件名：初等教育カリキュラム改訂プロジェクト
分野：教育	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：JICA 人間開発部基礎教育グループ 基礎教育第一チーム	協力金額（評価時点）：30 億 1,600 万円
協力 期間	(R/D)：2014 年 1 月 31 日 2014 年 5 月～2021 年 3 月 (6 年 10 カ月)
	先方関係機関：教育省 (MOE) 教育調査・計画・訓練局 (DERPT)、高等教育局 (CDHE)、基礎教育局 (DBE)
	日本側協力機関：株式会社パデコ、株式会社国際開発センター、教育出版株式会社
他の関連協力：	
<ul style="list-style-type: none"> ・技術協力「児童中心型教育強化プロジェクト・フェーズ 2」(2008～2012 年) ・「教育セクター情報収集・確認調査」(2012～2014 年) ・個別専門家派遣「教育政策アドバイザー」(2014～2017 年) (2017～2019 年) ・無償資金協力「教員養成校改善計画」(2014～2016 年) ・財政支援方式無償資金協力「洪水被災地域学校復旧計画」(2015～2020 年) 	
1-1 協力の背景と概要	
<p>ミャンマー政府は国際水準の教育の実現をめざし、国家教育法の制定や教育基本法の改定、学制改革や基礎教育行政の地方分権化等、大規模な教育改革に着手している。JICA はミャンマーが東南アジア諸国連合 (ASEAN) に加盟した 1997 年から、教育省が進める児童中心型教育 (CCA) の導入を支援すべく、先方からの要請に基づき、カリキュラム提言や教員研修等、基礎教育の質的向上に資する協力を継続してきた。他方、児童中心型授業の普及を継続的に支援してきたものの、半数以上の教科で10年以上改訂されていない教科書に基づき授業が実施され、依然として暗記中心のアセスメント (試験) が実施されるなど、授業で使われる教科書やアセスメントに大きな課題を抱えており、児童中心型教育の定着の障害となっていた。このような課題を克服し、教育改革を進めるために、教育省は「包括的教育セクターレビュー」(CESR、2012～2015) を実施し、それに基づき「国家教育戦略計画」(NESP、2016～2020) を策定するなど、教育改革に取り組んできている。</p> <p>本技術協力プロジェクト (以下、「本プロジェクト」という) は、前述の CESR に基づき、初等教育 (小学校 1～5 年生) 全 10 科目 (ミャンマー語、英語、算数、理科、社会、道徳・公民、体育、音楽、図工、ライフスキル) の新カリキュラムにのっとった教育活動が小学校及び教員養成校で実施されることを目標とし、新カリキュラムに基づく教科書・教師用指導書及びアセスメントツールの開発、新カリキュラム導入のための現職教員及び教員養成校向け研修、新カリキュラムに基づいた教員養成課程の整備に貢献するため、2014 年 5 月に開始された。</p>	

1-2 協力内容

(1) 上位目標

初等教育の新カリキュラムが全国で施行される。

(2) プロジェクト目標

初等教育の新カリキュラムに沿った教育活動が小学校及び教員養成校（EC）で実施される。

(3) 成果

1. 新カリキュラムフレームワークが開発される。
2. 新教科書及び教師用指導書が開発される。
3. 新しいアセスメントツールが開発される。
4. 新しい初等教育カリキュラムが教員養成校に普及する。
5. 新カリキュラムの普及活動が導入される。

(4) 投入（評価時点）

1) 日本側：総投入額 30 億 1,600 万円

- ・ 専門家派遣：累計 50 人（463.54MM）、①総括/教育計画、②副総括/カリキュラム開発、③副総括/教師教育、④算数教育、⑤理科教育、⑥総合学習/社会科教育、⑦国語教育、⑧英語教育、⑨体育教育、⑩美術教育、⑪音楽教育、⑫ライフスキル教育、⑬教科書開発、⑭教科書編集、⑮印刷技術、⑯アセスメント、⑰インパクト評価/研修、⑱教師教育政策、⑲教員養成研修計画/教材作成、⑳新カリキュラム導入研修計画/教材作成、㉑調整/研修管理/広報、㉒教員養成研修モニタリング評価、㉓国内研修
- ・ ローカルコスト負担：39 億 200 万 MMK（約 2,600 万円*）（ローカルコンサルタント、国内出張旅費など）
- ・ 機材供与：3 億 6,100 万 MMK（約 2 億 8,100 万円）（コンピューター、印刷機など）
- ・ 研修員受入れ：159 人（カウンターパートの本邦研修）

2) ミャンマー側：

- ・ 主要カウンターパート配置：66 人
- ・ ローカルコスト負担：539 億 5,000 万 MMK（約 38 億 8,400 万円）（教科書・教師用指導書の印刷費、現職教員研修など）

2. 評価調査団の概要

調査者	担当分野	氏名	所属
	団長/総括	水野 敬子	JICA 国際協力専門員（教育）
	協力企画	徳田 由美	JICA 人間開発部基礎教育第 1 チーム 企画役
	評価分析	伊藤 治夫	株式会社アイコンズ シニアコンサルタント
調査期間	2019 年 6 月 23 日～7 月 13 日		評価種類：中間レビュー

* 本報告書内では、JICA 統制レート 1MMK = 0.074 円（2019 年 5 月）を使用した。

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) 成果（アウトプット）

【成果 1】達成された。

指標 1-1 新カリキュラムフレームワークが提案される。【達成】

→ CESR 実施の過程で初等レベルのカリキュラムフレームワークが提案された。

指標 1-2 新カリキュラムフレームワークが教育省の提言に基づき国家カリキュラム委員会（NCC）により最終化される。【ほぼ達成】

→ 新カリキュラムフレームワークが 2014 年 12 月に完成し、2015 年 5 月に教育省により承認された。

→ 新カリキュラムフレームワークは新政権により再度検証され、2019 年に承認された。

【成果 2】計画通り達成している。

指標 2-1 新教科書及び教師用指導書が提案される。【計画通り達成】

→ 1～3 年生の教科書及び教員用指導書が完成した。

→ 現在 4 年生の教科書及び教員用指導書の作成が開始された。

指標 2-2 新教科書及び教師用指導書が教育省の提言に基づき NCC により最終化される。【計画通り達成】

→ 1～3 年生の教科書及び教員用指導書が承認された。

→ 4 年生の教科書の一部が NCC に提出されている。

【成果 3】計画通り達成している。

指標 3-1 サンプル問題集が開発される。【計画通り達成】

→ 1～3 年生のサンプル問題集が教育省によって承認された。

→ 4 年生のサンプル問題集は作成中である。

指標 3-2 サンプル問題集の活用ガイドラインが開発される。【進行中】

→ 「サンプル問題集活用ガイドブック」は現在作成中、2019 年 9 月までに完成予定。

→ 2018 年 8 月に小学校低学年の「授業評価に関するリファレンスブック」が DERPT に提出、承認された。

【成果 4】計画通り達成している。

指標 4-1 教員養成校の教材が開発される。【計画通り達成】

→ 初等 1、2 年生の教科書の重要な内容をまとめた EC 教材が作成された。

→ 初等 1～3 年生に関する EC 研修計画及び研修モジュールが作成された。

指標 4-2 教員養成校向け研修が政府の定めた日程で実施される。【進行中】

→ EC の各教科におけるマスタートレーナーの養成が EC 研修（1 年生）及び現職教員への中央研修（2、3 年生）として行われた。

【成果 5】計画通り達成している。

指標 5-1 現職教員研修パッケージが開発される。【計画通り達成】

→ 1～3 年生の研修パッケージが作成された。

- 4年生の研修パッケージの作成が開始された。
- 指標 5-2 現職教員研修が政府の定めた日程で実施される。【計画通り達成】
- 現職教員に対する1～3年生カリキュラム導入研修が実施された。
- 1～3年生の管理者対象の新カリキュラム導入研修が実施された。
- さまざまな媒体を用いた広報活動が実施された。

(2) プロジェクト目標：達成見込み

- 指標 1 新しい学校時間割がカリキュラム実施計画に基づき導入される。【達成】
- 各学校に新カリキュラムに沿った時間割が導入された。
- 指標 2 新しい教科書がカリキュラム実施計画に基づき導入される。【一部達成】
- インパクト調査対象校の81%が新学期開始前に6教科すべて、19%が一部の教科の新2年生の教科書を受領した。
- 残りの4教科（ライフスキル、図工、音楽、体育）の教科書は教員にのみ配布され、児童へは配布されていない。
- 指標 3 新カリキュラムに基づいた授業が実施される。【計画通り達成】
- 1～3年生の教員25万人以上が現職教員の導入研修を受講した。
- 指標 4 新しいアセスメントシステムがカリキュラム実施計画に基づき導入される。【計画通り達成】
- インパクト調査対象のほぼすべての学校が、「サンプル問題集」及び小学校低学年のための「授業評価に関するリファレンスブック」を受領した。
- 指標 5 教員養成教材が教員養成校にて使用される。【計画通り達成】
- EC教材のフォーマットとして、EC教官用の指導案、講義ノート、学生用の資料を提供した。
- EC教員向けの研修モジュールが開発され、中央研修において活用された。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性：高い

本プロジェクトの目標は「ミャンマー持続的開発計画 (MSDP) 及び国家教育戦略計画 (NESP) の方針と合致する。さらに、「日本・ミャンマー協力プログラム」との整合も確認された。教育省の教育改革のニーズにも合致しており、また採用されたアプローチも適切である。

(2) 有効性：やや高い

プロジェクト目標は、プロジェクト終了までに達成される見込みである。他方、4科目（ライフスキル、図工、音楽、体育）については、低学年の児童に配布されていないことは課題といえる。また、特に音楽や図工は導入研修以外にも研修の機会を求める意見が聞かれるなど、教員の一部は技量の不足により十分な授業実践ができていない。

(3) 効率性：中程度

既存のリソースを活用することでプロジェクト費用を最小限に抑え、計画通りアウトプット

が発現している。しかし、カリキュラム開発チーム（CDT）及び教師教育チーム（TET）メンバーの頻繁な異動、中等教育の教科書開発スケジュールとの重複に係る調整、現職教員及びECに対する新カリキュラム導入研修の質には改善の余地がある。

(4) インパクト：やや高い

現時点では、顕著なインパクトは現時点では確認できないが、上位目標はプロジェクトの完了後に達成される見込みが高い。また、新カリキュラムを用いた児童の算数の成績の向上が確認された。

(5) 持続性：中程度

本プロジェクトは政策面及び財務面での持続性は確保されている。他方、制度・組織面に関しては、ECや小・中学校からの教員により構成されているCDTメンバーは、プロジェクト終了後は元の所属に戻ることから、持続的カリキュラム改訂に向けた組織化が検討課題となる。技術面では、新カリキュラム導入研修だけでは教育現場での実践の定着は難しいため、教育省が進める「教員の継続的専門能力の開発（CPD）プログラム」への統合が求められる。

3-3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容

- ・初等教育の全10科目を包括的なアプローチで支援することにより、教科間の系統性が確保され、新カリキュラムの教育現場での導入が促進されている。また、全教科の教科書において同じ教育理念（すべてにおいて調和のとれた発達、21世紀型スキル、すべての教科の同等な扱い）が共有されているため、教師や児童が混乱することなく、導入が可能となった。
- ・教育省に設置された、教育・職業訓練教育セクター調整グループ（ETVSCG）内のカリキュラム、アセスメント、教員訓練/管理に係るサブセクター・ワーキンググループ（SSWG）への参画を通して、開発パートナーとの情報共有、関連プロジェクトとの調整、連携が促進された。

(2) 実施プロセス

- ・DERPTによる適切な研修管理が実施されるなど、特に導入研修の実施において、教育省の強いイニシアチブが確認された。また、ディストリクト及びタウンシップ研修を担当するDBEは研修参加を通じて、参加者との積極的な協議を行い新カリキュラム実施に必要な情報を提供するなどの貢献がみられた。
- ・本邦研修は、NCC、教科別カリキュラム委員会（SWC）メンバーのカリキュラム開発と教科書承認プロセスの基本概念、教科書開発プロセスと教材の必要性の理解に貢献し、参加者は研修終了後承認プロセスにおいて高いイニシアチブを発揮した。
- ・プロジェクトでは、導入研修の実施状況についてモニタリングを実施している。モニタリングにより抽出された課題は、次期導入研修に係る研修内容や管理方法に適切に反映されている。さらに、NCCが独自に1、2年生の新カリキュラムの実践について教育現場の状況をモニタリングするなど、新カリキュラム内容等の改善に向けた提案を取りまとめている。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容

- ・カスケード形式による研修は、カスケードレベルが低いほど、概念の伝達度が低下する。さらに、クラスターでの研修と比較して、多大な費用が必要となる。カスケード型研修は、全国のすべての教員に知識を伝達するためには適しているが、継続的な知識の定着のためにはクラスターもしくは学校レベルにおける教員研修を組み合わせる必要がある。

(2) 実施プロセス

- ・プロジェクト開始以来、CDT 及び TET メンバーの 44%が交代した。この頻繁な離任は、プロジェクトの有効性と効率性を妨げている。
- ・現職教員のための導入研修及び教科書の承認プロセスにおいて、中等教育の教科書作成を支援するアジア開発銀行（ADB）－中等教育カリキュラム改訂プロジェクト（EYE）プロジェクトの活動との重複により、研修講師の不足や中等、初等教育双方を担当する NCC、SWC による承認プロセスが遅滞する可能性が生じている。

3-5 結論

中間レビューの結果、本プロジェクトは計画通り進捗しており、設定された成果を発現している。また、評価 5 項目においては妥当性「高い」、有効性とインパクト「やや高い」、効率性と持続性は「中程度」と評価される。

3-6 提言（プロジェクト終了までに実施すべき事項）

(1) 全教科の教科書配布

4教科（ライフスキル、図工、体育、体育）の教科書が低学年（1～3年生）の児童にも配布される必要がある。

(2) 教科書に準拠した学習教材の配布

プロジェクトにより必要な学習教材の一覧が作成されているが、これら必要な量の学習教材が各学校に配布される必要がある。

(3) すべての校長の導入研修への参加

校長の支援は教室での指導と学習の実践を継続的に改善するための重要な要素であることから、すべての校長が新カリキュラムについての理解を深めるために、導入訓練に参加する必要がある。

(4) 導入研修の内容の「国家 CPD プログラム」への統合

教員が新カリキュラムを教室で実施できるように、今後効果的な学校/クラスターベースの CPD の実施を促進するために、導入研修で提供されている新カリキュラムの重要な要素を「国家 CPD プログラム」に統合する必要がある。

(5) 新カリキュラムについての保護者、一般市民への啓発活動

親や地域住民は学校での新カリキュラムの実施を支援するための重要な利害関係者であることから、彼らの理解を促進し、新たな教授・学習方法を受け入れられる必要がある。プロジェクトは PTA や地域住民が参加するプログラムとの連携により、新カリキュラムに係る広報活動の強化を支援することが求められ、また、プロジェクトが作成した広報媒体をこれらのプログラムで効果的に利用することを検討する。

(6) CDT の優秀な人材の獲得と業務の継続

CDT への人材配置は一時的なものであり、正式なキャリアパスも設定されていない。プロジェクト期間中及び終了後 CDT メンバーがカリキュラム開発を継続できるよう、教育省は CDT メンバーへの適切なインセンティブの付与の検討をする必要がある。

(7) カリキュラム改訂の組織・制度化

次期カリキュラム及び教科書改訂のプロセスに関しては、具体的なスケジュール、全体的な実施プロセスを定義し、必要な人材の職務、人数、処遇等を検討する。更には、カリキュラム改訂の組織・制度化について、次期 NESP の中で具体的に計画・承認し、必要な予算を確保する。

(8) プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) 指標の見直し

プロジェクト目標及び上位目標の指標のいくつかは、プロジェクト効果を測定するために適切でない、また他の指標との重複がみられることから PDM に記載された指標を修正する必要がある。

3-7 教訓

(1) 包括的なアプローチで全科目のカリキュラム開発を支援する意義

初等教育に係る全 10 科目を包括的なアプローチで支援することにより、科目間の系統性が確保され、新カリキュラムの教育現場での導入が促進される。また、全教科の教科書で同じ教育理念が共有されることにより、教員や児童が混乱することなく導入が可能となる。さらに、教科書作成のみならず、教員養成、現職教員研修、教員や保護者、地域住民等への広報活動を用いた包括的アプローチの採用は、新カリキュラム実施の促進につながった。

(2) 児童の学習成果を測定し、新カリキュラム理解促進につなげることの重要性

インパクト調査の結果、新カリキュラムは児童の学習成果向上に寄与している。新カリキュラム導入後に「新カリキュラムで児童の学びは改善されているのか、学力は落ちていないのか」といった教師や保護者の不安の声が聞かれたなか、プロジェクトが実施したインパクト調査の結果を示すことで、そのような不安を低減でき、新カリキュラムに基づく授業実践の推進に有効であった。

(3) 過去の基礎教育協力の蓄積による効果

ミャンマーへの協力において築いてきた信頼関係の蓄積のうえで、初等教育全 5 学年・全 10

科目のカリキュラム改訂という、教育改革の根幹にかかわる技術協力の要請につながった。また、過去の技術協力プロジェクトである「児童中心型教育プロジェクト」のカウンターパートが本プロジェクトの円滑な実施に貢献するなど、過去の支援による蓄積がプロジェクトの効果的実施を促進している。

第1章 調査の概要

1-1 プロジェクトの概要

ミャンマー政府は国際水準の教育の実現をめざし、国家教育法の制定や教育基本法の改定、学制改革や基礎教育行政の地方分権化等、大規模な教育改革に着手している。JICA はミャンマーが東南アジア諸国連合（Association of Southeast Asian Nations : ASEAN）に加盟した 1997 年から、教育省が進める児童中心型教育（Child-Centered Approach : CCA）の導入を支援すべく、先方からの要請に基づき、カリキュラム提言や教員研修等、基礎教育の質的向上に資する協力を継続してきた。他方、児童中心型授業の普及を継続的に支援してきたものの、半数以上の教科で 10 年以上改訂されていない教科書に基づき授業が実施され、依然として暗記中心のアセスメント（試験）が実施されるなど、授業で使われる教科書やアセスメントに大きな課題を抱えており、児童中心型教育の定着の障害となっていた。このような課題を克服し、教育改革を進めるために、教育省は「包括的教育セクターレビュー」（Comprehensive Education Sector Review : CESR）（2012～2015）を実施し、それに基づき「国家教育戦略計画」（National Education Strategic Plan : NESP）（2016～2020）を策定するなど、教育改革に取り組んできている。

本技術協力プロジェクト（以下、「本プロジェクト」という）は、前述の包括的教育セクターレビューに基づき、初等教育（小学校 1～5 年生）全 10 教科（ミャンマー語、英語、算数、理科、社会、道徳・公民、体育、音楽、図工、ライフスキル）の新カリキュラムにのっとった教育活動が小学校及び教員養成校で実施されることを目標とし、新カリキュラムに基づく教科書・教員用指導書及びアセスメントツールの開発、新カリキュラム導入のための現職教員及び教員養成校向け研修、新カリキュラムに基づいた教員養成課程の整備に貢献するため、2014 年 5 月に開始された。

(1) 上位目標

初等教育の新カリキュラムが全国で施行される。

(2) プロジェクト目標

初等教育の新カリキュラムに沿った教育活動が小学校及び教員養成校（Education College : EC）で実施される。

(3) 成果

1. 新カリキュラムフレームワークが開発される。
2. 新教科書及び教員用指導書が開発される。
3. 新しいアセスメントツールが開発される。
4. 新しい初等教育カリキュラムが教員養成校に普及する。
5. 新カリキュラムの普及活動が導入される。

1-2 調査の目的

- (1) プロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix : PDM）に沿って、投入実績、活動実績、計画達成度を確認する。

(2) 評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点から、プロジェクトの目標達成度及び成果等を評価する。

(3) プロジェクト終了時までにはプロジェクトの目標達成に向けての必要な活動を実施できるための提言を行う。

(4) 他の類似プロジェクトの実施に活用するため、教訓の取りまとめを行う。

1-3 調査団の構成

担当分野	氏名	所属
団長	水野 敬子	JICA 国際協力専門員（教育）
協力企画	徳田 由美	JICA 人間開発部基礎教育第一チーム 企画役
評価分析	伊藤 治夫	株式会社アイコンズ シニアコンサルタント

1-4 調査日程（2019年6月23日～7月13日まで）

日程	行程
6月23日（日）	成田発、ヤンゴン到着（評価分析団員）
6月24日（月）	JICA ミャンマー事務所との協議 プロジェクト専門家との協議
6月25日（火）	カウンターパート（Counterpart：C/P）〔カリキュラム開発チーム（Curriculum Development Team：CDT）、教師教育チーム（Teacher Education Team：TET）へのインタビュー〕
6月26日（水）	国家教育政策審議会（National Education Policy Commission：NEPC）、国家カリキュラム委員会（National Curriculum Committee：NCC）へのインタビュー 教科別カリキュラム委員会（Subject-wise Curriculum Committee：SWC）へのインタビュー
6月27日（木）	教育省カリキュラム開発チーム〔教育調査・計画・訓練局（Department of Education Research, Planning and Training：DERPT）〕へのインタビュー 高等教育局（Department of Higher Education：DHE）へのインタビュー
6月28日（金）	教育省基礎教育局（Department of Basic Education：DBE）へのインタビュー
6月29日（土）	資料整理
6月30日（日）	アジア開発銀行（Asian Development Bank：ADB）へのインタビュー（Skype）
7月1日（月）	国際連合児童基金（United Nations Children's Fund：UNICEF）へのインタビュー 国際連合教育科学文化機関（United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization：UNESCO）へのインタビュー
7月2日（火）	世界銀行へのインタビュー プロジェクト専門家との協議
7月3日（水）	EC 校長、教官インタビュー ヤンゴン到着（団長、協力企画団員） 団内打合せ

7月4日(木)	ヤンゴン州教育事務所、Thanlyin ディストリクト教育事務所、Tharketa タウンシップ教育事務所へのインタビュー
7月5日(金)	Loikaw に移動、小学校(2校)視察、校長へのインタビュー
7月6日(土)	資料整理
7月7日(日)	資料整理
7月8日(月)	プロジェクト専門家との協議
7月9日(火)	教育省 DERPT、DBE とのミニッツ (Minutes of Meeting : M/M) 協議
7月10日(水)	教育省 DHE とのミニッツ協議
7月11日(木)	JICA ミャンマー事務所との打合せ 教育大臣への報告、ミニッツ署名
7月12日(金)	在ミャンマー日本大使館報告 NEPC 及び NCC への報告 ヤンゴン発
7月13日(土)	成田着

第2章 評価の手法

2-1 調査方法

本調査は、「JICA 事業評価ガイドライン第2版」と「JICA 事業評価ハンドブック (ver1.1)」に沿って、ミャンマー側と JICA が選出した合同中間レビューチームにより、以下の調査方法に基づき実施された。

- ① PDM の検証
- ② 評価デザインの作成
- ③ 関連資料のレビュー
- ④ プロジェクト関係者への質問票配布
- ⑤ プロジェクト関係者に対するインタビュー

2-2 主な調査項目

調査項目は、プロジェクトの実績の確認、実施プロセスの把握、評価5項目の観点による評価に分けられる。詳細は付属資料 ミニッツの Annex8 Evaluation Grid を参照のこと。

(1) プロジェクトの実績の確認

プロジェクトの実績について、投入（インプット）、成果（アウトプット）、プロジェクト目標、上位目標について現行 PDM（Version 3、2017年6月1日改訂）に則して検証した。

(2) 実施プロセスの把握

実施プロセスについて、活動の進捗、C/P へのキャパシティ・ディベロップメント、プロジェクト・マネジメント、オーナーシップなどを確認し、プロジェクトの実施プロセスに影響を与えた貢献・阻害要因を把握した。

(3) 評価5項目に基づく評価

評価5項目、すなわち妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性の観点から、プロジェクトを、評価グリッドに沿って評価した。各評価項目の視点を以下に示す。中間レビュー調査のため、妥当性と効率性については、これまでの実績と現状に基づいて評価する。有効性とインパクト、持続性については、これまでの実績と活動状況から分析し、中間レビュー時点の予測や見込みを検証する。

妥当性	プロジェクト目標や上位目標、対象グループのニーズ、相手国側の政策や日本の援助政策との整合性があるかなど、プロジェクトの正当性、必要性を検証する。
有効性 (予測)	プロジェクトの実施による対象グループへの便益を確認し、プロジェクトが有効であるか否かを検証する。
効率性	プロジェクト資源の有効活用という視点から、効率的であったか否かを検証する。
インパクト (予測)	プロジェクトの実施がもたらす、より長期的な効果や波及効果を検証する。
持続性 (見込み)	プロジェクト終了後、プロジェクトにより発現した効果が持続するか否かを検証する。

第3章 プロジェクトの実績

3-1 投入実績

3-1-1 日本側投入

2019年5月末までの投入実績は以下のとおり（付録資料 ミニッツ Annex4 Inputs by Japanese Side 参照）。

(1) JICA 専門家チーム

累計 50 人（463.54MM）の専門家が派遣された。分野は以下のとおり。

①総括/教育計画、②副総括/カリキュラム開発、③副総括/教師教育、④算数教育、⑤理科教育、⑥総合学習/社会科教育、⑦国語教育、⑧英語教育、⑨体育教育、⑩美術教育、⑪音楽教育、⑫ライフスキル教育、⑬教科書開発、⑭教科書編集、⑮印刷技術、⑯アセスメント、⑰インパクト評価/研修、⑱教師教育政策、⑲教員養成研修計画/教材作成、⑳新カリキュラム導入研修計画/教材作成、㉑業務調整/研修管理/広報、㉒教員養成研修モニタリング評価、㉓国内研修

(2) 現地スタッフ

現時点で合計 30 名（3 名の非常勤スタッフを除く）が配置されている。分野は以下のとおり。

①ナショナルアドバイザー、②教科別カリキュラム調整員、③イラストレーター、④アセスメント、⑤デスクトップパブリッシング、卓上出版（Desk Top Publishing : DTP）トレーナー、⑥IT 及び⑦アドミ担当

(3) 本邦研修

11 の研修コースに合計 159 人のプロジェクト関連者が参加した。

(4) 機材

プロジェクト活動に必要な 69 品目の機材、合計 3 億 6,100 万 MMK（約 2,600 万円¹）が調達された。

(5) 現地経費

現地コンサルタント雇用、旅費、その他経費など 39 億 200 万 MMK（約 2 億 8,100 万円）が支出された。

3-1-2 ミャンマー側投入

2019年5月末までの実績は以下のとおり（付録資料 ミニッツ Annex5 Inputs by Myanmar Side 参照）。

1 本報告書内では、JICA 統制レート 1MMK=0.074 円（2019年5月）を使用した。

(1) C/P

合計 66 人の C/P (CDT : 53 人、TET : 9 人、DTP オペレーター : 4 人) が配置されている。

(2) ミャンマー側による支出

教科書・教員用指導書の印刷、教材配布、導入研修等のために合計 539 億 5,000 万 MMK (約 38 億 8,400 万円) が支出された。

3-2 プロジェクトの達成状況

3-2-1 成果

PDM ver. 3 (2017 年 6 月 1 日改訂) に沿った、5 つの成果 (アウトプット) の 2019 年 5 月末時点の達成状況は以下のとおりである。

(1) 成果 1 : 新カリキュラムフレームワークが開発される。

指標	成果
1-1 新カリキュラムフレームワークが提案される。	【達成】 ・CESR 実施の過程で初等レベルのカリキュラムフレームワークが提案された。
1-2 新カリキュラムフレームワークが教育省によって最終化される。	【ほぼ達成】 ・新カリキュラムフレームワークが 2014 年 12 月に完成し、2015 年 5 月に教育省により承認された。 ・新カリキュラムフレームワークは新政権により再度検証され、2019 年に承認された。

新カリキュラムフレームワークの開発

- ・新カリキュラムフレームワークは、すべてにおいて「調和のとれた発達 (五大能力)」「21 世紀型スキル」「すべての教科の同等な扱い」という 3 つの基本的な考え方から構成されている。新カリキュラムのフレームワークは、主に CESR のプロセスを通じて開発され、2014 年 12 月に完成し、2015 年 5 月に教育省によって承認された。
- ・一度承認された新カリキュラムフレームワークは、国民民主同盟 (National League for Democracy : NLD) による新政権の下で再検証され、主に高校卒業・大学入学試験に関連した中等教育カリキュラムの部分の見直しにより、2019 年に教育省による最終承認が行われたことが確認された。

(2) 成果2：新しい教科書及び教員用指導書が開発される。

指標	成果
2-1 新教科書及び新教員用指導書が提案される。	【計画通り達成】 ・1～3年生の教科書及び教員用指導書が完成した。 ・2019年6月現在、4年生の教科書及び教員用指導書が開発された。
2-2 新教科書及び新教員用指導書が教育省の提言の下、NCCにより最終化される。	【計画通り達成】 ・1～3年生の教科書及び教員用指導書が承認された。 ・4年生の教科書の一部がNCCに提出されている。

- ・承認されたカリキュラムフレームワークに基づいて、初等教育における教科別カリキュラム²が開発された。現在、初等教育の全教科別カリキュラムは完成しており、1～3年生の教科別カリキュラムはNCC及びSWCによって承認されている。
- ・1年生、2年生、3年生の教科書及び教員用指導書が承認され、それぞれ学年の開始に合わせて教育省により配布された。1～3年生までの教科書及び教員用指導書の承認日を表1に示す。

表1 NCCによる教科書及び教員用指導書の承認日

	1年生	2年生	3年生
教科書	2017年1月	2017年11月	2018年8～9月
教員用指導書	2017年1月	2017年12月～2018年1月	2018年11月～2019年1月

出所：CREATE

- ・2018年12月から、4年生の教科書及び教員用指導書の作成のため、教科別カリキュラムの見直しと修正が開始された。2019年6月現在、4年生の理科、算数及びミャンマー語の教科書の一部が承認に向けてNCCに提出された。

(3) 成果3：新しい学力評価ツール（アセスメントツール）が開発される。

指標	成果
3-1 新カリキュラムに知った試験問題集 ³ が開発される。	【計画通り達成】 ・1～3年生のサンプル問題集が教育省によって承認された。 ・4年生のサンプル問題集は作成中である。
3-2 同試験問題集の活用ガイドラインが策定される。	【進行中】 ・「サンプル問題集活用ガイドブック」は2019年6月現在作成中、2019年9月までに完成予定である。 ・2018年8月に小学校低学年の「授業評価に関するリファレンスブック」がDERPTに提出、承認された。

² 教科別カリキュラムは、カリキュラムフレームワークに記載されている種々の能力を十分に検討し、よりわかりやすい形で説明している。

³ 同成果品の名称は低学年では、点数を重視した試験実施を回避するといった「初等学習評価フレームワーク（PLAF）」の原則に沿って、「試験問題集」から「サンプル問題集」に変更された。

- ・ プロジェクトでは教室レベルのアセスメントの改訂に焦点を絞り、指標 3-1 にあたる新カリキュラムに則した「サンプル問題集」と、指標 3-2 の「サンプル問題集活用ガイドブック」の作成を行っている。
- ・ 「サンプル問題集」は、各学校で小学校教員が、授業中の学習活動としてのタスクや授業を通して習得した知識、理解、スキルなどの広範な能力を把握するために用いられることを目的とし、主題別に分類されたさまざまなテスト項目が含まれている。既に教育省により 1～3 年のサンプル問題集が承認され、残りのサンプル問題集は 2021 年 3 月までに完成する予定である。
- ・ 現在、教員間の評価の正確な理解を促進し、特に初等教育レベルで児童の達成度を評価するための「サンプル問題集活用ガイドブック」が作成されている。ガイドブックは教育評価の目的、分類、アプローチ、試験問題作成、教室レベルでの形成的評価などの内容から構成されており、同ガイドブックの素案が 2019 年 9 月までに教育省に提出されることが計画されている。
- ・ 上記の成果品とは別に、現場の教員がアセスメントについて正しい理解をもち、初等教育段階において児童の学習成果を評価することを目的として、小学校低学年のための「授業評価に関するリファレンスブック」（当初「アセスメントガイドブック」であったが名称を変更）を作成した。同リファレンスブックは 2018 年 9 月に教育省によって承認され、全国のタウンシップ教育事務所や学校に配布された。

(4) 成果 4：新カリキュラムが EC に配布される。

指標	成果
4-1 教員養成校の教科書、教員用引きが開発される。	【計画通り達成】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初等 1、2 年生の教科書の重要な内容をまとめた EC 教材が作成された。 ・ 初等 1～3 年生に関する EC 研修計画及び研修モジュールが作成された。
4-2 教員養成校での研修が教育省の定めたスケジュールにのっとり実施される。	【進行中】 <ul style="list-style-type: none"> ・ EC の各教科におけるマスタートレーナーの養成が EC 研修（1 年生）及び現職教員への中央研修（2 年生、3 年生）として行われた。

- ・ EC 対象新カリキュラム導入研修（以下、「EC 研修」という）は、現職教員のみならず、教員養成の現場でも、EC 教官が新初等カリキュラムに関する理解を深め、EC での授業でその内容を教えることができるようになり、学生が新初等カリキュラムの実践に必要な最低限の知識を得ることを目的に実施されている。
- ・ TET により、1～3 年生までの EC 研修計画と研修モジュールが開発され、同時に初等 1、2 年生のカリキュラムの内容を組み込んだ EC 教材が作成された。EC での授業方法をより学習者主体に改善するための具体的な方法を提示するため、EC 教材のフォーマットとして、EC 教官用の指導案、講義ノート、学生用の資料が作成され、UNESCO 教員養成強化プロジェクト（UNESCO-STEM）に共有された。

- ・ EC 研修を EC 内において実践するマスタートレーナーの養成は、1 年生のカリキュラムに係る研修では EC 中央研修として単独に実施された。一方で 2、3 年生のカリキュラムに係る研修においては、現職教員向け導入研修の中央研修に参加した EC 教官がマスタートレーナーとしての役割を担った。EC 研修は、2021 年の初等 5 年生カリキュラム策定の完了するまで継続される。EC 研修受講者数を表 2 に示す（詳細は付録資料 ミニッツ Annex6 List of Introduction Training 参照）。

表 2 EC 研修受講者数

研修レベル（対象）	1 年生 2017 年 5 月～6 月	2 年生 2018 年 1 月～6 月	3 年生 2019 年 1 月～7 月
中央研修 (EC マスタートレーナー)	300	320	314
EC 内研修 (EC 教官)	1,709	1,729	約 1,800
EC 内研修 (学生)	11,000	1,2485	約 17,000

出所：CREATE

(5) 成果 5：学校教員が新カリキュラムを理解するための活動が導入される。

指標	成果
5-1 研修パッケージが開発される。	【計画通り達成】 ・ 1～3 年生の研修パッケージが作成された。 ・ 4 年生の研修パッケージの作成が開始された。
5-2 伝達講習活動が教育省の定めたスケジュールにのっとって実施される。	【計画通り達成】 ・ 現職教員に対する 1～3 年生カリキュラム導入研修が実施された。 ・ 1～3 年生の管理者対象カリキュラム導入研修が実施された。 ・ さまざまな媒体を用いた広報活動が実施された。

- ・ 現職教員対象の導入研修は、参加者が新カリキュラム全体に関する実践的で具体的な知識、新教科書が提案する指導のあり方を理解し、実践できることを目的に実施されている。
- ・ 教育省及び ADB 中等教育カリキュラム改訂プロジェクト (ADB-EYE) との調整を通じて、管理者及び現職教員を対象とした新初等カリキュラム導入研修のための詳細な普及計画を策定し、同詳細計画に基づき、研修資料（研修ビデオ、参加者用モジュール）が作成された。研修教材である授業ビデオに関しては、各教科の研修において使用され、研修参加者に新しい教授・学習プロセスのより明確なイメージの提供に寄与している。
- ・ 小学校の教員は一般的に小学 1～5 年のすべての学年を担当することから、すべての学年のカリキュラムと教科書・指導書の理解が求められる。このため、新カリキュラムが導入される学年ごとに、すべての小学校教員、校長を対象に導入研修が実施されている。導入研修は中央研修、州/管区研修、ディストリクト研修、タウンシップ研修の 4 層のカ

スケード形式で構成された。各研修レベルにおける研修参加者数は表3のとおり。

表3 現職教員対象の導入研修参加者数

研修レベル（対象、期間）	1年生 (2017年1月～5月)	2年生 (2018年1月～5月)	3年生 (2019年1月～5月)
中央研修（EC 教官、5 日間）	287	320	314
州/管区研修 （マスタートレーナー、9 日間）	3,960	2,171	2,272
ディストリクト研修 （タウンシップトレーナー、14 日間）	7,570	21,921	21,970
タウンシップ研修 （校長、教員、14 日間）	100,530	185,573	217,263

出所：CREATE

- ・ 地方（州/管区、ディストリクト、タウンシップ）の教育行政を担う行政官が新カリキュラムを理解し、教員の新カリキュラム実践を指導、支援できるようになることを目的として、管理者対象の導入研修が実施されている。管理者対象の導入研修の参加者は州/管区教育事務所、ディストリクト教育事務所、タウンシップ教育事務所及び EC からの代表者であり、中央で1日間の研修が実施された。

表4 管理者対象の導入研修参加者数

研修レベル（期間）	1年生 (2017年1月)	2年生 (2017年12月)	3年生 (2018年12月)
中央研修（1 日間）	411	399	568

出所：CREATE

- ・ 保護者、教員及び政治指導者に対する新カリキュラムに関する広報活動は、テレビコマーシャル、Web サイト、プロジェクトの Facebook、短編ドラマ、メディア報道、招待講演などのさまざまな手段を通じて実施された。また、英語の音声教材、新カリキュラムに係る関連文書は、プロジェクトのホームページや YouTube 動画でもダウンロードができるようになっている。表5にプロジェクトで作成した広報アイテムとその対象を示す。

表5 広報アイテム及び対象

媒体	広報アイテム	対象
印刷物	新カリキュラムパンフレット	C/P、会議用、学校、教育機関、研修参加者、他ドナー
	新カリキュラムポスター	教育事務所、学校、他ドナー
	プロジェクトパンフレット	C/P、学校、他ドナー
新聞/雑誌	新カリキュラム広告	一般市民
テレビ/ ラジオ放送	新カリキュラムドラマ	研修参加者、一般市民、他ドナー
	新1年生テレビコマーシャル	一般市民
	新1年生ラジオコマーシャル	一般市民
	新カリキュラムコマーシャル(短編ドラマ)	一般市民
インターネット	新カリキュラム Web サイト	一般市民
	プロジェクト Facebook	一般市民
	ダウンロード用 YouTube ビデオ	会議用、他ドナー
	プロジェクト広報ビデオ	会議用、他ドナー
広報グッズ	スケジュール帖	教育機関、学校、他ドナー、研修参加者、調査用、会議用
	プロジェクトロゴ付きペン	調査用、学校、会議用
	プラスチックと紙のフォルダー	調査用、会議用
	コットンバッグ	研修参加者、会議用
	リサイクルバッグ	調査用、事務所用、会議用
メディア	インターネット、新聞、テレビ、ラジオ取材	一般市民

出所：CREATE

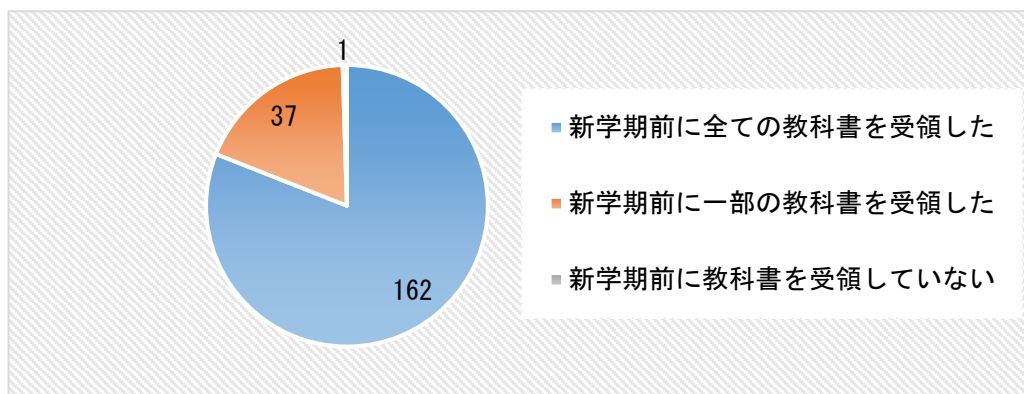
3-2-2 プロジェクト目標

初等教育の新カリキュラムにのっとった教育活動が学校及び教員養成大学で実施される。

指標	成果
1. 新カリキュラムにのっとった授業時数が、教育省の定めた新カリキュラム実施計画に沿って導入される。	【達成】 ・各学校に新カリキュラムに沿った時間割が導入された。
2. 新カリキュラムにのっとった教科書が、教育省の定めた新カリキュラム実施計画に沿って導入される。	【一部達成】 ・インパクト調査対象校の 81%が新学期開始前に 6 教科すべて、19%が一部の教科の新 2 年生の教科書を受領した。 ・残りの 4 教科（ライフスキル、図工、音楽、体育）の教科書は教員にのみ配布され、児童へは配布されていない。
3. 新カリキュラムにのっとった授業が、教育省の定めた新カリキュラム実施計画に沿って導入される。	【計画通り達成】 ・1～3 年生の教員 25 万人以上が現職教員の導入研修を受講した。
4. 新カリキュラムにのっとった新たなアセスメントが、教育省の定めた新カリキュラム実施計画に沿って導入される。	【計画通り達成】 ・インパクト調査対象のほぼすべての学校が、「サンプル問題集」及び小学校低学年のための「授業評価に関するリファレンスブック」を受領した。
5. EC で用いられる教科書・教員用引きが配布される。	【計画通り達成】 ・EC 教材のフォーマットとして、EC 教官用の指導案、講義ノート、学生用の資料を提供した。 ・EC 教員向けの研修モジュールが開発され、中央研修において活用された。

(1) 教科書及び教員用指導書の導入

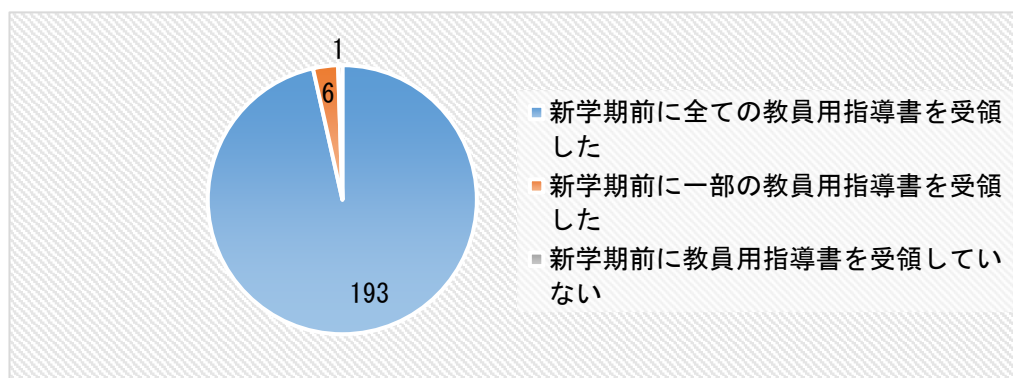
- ・インパクト調査の結果では、200 校のうち 162 校（81%）が、2018/2019 年の新学期前に 6 教科の 2 年生の教科書すべてを受け取った。また、37 校（19%）が新学期前に一部の教科書を受け取った。1 校のみが新学期以前にいずれの教科書も受け取っていないことが確認された（図 1 参照）。この結果は、前年度の 2017/2018 年の新学期以前に 6 教科すべての教科書を受領した学校数 96 校（48%）と比べ、大幅に改善された。



出所：第4次インパクト調査（CREATE）

図1 2年生の教科書の配布状況

- ・ 教育省は、6教科（ミャンマー語、英語、算数、理科、社会、道徳公民）を教員及び児童に配布することを決定した。他方、残りの4教科（ライフスキル、図工、音楽、体育）の教科書は教員にのみ配布され、児童には配布されていない。児童に教科書が配布されないこれらの教科は、教科書の要約を記載したビニール製の教授用の教材（掛け図）が各学校に配布されている。
- ・ 教育省が低学年の児童に上記の4教科の教科書を配布しないことを決定した理由として、児童が持ち運ぶ際の重量を挙げている。しかし、2年生の児童に対するインパクト調査結果では、56%の児童が「教科書は重くはない」と答えたのに対し、44%の児童が「教科書は持ち運ぶには重い」と回答しており、負担にならないと回答した児童のほうが多かった。
- ・ 2017/2018年度に実施されたインパクト調査の結果、1年生の教員用指導書に関しては、調査対象200校のうち、178校（89%）が新学年開始前に全10教科の教員用指導書を受け取り、残りの22校（11%）が一部の教科の指導書のみを受け取った。他方、2018/2019年度に実施された2年生へのインパクト調査では、193の学校（97%）が全10教科の教員用指導書を新学期開始前に受け取っており（図2参照）、教員指導書については着実な配布が実施されている。



出所：第4次インパクト調査（CREATE）

図2 2年生教員用指導書の配布状況

(2) 評価ツールの導入

- ・ インパクト調査の対象校の校長からの回答では、ほぼすべての対象校が 1、2 セットの「学習教材」「サンプル問題集」「小学校低学年のための授業評価に関するリファレンスブック」を受領したことが確認された。

(3) EC カリキュラム用資料の共有

- ・ 4 年制 EC カリキュラム・教科書の作成が UNESCO 支援で開始され、プロジェクトは EC 教科書のため UNESCO が委託したコンサルタント（Montrose 社）との協力体制を確立し、EC 教材のフォーマットとして、EC 教官用の指導案、講義ノート、学生用の資料を提供した。プロジェクトで提供された資料の一部は EC 教科書や教員用指導書に反映された。また、UNESCO から共有された EC 4 年制化ロードマップとカリキュラムのフレームワークへのコメント、EC シラバスをレビューするためのワークショップへの参加が行われた。
- ・ EC 教員向けの 1～3 年生の研修モジュールが開発され、中央研修において配布された。

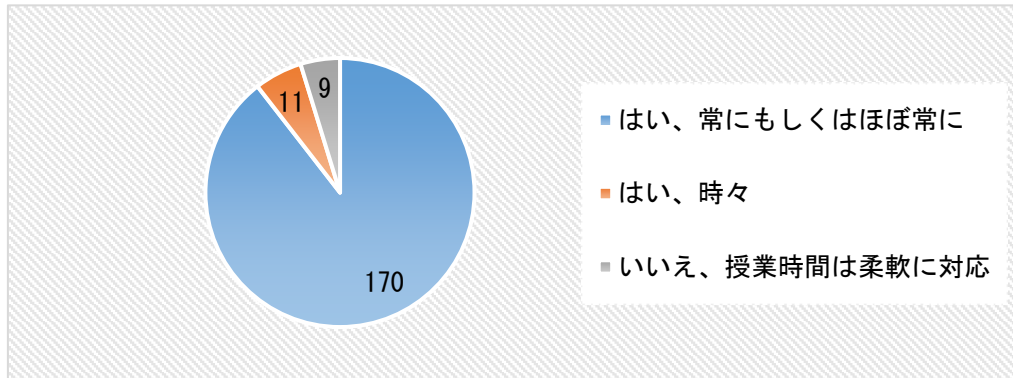
3-2-3 上位目標

初等教育の新カリキュラムが全面実施される。

指標	成果
1. 新カリキュラムにのっとった授業時数が導入される。	【達成見込み】 インパクト調査の結果、対象校の 89%の校長が、「時間割にのっとった授業を実施しているか」という質問に対して、「常に」もしくは「ほぼ常に」と回答した。
2. 新カリキュラムにのっとった教科書が活用される。	【達成見込み】 インパクト調査の結果、2 年生の児童 97%が、「算数の授業では算数の教科書を使っているか」という質問に対して、「常に」または「ほぼ常に」と回答した。
3. 新カリキュラムにのっとった授業が実施される。	【達成見込み】 インパクト調査の結果、対象校の教員 97.6%が、「算数の授業を教科書・教員用指導書にのっとって実施する」という質問に対して、「とても頻繁に」または「頻繁に」と回答した。
4. 新カリキュラムにのっとった学力評価ツールが活用される。	【達成見込み】 インパクト調査の結果、対象校の教員 87.8%が、「教員用指導書もしくはサンプル問題集の提案を参考して評価項目・評価基準を作成する」という質問に対して、「とても頻繁に」または「頻繁に」と回答した。
5. 新カリキュラムが EC のカリキュラムに反映される。	【達成見込み】 新初等カリキュラム 1、2 年生の内容の約 50%が、EC カリキュラム（1 学年）に反映された。

(1) 新時間割の活用

- ・ インパクト調査の対象 200 校のうち、89% (170 校) の校長先生が「時間割にのっとった授業を実施しているか」という質問に対して、「はい、常にもしくはほぼ常に」と回答した。「はい、時々」と答えたのは 6% (11 校) にとどまり、「いいえ、授業時間は柔軟に対応」と答えたのは 5% (9 校) であった (図 3 参照)。

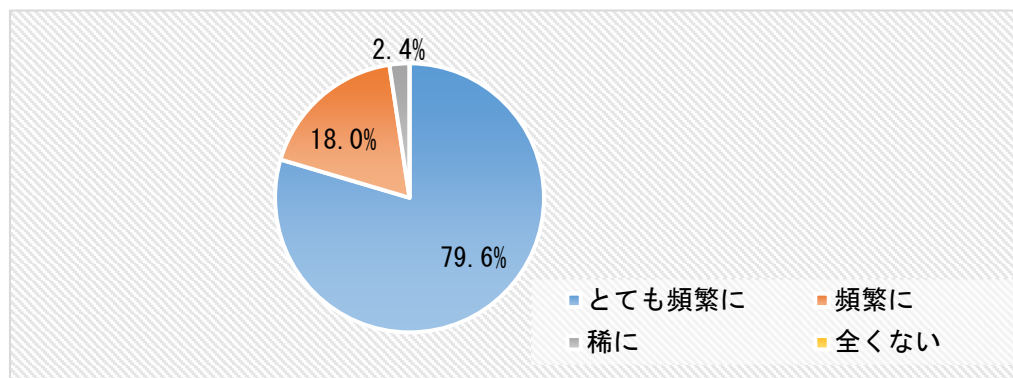


出所：第 4 次インパクト調査 (CREATE)

図 3 時間割の活用度

(2) 教科書の活用

- ・ インパクト調査の結果、2 年生の児童に対する「算数の授業中に教科書を用いるか」という質問に対して、97%の児童が「常に」(70%) または「時々」(27%) と回答した。
- ・ インパクト調査における教員への質問の結果では、97.6%の教員が「算数の教科書に則した授業を実施している」と回答しており、そのうち 79.6%が「とても頻繁に」、18.0%が「頻繁に」を選択した (図 4 参照)。



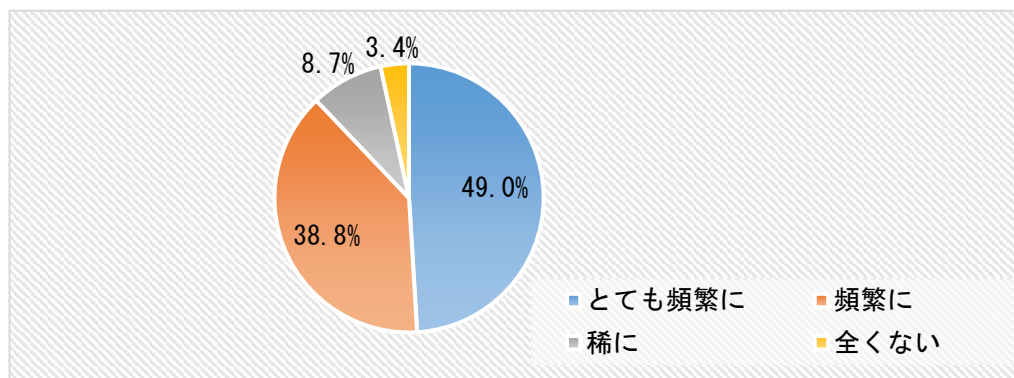
出所：第 4 次インパクト調査 (CREATE)

図 4 算数の教科書に則した授業の実践度

(3) 評価ツールの活用

- ・ インパクト調査では、87.8%の教員が、「児童の理解度を評価するために教員用指導書もしくはサンプル問題集を用いているか」といった質問に対して、「とても頻繁に」(49.0%)

または「頻繁に」(38.8%)と回答した(図5参照)。



出所：第4次インパクト調査(CREATE)

図5 評価ツールの使用

(4) ECカリキュラムへの反映

- ・ CDT、TETのメンバー、UNESCOへの聞き取りの結果、教科により異なるもののプロジェクトによって提供された資料(EC教官用の指導案、講義ノート、学生用の資料)の約50%が、1年次のECの教科書と教員用指導書に部分的または全体として反映された。また、一部の教科ではUNESCO-STEMがEC教科書の草案を作成したあと、プロジェクトからの新カリキュラム資料が提供されたため、ECカリキュラムへの反映に間に合わないケースが生じた。
- ・ 1年次のEC教科書、教員用指導書は2019年1月にUNESCOが備上するコンサルタントによって起草された。その後、ヤンキンECとマンダレーECで作成した教科書・教員用指導書の試行が行われた。UNESCOは2019年6月に1年次のEC教科書、教員用指導書を完成させ、1年次ECカリキュラムを2019年末から全国で実施することを予定している。また、2年次用ECシラバス、教科書、教員用指導書は2019年中に作成し、2022年までに3、4年次用のすべてのEC教科書、教員用指導書完成を見込んでいる。

3-3 実施プロセス

プロジェクトの第1期(2014年5月～2016年3月)では、①カリキュラムフレームワーク承認の遅れ、及び1年生のカリキュラム導入の1年間延長、②不明確な教科書の承認プロセス、③新たな活動としてのインパクト調査実施などを要因として、PDMの活動及び実施スケジュールが変更された。しかし、中間レビュー現時点では、ほぼすべての活動が計画通り実施されており(付録資料 ミニッツ Annex7 Progress of Activities 参照)、第1期以降、計画の大幅な変更は行われていない。

第4章 評価結果

4-1 5項目評価

4-1-1 妥当性

本プロジェクトはミャンマーの政策、日本の援助政策、教育改革推進のための教育省のニーズに合致している。また、採用されたアプローチも適切であり、妥当性は「高い」と判断する。

(1) ミャンマーの政策との整合性

- ・ 本中間レビュー時点での国家政策である「ミャンマー持続可能な開発計画」(Myanmar Sustainable Development Plan : MSDP) (2018~2030) は、「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals : SDGs) に沿って 2018 年に策定された。MSDP では、基礎教育が識字と算数を提供するだけでなく、児童が能力を最大限に引き出すことができるように、包括的な成長に貢献することを目的として、教育分野の構造改革の必要性が記載されている。
- ・ 教育政策としては、「NESP」(2016~2021) が 2017 年 1 月に承認された。本プロジェクトは「NESP」における「カリキュラム、教科書、アセスメント、教員教育、関連予算の作成」の項目に策定を支援していることから、プロジェクトは同国の教育政策と合致している。

(2) 日本の援助政策との整合性

- ・ 「日ミャンマー協力プログラム」はミャンマーのパートナーとして、2016 年 3 月に発足した NLD 率いる新政権の政策方針に基づくミャンマーの国造りに協力することを目的に策定された。そのなかで初等教育の拡充として初等教育の完全修了・教育の質の向上を実現するために、学校建設やカリキュラム支援・教員の能力の向上等への協力が表明された。

(3) C/P のニーズ

- ・ 本プロジェクトは、ミャンマー教育省が進める国家教育法の制定や教育基本法の改定、学制改革や基礎教育行政の地方分権化等、国際水準の教育をめざした教育改革の推進に寄与している。
- ・ 教育省は CCA に係る教員用指導書の全国配布、CCA 研修の全国展開を独自予算により実施してきた。しかしながら、半数以上の教科で教科書が 10 年以上改訂されておらず、暗記中心のアセスメントが実施されるなど、授業で使われる教科書やアセスメントに大きな問題を抱えており、CCA 定着の障害となっている。
- ・ 初等教育の純就学率は 92.9% と高いにもかかわらず、最終学年までの残存率はわずか 75.4% にとどまる (UNESCO、2016 年) など、貧困等の社会・家庭環境、低い教育の質、教員の能力不足に起因した初等教育における高い中退率が課題として指摘されている。

(4) プロジェクトアプローチ

- ・ 初等教育の全教科を対象として支援していることは、初等教育におけるカリキュラムの一貫性の確保につながっている。一部の教科のみの支援ではアクティブラーニング、CCA といった教科横断的な概念を浸透させることは困難である。本プロジェクトによる初等教育への包括的支援は、教科横断的な概念の一貫性を高め、新カリキュラムに対する教育現場の混乱を最

小限にとどめることから、適切なアプローチといえる。

- ・教科書の改訂は、教員の授業を変えるうえで重要であり、本中間レビューにおける学校視察では、特に教員用指導書が各教員に配布されていることが授業の質の向上に寄与していることが確認された。本プロジェクトにより採用された現職教員研修、教員養成としての EC 研修の実施、教員、保護者、地域住民へのさまざまな媒体を用いた広報活動の実施といった包括的アプローチにより、新カリキュラムの学校現場での活用が促進されている。

4-1-2 有効性

プロジェクト目標は、プロジェクト終了までに達成される見込みである。一方で4教科（ライフスキル、図工、音楽、体育）の教科書が低学年の児童に配布されていないこと、新カリキュラムを実施するための教員の能力が不十分であることは、学校での授業と児童の学習に困難を生じている。したがって、有効性は「やや高い」と評価される。

(1) プロジェクト目標の達成

- ・各成果（アウトプット）は当初計画に沿って発現しており、プロジェクト目標である「初等教育の新カリキュラムに沿った教育活動が小学校及び EC で実施される」の達成に寄与している。インパクト調査の結果からも、プロジェクト目標のすべての指標が当初計画通り達成されていることが確認された。

(2) プロジェクト目標の阻害要因

- ・児童が教科書や学習教材にアクセスできることはプロジェクト目標を達成するための重要な要素となる。しかし、4教科（ライフスキル、図工、音楽、体育）の教科書は教員に配布されているのみであり、低学年の児童には配布されていない。中間レビューで訪問したディストリクト教育事務所の職員や校長からは、これら4教科の教科書が少なくとも3年生以上の全児童に配布されるべきという意見が出された。
- ・教員の教材活用に対する校長の支援は、教室において教員が新カリキュラムを実施するための重要な要素となる。しかし、3年生の新カリキュラムの導入研修に参加していない校長もいることが確認された。小、中、高一貫校の校長は、2019年度から開始され同時期に研修が実施されている6年生（前期中等）の導入研修に参加することから、初等3年生の導入研修に参加できないことがある⁴。
- ・教員からは、新カリキュラムを用いた授業は時間を要し、授業の実施が困難となることがあるなどの意見が聞かれた。また、児童の前でリコーダーを吹いたり歌ったりすることや、絵を描くことが苦手な教員からは、音楽や図工を教えることへの苦手意識があるといった意見も挙げられた。そのため、現在の導入研修に加え、これらの教科を適切に教えるための教員の能力向上のため、追加的な研修機会の必要性があることが指摘された。

(3) プロジェクト目標と成果（アウトプット）の関連性

- ・プロジェクト目標とすべての成果の間の関係性は適切である。成果である①新カリキュラム

4 研修に参加できない校長に対しては週末を用いた補講が提供されているが、補講を受けていない校長もいる。

フレームワークの開発、②新教科書及び教員用指導書の開発、③新しいアセスメントツールの開発、④教員養成校への導入研修、⑤現職教員への導入研修などの包括的な成果の発現は、プロジェクト目標である「初等教育の新カリキュラムにのっとった教育活動が学校及び教員養成大学で実施される」の達成に不可欠であり、成果からプロジェクト目標に至るロジックは適切に設定されている。一方、プロジェクト目標に設定された指標には、一部成果の指標との重複がみられることから、その修正が必要となる。

4-1-3 効率性

既存のリソースを活用することでプロジェクト費用を最小限に抑え、計画通り成果が発現している。しかし、CDT 及び TET メンバーの頻繁な異動、中等カリキュラム業務との重複、現職教員及び EC に対する導入研修の質には改善の余地があることから、プロジェクトの効率性は「中程度」と評価される。

(1) プロジェクト期間の延長

- ・ プロジェクト期間は、5 年生までの教科書と導入研修が完了するまで支援を継続してほしいとの教育省からの要請に応え、当初の完了予定 2019 年 9 月から 2021 年 3 月まで延長された。これにより、プロジェクト期間完了までに、初等全学年への支援が可能となることから、学年間の支援の一貫性の確保という観点からも、プロジェクト期間の延長は妥当であると判断できる。

(2) 効率性の促進要因

- ・ DERPT による適切な研修管理が実施されるなど、特に導入研修の実施において、教育省の強いイニシアチブが確認された。また、ディストリクト及びタウンシップ研修を担当する DBE は、研修セッションに参加し、参加者との協議に積極的に参加し、新カリキュラム実施に必要な情報を提供するなどの貢献がみられた。
- ・ 1 年生と 2 年生の教科書と比較して、3 年生の教科書作成では CDT と SWC の協調が進み、調整が円滑に進み、限られた作成期間の範囲で完了した。教科書作成の初期段階で CDT と SWC の密接な連携が行われ、作成プロセスが大幅に改善されたことが確認された。一方、SWC との定期会合における、教科書の内容の協議に困難を感じている一部の CDT メンバーも依然として存在している。
- ・ 教育省に設置された、教育・職業訓練教育セクター調整グループ (Education & TVET Sector Coordination Group : ETVSCG) 内のカリキュラム、アセスメント、教員訓練/管理に係るサブセクター・ワーキンググループ (Sub-Sector Working Group : SSWG) において、本プロジェクトの内容が開発パートナーとの間で共有されている。同時に中等への支援を実施する ADB-EYE と EC カリキュラムの策定を支援する UNESCO-STEM との調整機能が確立された。さらに、UNICEF は新カリキュラム実施に必要な学習教材をプロジェクトが提供したリストに基づいて調達し、彼らが支援する学校支援プロジェクトの対象校に配布するなど、他の開発パートナーとの連携が進んでいる。
- ・ プロジェクトでは、学校に対するタウンシップにおける導入研修で研修カリキュラムが適切に実施されているか、モニタリングを実施した。モニタリングにより抽出された課題は、次

期導入研修に係る研修内容や管理方法に反映されている。さらに、NCCは1、2年生の新カリキュラムの実践について独自のモニタリング評価を実施し、内容等の改善に向けた提案を取りまとめた報告書を作成している。

(3) 効率性の阻害要因

- ・ CDT 及び TET メンバーの頻繁な交代は、プロジェクトの有効性と効率性を妨げている。家庭の都合、適切な住環境の確保、インセンティブや昇進機会の欠如を理由として、プロジェクトの開始以来、メンバーの44%が交代した。現時点でも図工のTET、道徳・公民及び社会のCDTのポストが空席であり、人員が充足されていない。なお、TETのほとんどがパートタイムであり、音楽のTETは教科の専門家ではない状況となっている。
- ・ 今後実施予定の4年生の現職教員のための導入研修は、ADB-EYEプロジェクトが実施する7、10年生の導入研修と並行して実施される予定であり、研修期間の重複と講師（EC 教官）の不足が生じる可能性がある。さらに、ADB-EYEにより、7年生と10年生の教科書と教員用指導書の作成が開始され、初等、中等の双方の教科書を担当するSWC及びNCCによる承認プロセスが遅滞する可能性がある。そのため、教育省内での研修及び承認スケジュールの十分な調整の必要性が指摘されている。
- ・ カスケード形式による現職教員に対する導入研修では、カスケードレベルが低いほど、新カリキュラムの実施に必要とされる概念の伝達度が低下することが指摘された。さらに、カスケード型研修ではクラスターでの研修と比較して多大な費用が必要となり、その持続性には課題がある。カスケード型研修は、全国のすべての教員に知識を伝達するためには適しているが、知識の定着のためにはクラスターもしくは学校レベルにおける教員研修を同時に進め、継続的な学習機会の提供が求められる。
- ・ プロジェクトが実施したEC研修に対するモニタリングでは、グループワークや討論など重要な活動の時間不足、不適切な講師の割り当て、研修管理上の課題、不十分な研修資料といった課題が確認された。
- ・ 教科書の印刷品質は印刷会社によって異なり、教科書配布初年度である2017年度には、結合部分が弱く、配布後すぐにバラバラになる教科書が散見された。しかし、プロジェクトが教育省と印刷の発注機関となる情報省に印刷技術に関して必要な情報を提供して以来、教科書の質は向上している。

(4) 投入

- ・ 本邦研修は、NCC、SWCメンバーのカリキュラム開発と教科書承認プロセスの基本概念、教科書開発プロセスと教材の必要性の理解に貢献し、参加者は研修終了後、承認プロセスにおいて高いイニシアチブを発揮した。また、TETメンバーは、鳴門教育大学での研修にも参加し、EC教材の開発に係る活動の効果的な実施に寄与した。
- ・ 本プロジェクトで調達した機材は、プロジェクト活動に有効に活用されている。機材維持管理状況は良好であり、必要に応じて修繕が行われている。大型機器であるデジタル印刷機（プリンター）の購入は、教科書や教材作成に係る膨大な外注による印刷費用の抑制に貢献している。

4-1-4 インパクト

現時点では顕著なインパクトは確認できないが、上位目標はプロジェクトの完了後に達成される見込みが高い。また、新カリキュラムを用いた児童の算数の成績の向上が確認されるなど、インパクトは「やや高い」と判断される。

(1) 上位目標の見通し

- ・ 「3-2-3 上位目標」で述べたように、インパクト調査の対象校の多くでは、新たに導入された時間割、教科書、教員用指導書、アセスメントツールが使用されている。また、ほとんどの教員が新たに導入された算数の教科書を用いて授業を実施していることが確認されるなど、中間レビュー時点において、既にいくつかの上位目標の指標が達成している。
- ・ 新カリキュラムの EC カリキュラムへの反映は約 50%程度であり、教科によりその反映の度合いには違いがある。1年次の EC シラバスは 2018 年 8 月に完成し、それ以降にプロジェクトにより開発された EC 教材と EC シラバスの整合性の確認に時間を要したため、プロジェクトが資料を提供した時点では、既に EC 教科書と教員用指導書作成が開始されており、資料の内容を反映するタイミングに間に合わない状況も生じた。今後策定予定である初等教育の内容が含まれる 3 年次の EC 教科書、教員用指導書については、UNESCO-STEM プロジェクトの調整により、新カリキュラムの内容が反映される予定であることが UNESCO への聞き取りから確認された。

(2) 学校現場でのインパクト

- ・ 校長の多くが、新カリキュラムに係る教科書、教員用指導書が効果的であると評価している。児童は視覚的な教科書により、好奇心をもって授業に参加できていることが指摘された。さらに、州、ディストリクト、タウンシップ教育事務所及び校長への聞き取り調査からは表 6 に示すとおり、新カリキュラムを使用するうえでの教員、児童、保護者の視点からの利点、課題が指摘された。

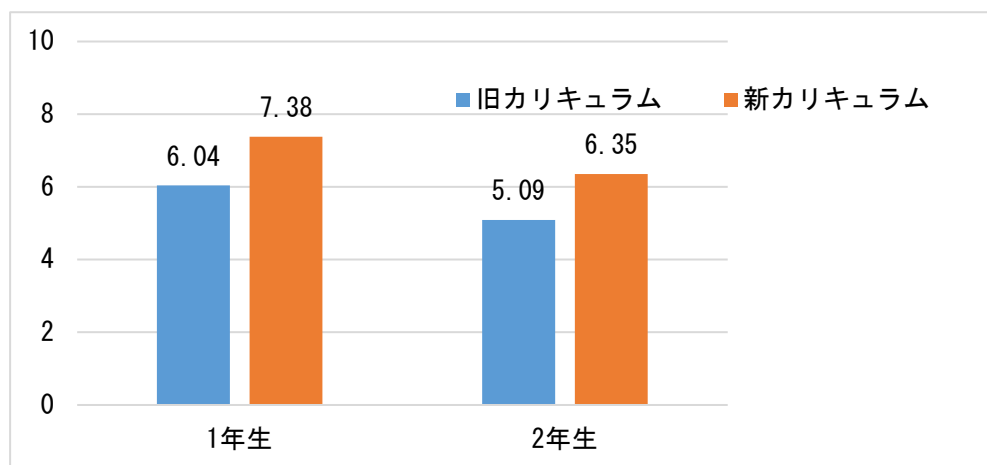
表6 新カリキュラムの利点、課題

	利点	課題
教員	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい教科書は、教えることを容易にする。 ・低学年で試験が実施されないことは、教員へのプレッシャーを軽減している。 ・教科書が新学期前に配布されていることは望ましい。 ・教員用指導書は授業準備に役立つ。 ・教科書の品質がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育と図工の教員の熟練度が低い。 ・教科書（ライフスキルと体育）はすべての児童に提供される必要がある。 ・音楽のリコーダー、英語学習用のフラッシュカードが必要配布される必要がある。 ・校長が授業準備に対して協力的でない。 ・教員当たりの児童数が多い学校では体育、音楽の授業が困難となる。
児童	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニング、児童中心の学習が促進されている。 ・児童が色彩豊かな絵を用いた教科書に関心を持っている。 ・チームワーク、規律が促進されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習能力が低い児童はグループワークについていけない。 ・1年生の算数の教科書を読めない児童がいる。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラムに対して好意的な印象をもっている。 ・保護者が音楽で用いるリコーダーなどの教材購入の支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の中には当初、新カリキュラムを理解していない者がいた。 ・一部の保護者は、低学年の試験が実施されないことを危惧していた。

出所：中間レビューにおける聞き取り調査結果

(3) 算数のテスト結果へのインパクト

・図6に示すとおり、インパクト調査（第3、4次）の結果によると、新カリキュラムを用いた1年生の算数テストの平均点（7.38）は、旧カリキュラムの1年生の平均点（6.04）よりも高く、同様に新カリキュラムの2年生の平均点（6.35）も同様に、旧カリキュラム2年生の平均点（5.09）よりも高い。2グループの平均値が異なることを統計的に実証するt検定の結果からも、上記の新カリキュラムと旧カリキュラムによる平均点の差は、統計的に有意（ $p < 0.001$ ）であることが確認された。



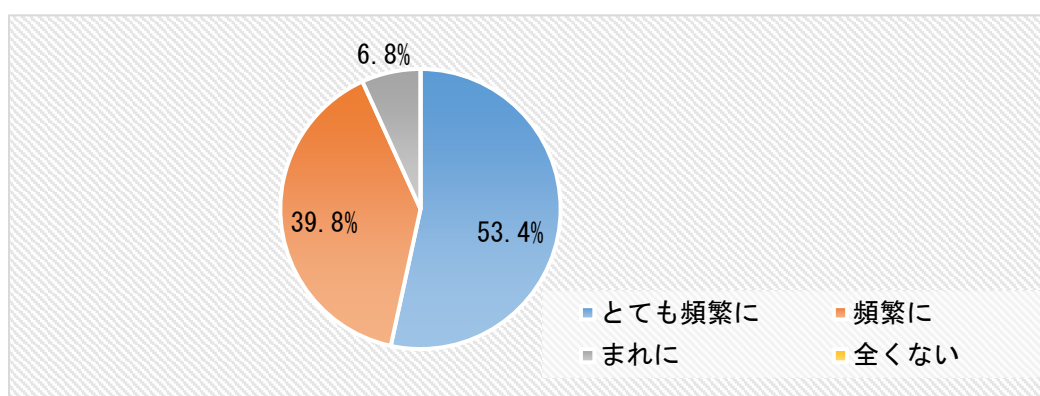
出所：第3、4次インパクト調査（CREATE）

図6 新・旧カリキュラムの1、2年生の算数テスト平均点

- ・インパクト調査の対象校において、「算数が好き」と回答した小学校1、2年生の割合は、旧カリキュラムでは1年生80%、2年生84%である一方、新カリキュラムでは1年生92%、2年生94%であり、新カリキュラムの教科書の使用により、児童の算数への関心は向上しているといえる。
- ・新カリキュラムを用いた学年では、「算数が好き」と答えた女子児童の割合が著しく増加した。「算数が好き」と答えた1、2年生の女子児童の割合は、旧カリキュラムでは1年生70%、2年生79%である一方、新カリキュラムでは1年生：90%、2年生95%であり、新カリキュラムでは、算数に関心を示す女子児童の増加率は男子児童より大幅に高いことが確認された。

(4) 非認知的スキルへの影響

- ・ディストリクト教育事務所、校長からは新カリキュラムの導入により、児童の規律、自信、チームワーク、探求力といった非認知能力が促進されたことが指摘された。また、インパクト調査では、93.2%の教員が「授業中に児童が積極的に発言するか」という質問に対して「とても頻繁に」または「頻繁に」と回答している。



出所：第4次インパクト調査（CREATE）

図7 授業中に積極的に発言する児童

(5) その他のインパクト

- ・教科書、アセスメント及び教員養成を含む初等教育への包括的支援は、他の開発パートナーによる教育分野における、ジェンダー、インクルーシブ教育、持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development：ESD）の主流化支援の基盤としての役割を果たしている。
- ・教科書の改訂は、国内外の多数のメディアにより報道され、教育省が支援する教育改革の明確なマイルストーンとして成果を示すことに貢献している。
- ・新カリキュラムによる授業実践の経験共有のため、小学校教員の間で自主的に Facebook ページが開設された。同 Facebook では、教員による楽器の演奏方法や新しい教科書で紹介されている体育の授業実践など、実用的な画像が入手できる。

4-1-5 持続性

政策面及び財務面での持続性は確保されている。一方で継続的なカリキュラム開発と導入研修

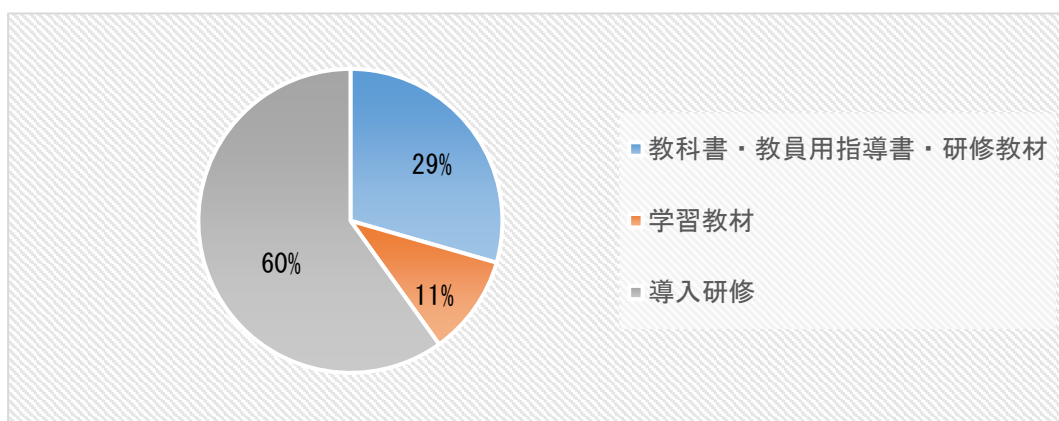
の実施に向けた組織的/制度面及び技術面は改善の余地あり、プロジェクト効果の持続性は「中程度」と評価される。

(1) 政策面の持続性

- ・ 妥当性において触れたとおり、本プロジェクトにより「カリキュラム、教科書、アセスメント、教員教育、関連予算の作成」の項目の策定を支援した教育政策である「NESP」(2016～2021)が2017年1月に承認されている。
- ・ 教育省と開発パートナーにより、現在「NESP」の中期レビューの実施が計画されており、同レビューの結果に基づいて、次期計画が策定される。プロジェクトにより構築されたカリキュラム開発及び現職教員研修プロセスを次期計画に反映することにより、プロジェクトにかかわる活動の政策的な持続性の確保が期待される。

(2) 財務面の持続性

- ・ 教育省はプロジェクト活動に必要な経費及びCDT、TETの給与を支出している。また、活動経費は①教科書・教員用指導書の印刷配布にかかる費用、②新カリキュラムで必要な教材の配布費用、③新カリキュラム導入に必要な研修実施にかかる費用に大別され、プロジェクトがそれぞれの試算を行い、教育省関係部局が必要な予算を確保できるように支援をしている。2019年5月末までに教育省は上記活動に総額539億5,000万MMK(38億8,400万円)を支出しており、図8に示すとおり、予算の60%が③の導入研修に用いられている。



出所：CREATE

図8 ミャンマー側支出の割合

(3) 制度/組織面の持続性

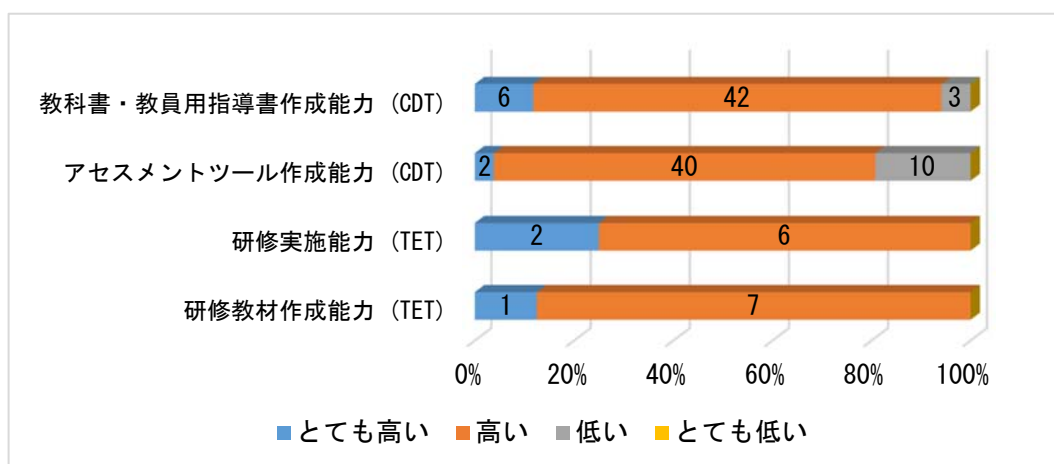
- ・ プロジェクトの支援により策定された初等教育におけるカリキュラムフレームワークは、国家フレームワークとして承認されていることから、同フレームワークに沿って作成された教科書及び教員用指導書は、教育省により持続的に活用されることが期待される。同時にNCC、SWCによる教科書、教員用指導書の承認プロセスも教育省によって制度化されている。
- ・ 各教科のCDT主要メンバーには、プロジェクト終了後、所属先に戻る予定のEC教官、小学校の教員が含まれる。このように、プロジェクト終了後には、教育省DERPTのカリキュラム

課の職員以外の CDT メンバーは所属先の組織に戻る事が予想され、今後の教科書改訂プロセスを継続するための CDT メンバーの存続の可能性は現時点では担保されていない。

- 教科書開発、教科書レビューを行う CDT 及び SWC に関しては、新規配属のメンバーについて新カリキュラムの理解を図ることが必要となった。また CDT は専門的な知識や技能を一定程度身につけたが、CDT が作成した良い原稿が SWC によって却下されるなど、教科によって依然として SWC と CDT のコミュニケーションギャップがみられる。また、NCC と SWC の承認プロセスには、若干の重複業務がみられる。
- EC 及び現職教員に対する導入研修は、プロジェクト期間を通じて暫定的に実施されている。導入研修には高い効果が確認されているものの、これらの研修期間のみでは教員が新カリキュラムについて理解するには不十分であることが指摘されている。導入研修の持続性の確保のため、同研修内容が教育省により策定されている「教員の継続的専門能力の開発 (Continuous Professional Development : CPD) プログラム」に統合されることが望まれる。

(4) 技術面

- ミャンマー国内や本邦研修の実施を通して、CDT、TET メンバーの能力向上が確認された。中間レビューにおける自己評価の質問票の結果からは、教科書、教員用指導書、アセスメントツール、研修教材の作成及び中央研修の実施に関して、CDT、TET は一定レベルの能力・知識を有していることが確認された (図 9 参照)。他方、新任の CDT、TET メンバーについては、新カリキュラムに対する理解と教科書作成に関するスキルを改善する余地があることが指摘された。



出所：中間レビュー質問票

図 9 CDT、TET の業務実施能力に関する自己評価

- 新カリキュラムには児童の学習到達度を測定するアセスメントの要素が含まれているが、教員の多くはこの新しいアセスメントツール、特にアセスメント項目設定やルーブリック評価⁵についての理解に困難を抱えている。

⁵ ルーブリック (Rubric) とは、ある課題についての達成レベルを観点と尺度からなるマトリクス表で児童の達成度を評価する方法。

- ・ 1年生の現職教員の導入研修参加者の理解を把握するため、研修後に理解度テストが実施された。その結果、参加者の理解レベルは、特に中央研修とタウンシップレベルで15.9と15.5（20点満点中）でそれぞれ高く、内容別には「教科内容」及び「アセスメント」に対する教員の回答率が他の項目と比較して低いことが確認された。

表7 現職教員に対する導入研修における事後テスト結果（1年生）

	新カリ キュラム	教科書・ 指導書	アセス メント	教科内容	学習 プロセス	合計 スコア
満点 (a)	3.0	3.0	2.0	10.0	2.0	20.0
中央研修	2.8	2.7	1.6	7.0	1.8	<u>15.9</u>
州/管区研修	2.8	2.9	1.7	5.6	1.7	14.6
ディストリクト研修	2.8	2.8	1.6	5.9	1.7	14.7
タウンシップ研修	2.6	2.9	1.7	6.8	1.6	<u>15.5</u>
平均 (b)	2.8	2.8	1.6	6.4	1.7	15.3
回答率 (b) / (a) ×100	(93%)	(93%)	(80%)	(64%)	(85%)	(77%)

出所：CREATE

4-2 結 論

中間レビューの結果、本プロジェクトは計画通り進捗しており、設定された成果を発現している。また、評価5項目においては、妥当性は「高い」、有効性とインパクトは「やや高い」、効率性と持続性は「中程度」と評価される。特に、プロジェクト終了後の活動の持続性の確保のため、次章の内容を提言する。

第5章 提言と教訓

5-1 提言

(1) 児童による教科書、教材へのアクセスの保障に向けて

本レビューにて、児童の全人的な成長の促進に向けて、新しいカリキュラムが学校で効果的に実施されるためには、教科書、教材が重要な役割を果たしていることが確認された。かかる点から以下について提言する。

1) 全教科の教科書配布

4教科(ライフスキル、図工、音楽、体育)の教科書が低学年(1~3年生)の児童にも配布される必要がある。NCCが実施したモニタリング調査の結果から、教科書が児童に配布されていないことにより、教員がこれら4教科を教えることに困難を感じていることが報告されている。教育省は4年生以上の児童全員に全教科の教科書を配布することを決定しているが、学習の質を総合的に向上させるために、低学年の児童についても教室にて全教科の教科書を活用できるよう検討する。なお、教科書印刷予算の確保が難しい場合は貸与方式を検討する。

2) 教科書に準拠した学習教材の配布

プロジェクトが作成した新カリキュラム実施に必要な学習教材の一覧表に基づき、これらの教材が各学校に必要量、配布されることが望ましい。本調査中、教員の中には英語を正確に発音できない者もいることから英語教材であるCD、フラッシュカードを各学校に確実に配布する必要性がディストリクト教育事務所からも指摘された。NCCのモニタリング調査では、音楽のリコーダーの数が足りないため、複数の児童が1本のリコーダーを使い回すことにより感染症を招くことを危惧した教員がリコーダーを使用する授業を行わないなどの課題が報告されている。

(2) カリキュラムの効果的な実施促進のための教員に対する継続的支援に向けて

新カリキュラムの導入により授業の質が継続的に向上するためには、カリキュラム導入研修後も、教員が学校及びクラスターレベルにて技術的な支援を恒常的に受けられることが重要である。また、新カリキュラムに関する保護者やコミュニティの理解を促進するためには校長が重要な役割を果たす。これらに関連して以下を提言する。

1) すべての校長の導入研修への参加の確保

教育省はすべての小学校校長の導入研修への参加を推奨しているが、小学校を併設した中学校の校長が中学校6年生の研修に参加し、研修時期が同じ3年生の導入研修に参加できていないケースが確認された。校長からの支援は、教室での指導と学習の実践を継続的に改善していくためにとりわけ重要な要素であることから、新カリキュラムを十分に理解するためにすべての校長が導入研修に参加することが肝要である⁶。

2) 導入研修の内容の「国家CPDプログラム」への統合

学校/クラスターでのCPDの実施の効果的な促進に向けて、プロジェクトは、教育省が進める国家CPDプログラムと密に連携して新カリキュラムの重要な要素を同プログラムに統合し、新カリキュラム実施のための教員の継続的な能力強化を支援する。

⁶ 3年生及び6年生への導入研修は2019年5月10~25日(14日間)実施された。教育省は、適切な研修を受けていない教員が新カリキュラムを教えることによる教育効果の欠如を懸念して、研修に参加できなかった校長や教員に対し、フォローアップ研修を実施するための予算を確保したことが2019年7月8日の新聞報道で伝えられた。

3) 新カリキュラムについての保護者、地域住民への啓発活動

プロジェクトは、PTA や地域住民を対象とした教育省のプログラムと密に連携し、学校や地域社会に向けた新カリキュラムに関する啓発活動を強化していくことが望まれる。具体的には、プログラムのなかでプロジェクトが作成した教材、メディアを効果的に活用することを推奨する。保護者や地域住民といった現場レベルの重要な関係者が新カリキュラムに対する理解を深めることは、新カリキュラムを学校で実践していくために不可欠である。例えば、音楽の授業において、リコーダーの数の不足を保護者が購入して補ったなどの事例は、保護者による新カリキュラムの重要性に関する理解が教室での新カリキュラムの実践推進により影響を及ぼすことを示した好事例である。その一方で、未だ新カリキュラムに対して理解を示さない保護者も一定程度いるため、プロジェクトで作成した媒体を PTA や地域住民を対象とした他プログラムでも活用し、新カリキュラムに関する啓発活動を強化することが推奨される。

(3) 質の高いカリキュラム開発及び改訂の仕組みづくりに向けて

カリキュラムの見直し・改訂は学習向上に向けて継続的に実施される必要があり、教育省がプロジェクト期間を超えて取り組まなければならない。したがって、教育省は良質なカリキュラム開発及び改訂の継続的な実施に向けた組織体制や仕組みを計画、設置する必要がある。また、体制や仕組みを効果的なものにするためには、能力の高い人材を動員し、更に彼らを強化することが肝要である。かかる点から、以下を提言する。

1) CDT メンバーに対する適切なインセンティブ制度の導入

現在、CDT への人材配置は一時的なもののみなされており、カリキュラム改訂や教科書開発に従事することが昇進につながるような正式なキャリアパスも設定されていない。そのため、CDT メンバー、特に EC 教官においては、カリキュラム開発に従事するインセンティブが低い。プロジェクト期間中及び終了後も優秀な CDT メンバーが継続的にカリキュラム開発・改訂に従事することを動機づけられるよう、教育省は適切なインセンティブの付与を検討する必要がある。一例として、カリキュラム開発における実務経験を昇進基準に加えること（特に高等教育局及び基礎教育局）等を提言する。

2) カリキュラム・教材改訂のための組織・制度化に向けた準備

カリキュラム・教材改訂のための組織・制度化については、まずは教育省が次期カリキュラム及び教科書改訂の実施プロセスと具体的なスケジュールを検討し、これを進めるための組織体制を計画し、これを構築していく必要がある。そのためには、実施プロセスにおける各段階について、どのような職務があり、誰が遂行するのか、教育省の異なる部局の人材の採用はどのように行うのか、各ポストは期限付きか常勤か、彼らをどのように動員、強化していくかなどを細かく検討することが肝要である。とりわけ、良い人材を動員するためには、カリキュラム改訂にかかわるインセンティブとして、研修機会の提供やキャリアパスの導入が必要であろう。更には、カリキュラム改訂の組織・制度化に向けた上述の事項を含む計画が、次期 NESP にも具体的に盛り込まれ、必要な予算も確保されることが望ましい。

(4) その他

1) PDM 指標の見直し

プロジェクト目標及び上位目標の指標のいくつかは、プロジェクトの成果を測定するには適切でなく、また他の指標との重複がみられることから PDM に記載された指標を修正する必要がある。

5-2 教訓

(1) 包括的なアプローチで全教科のカリキュラム開発を支援する意義

本プロジェクトでは、全 10 教科を包括的なアプローチで支援している。そのため、教科間の系統性が確保され、新カリキュラムの教育現場での導入が促進されている。また、全教科の教科書において同じ教育理念（すべてにおいて調和のとれた発達、21 世紀型スキル、すべての教科の同等な扱い）が共有されているため、教員や児童が混乱することなく、導入が可能となった。また、カリキュラム改訂や教科書・教員用指導書開発に加えて、教員養成や現職教員研修にも合わせて取り組み、教員やコミュニティを含めた一般市民に対するさまざまな広報活動も行うなど、包括的なアプローチで実施したことも、新カリキュラム実施の促進につながった。

(2) 児童の学習成果を測定し、新カリキュラム理解促進につなげることの重要性

インパクト調査の結果、新カリキュラムは児童の学習成果向上に寄与していることが確認できた。新カリキュラム導入後に「新カリキュラムで児童の学びは改善されているのか、学力は落ちていないのか」といった教員や保護者の不安の声が聞かれたなか、インパクト調査の結果を示すことで、そのような不安を低減でき、新カリキュラムに基づく授業実践の推進に有効であった。

(3) 過去の基礎教育協力の蓄積による効果

ミャンマーにおいては、これまでも CCA の導入を支援するため、15 年以上にわたって技術協力を実施してきており、また 2012 年から 2015 年まで実施された包括的教育セクターレビューの過程を通じて新カリキュラムのフレームワーク開発も支援した。これまでの協力により築いてきた信頼関係の蓄積のうえで、初等教育全 5 学年・全 10 科目のカリキュラム改訂という、教育改革の根幹にかかわる技術協力の要請につながった。また、「児童中心型教育プロジェクト」の教育省の C/P が本プロジェクトの円滑な実施に貢献している。このように、協力を通じた信頼関係の蓄積がプロジェクトの効率性を促進している。

付 属 資 料

ミニッツ

ANNEXES

- Annex1 Schedule of Mid-term Review
- Annex2 Project Design Matrix (PDM) ver.3 (revised on 1 June 2017)
- Annex3 Plan of Operations (PO)
- Annex4 Inputs by Japanese Side
- Annex5 Inputs by Myanmar Side
- Annex6 List of Introduction Training
- Annex7 Progress of Activities
- Annex8 Evaluation Grid

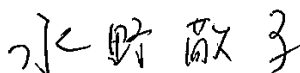
MINUTES OF MEETING
BETWEEN
JAPANESE MID-TERM REVIEW TEAM AND
THE CONCERNED AUTHORITIES OF THE GOVERNMENT OF MYANMAR
ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE PROJECT FOR CURRICULUM REFORM
AT PRIMARY LEVEL OF BASIC EDUCATION IN MYANMAR

The Japanese Terminal Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") headed by Dr. Keiko MIZUNO, visited Myanmar from 23 June to 12 July 2019 for the purpose of Mid-term Review of the Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education in Myanmar (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in Myanmar, the Team had a series of discussions with the concerned Myanmar authorities, jointly evaluated the achievements of the Project, and exchanged views for further improvement of the Project.

As a result of the discussions, both sides agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

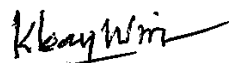
Nay Pyi Taw, 11 July, 2019



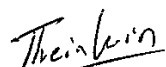
Dr. Keiko Mizuno
Leader,
Japanese Mid-term Review Team,
Japan International Cooperation Agency
Japan



Dr. Win Tun
Director General, Department of Education
Research, Planning and Training
Ministry of Education
The Republic of the Union of Myanmar



U Ko Lay Win
Director General, Department of Basic Education,
Ministry of Education
The Republic of the Union of Myanmar



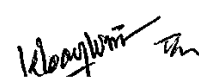
Dr. Thein Win
Director General, Department of Higher
Education, Ministry of Education
The Republic of the Union of Myanmar

THE ATTACHED DOCUMENT

Recognizing the progress of the Project and appreciating the efforts made by the Project members, the Team joined by officials of the Government of Myanmar compiled the result of the discussions in the Joint Mid-term Review Report attached hereto. Both sides confirmed the contents of the Report.

END

ANNEX: Joint Mid-term Review Report



Joint Mid-term Review Report

Japanese Technical Cooperation Project for The Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education in Myanmar (CREATE)

July 11, 2019

K

Wang

Sum

Table of Contents

List of Abbreviations and acronyms

1. INTRODUCTION (OUTLINE OF THE MID-TERM REVIEW) 3

 1-1 BACKGROUND AND PURPOSE OF THE REVIEW 3

 1-2 SCHEDULE..... 4

 1-3 MEMBERS OF THE MID REVIEW-TERM 4

 1-4 METHODOLOGY 4

2. ACHIEVEMENTS OF THE PROJECT 5

 2-1 INPUTS..... 5

 2-1-1 Japanese Side 5

 2-1-2 Myanmar Side..... 5

 2-2 ACHIEVEMENTS OF THE PROJECT 5

 2-2-1 Outputs 5

 2-2-2 Project Purpose 9

 2-2-3 Overall Goal 11

 2-3 IMPLEMENTATION PROCESS..... 13

3. RESULTS OF THE REVIEW BY THE FIVE EVALUATION CRITERIA 14

 3-1 RELEVANCE: *High* 14

 3-2 EFFECTIVENESS: *Relatively High* 15

 3-3 EFFICIENCY: *Moderate* 15

 3-4 IMPACT: *Relatively High* 17

 3-5 SUSTAINABILITY: *Moderate* 19

 3-6 CONCLUSIONS 21

4. RECOMMENDATIONS AND LESSONS LEARNED 22

 4-1 SUMMARY OF THE REVIEW 22

 4-2 RECOMMENDATIONS 23

 4-3 LESSONS LEARNED 24

ANNEXES

Annex 1 Schedule of Mid-term Review

Annex 2 Project Design Matrix (PDM) ver. 3 (revised on 1 June 2017)

Annex 3 Plan of Operations (PO)

Annex 4 Inputs by Japanese Side

Annex 5 Inputs by Myanmar Side

Annex 6 List of Introduction Training

Annex 7 Progress of Activities

Annex 8 Evaluation Grid

Khaya Win *Ta* *Zun*

List of Abbreviations and acronyms

ADB	Asian Development Bank
ASEAN	Association of South - East Asian Nations
CCA	Child-Centered Approach
CCT	Core Curriculum Team
CDT	Curriculum Development Team
CESR	Comprehensive Education Sector Review
C/P	Counterpart personnel
CREATE	The Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education
DAC	Development Assistance Committee
DBE	Department of Basic Education
DERPT	Department of Education Research, Planning and Training
DHE	Department of Higher Education
DP	Development Partner
EC	Education College
ESD	Education for Sustainable Development
EYE	Equipping Youth for Employment
JCC	Joint Coordinating Committee
JICA	Japan International Cooperation Agency
M/M	Minutes of Meetings
MOE	Ministry of Education
MOI	Ministry of Information
NCC	National Curriculum Committee
NEPC	National Education Policy Commission
NESP	National Education Strategic Plan
PDM	Project Design Matrix
PO	Plan of Operation
R/D	Record of Discussion
SSWG	Sub-Sector Working Groups
TET	Teacher Education Team

h

Abdullah Th

Sum

1. INTRODUCTION (OUTLINE OF THE MID-TERM REVIEW)

1-1 BACKGROUND AND PURPOSE OF THE REVIEW

Myanmar's economy and industry have been rapidly transforming since the shift to civilian rule in 2011. The changes include the partial shift from primary industries such as agriculture to secondary industries, which is resulting in gaps in the human resource market, especially in practical operations, IT, and communications. It is also anticipated that further reforms will be made as a result of the election held in November 2015. Education reform has been progressing to respond to the fast-paced social changes and on-going reforms in a number of sectors in the country. Improvement of basic education is considered one of the important issues among other reforms. The Myanmar government aims at upgrading its education to international standards and has initiated major educational reforms, including amendment of the National Education Law, revision of the Basic Education Law, educational system reform, and decentralization of basic education administration. The seriousness of the reform is demonstrated in the fact that the national budget allocated for education was doubled in FY 2012/2013 compared to the previous year. On the other hand, there are concerns of the high drop-out rate that rises in the higher grades, which is thought to be caused by social and family situations such as poverty, quality of education content, and disparate ability of teachers. The rate reaches up to 21.7% at the final grade (DEPT, 2010), despite the high Net Enrolment Rate of primary education of 89.5% (DEPT, 2010).

The Japanese government's assistance to the Myanmar government to introduce the CCA in response to the request by the Myanmar government, started with the dispatch of a curriculum expert in 1997 when Myanmar joined ASEAN. It was followed by the development of a teacher's manual (2002-2004) and the technical cooperation project "Strengthening Child Center Approach Project Phase 1 and Phase 2" to disseminate the new teacher's guide and CCA in pre-service and in-service teacher education (2004-2007, 2008-2011). Since then, the MOE has continued CCA training to cover all primary schools in the country with its own budget. However, many teachers still face difficulties in adopting CCA due to limitations of textbooks and assessment (the textbooks for more than half of the subjects have not been revised for over ten years, and assessment focusing on rote memory is implemented). With a view to address various issues including the above, MOE implemented the CESR (2012-2015). Findings from the "Rapid Assessment of CESR" recommended the necessity to reform the basic education curriculum, along with upgrading the existing structure to a new one. "Assistance to enhance the capacity of human resources that builds the economy and society" is one of the three pillars of the Japanese government's economic cooperation policy for Myanmar (2012). As part of it, JICA assists in basic education by supporting the abovementioned CESR, especially regarding primary education curriculum and teacher education and this project¹.

In May 2014, the Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education (CREATE), jointly implemented with MOE counterparts and a JICA team, commenced to implement educational activities in line with the new curriculum principles at the primary level of basic education schools and EC, primarily to revise and develop curriculums and textbooks, as well as to disseminate them for primary school teachers, supervisors and all ECs instructors nationwide.

JICA mission of the Mid-term Review was dispatched to Myanmar. The objectives of the Mid-term Review are:

- (1) Jointly review the project achievements and implementation process based on the R/D.
- (2) Analyze the project status against the DAC 5 Evaluation Criteria (explained later in the 4. METHODOLOGY) and discuss the project status with key stakeholders of both Japanese and Myanmar sides.
- (3) Provide necessary recommendations based on the above analysis to both Myanmar and Japanese sides,

K
Kobayashi *Is* *Jun*

and discuss and prepare the roadmap toward the end of the Project including issues to be tackled and agenda for successful completion of the Project.

- (4) Summarize the results of the survey in the form of the Joint Review Report and prepare the M/M (Minutes of Meetings) for the agreements between Myanmar and Japanese sides.

1-2 SCHEDULE

The Mid-term Review was conducted from 23 June to 12 July 2019. See Annex 1.

1-3 MEMBERS OF THE MID REVIEW-TERM

Japanese members:

Role	Name	Organization
Leader	Dr. MIZUNO Keiko (Duration: 3 July-12 July)	Senior Advisor (Education), JICA
Cooperation Planning	Ms. TOKUDA Yumi (Duration: 3 July-12 July)	Senior Deputy Director, Basic Education Team 1, Basic Education Group 1, Human Development Department, JICA
Evaluation Analysis	Mr. ITO Haruo (Duration: 23 June-12 July)	Senior Consultant, ICONS Inc.

Myanmar members:

Designation	Name
Director General of DERPT	Dr. Win Tun
Director General of DBE	Mr. Ko Lay Win
Director General of DHE	Dr. Thein Win

1-4 METHODOLOGY

The Mid-term Review was conducted through literature review and interviews as well as discussions based on questionnaires with key stakeholders. The Review is designed to verify the following aspects of the Project based on the current PDM.

- (1) Achievements of the Project based on the indicators shown in the current PDM ver.3 revised on 1 June 2017)
- (2) Implementation Process
- (3) The Five Evaluation Criteria

Five Evaluation Criteria

Relevance	Examined in terms of consistency with priorities/policies of the Government of Myanmar and the Government of Japan, needs of beneficiaries, and logical consistency of the Project design as to whether the activities and outputs of the program are consistent with the overall goal and the attainment of its objectives.
Effectiveness	Assessed in terms of extent to which the Project attains its objectives.
Efficiency	Assessed in terms of outputs in relation to the inputs to determine whether the least costly resources possible are used to achieve the desired results.
Impact	Measured by both positive and negative changes as a result of the project including direct and indirect, as well as expected and unexpected effects.
Sustainability	Assessed in terms of policy, institutional, organizational, financial and technical aspects by examining whether the benefits of the project are likely to continue and be extended after the project.

For PDM (the original and the current), see Annex 2. For Evaluation Grid, please see-as attached in the Annex 8.

[Handwritten signatures and initials]

2. ACHIEVEMENTS OF THE PROJECT

2-1 INPUTS

2-1-1 Japanese Side

The following inputs have been provided as of May 2019. (See Annex 4)

- 1) JICA Expert Team: A grand total of 50 experts dispatched (463.54 MM) in the areas of the project management, curriculum/textbooks/assessment, teacher education and study tour
- 2) Local Staff: Currently A total of 30 supporting staff (excluding 3 part-time staff) are assigned as Advisor, Curriculum coordinator, illustrator, DTP trainers, Assessment, IT and Administration
- 3) Training in Japan: A total of 159 project related personnel participated in 11 training courses in Japan
- 4) Equipment: A total of MMK 361 million for the 69 items of equipment necessary for project operation
- 5) Local expenses: A total of MMK 3,902 million for local consultants, travel expenses, miscellaneous costs, etc.

2-1-2 Myanmar Side

The following inputs have been provided as of May 2019. (See Annex 5)

- 1) Counterpart Personnel (C/P): A total of 66 C/Ps (53 persons for CDT, 9 persons including 5 part-time for TET and 4 DTP operators and 2 assessment)
- 2) Expenses borne by Myanmar Side: A total of MMK 53,950 million for printing of textbook, guides, learning teaching materials, training sessions, etc.

2-2 ACHIEVEMENTS OF THE PROJECT

2-2-1 Outputs





The achievement of outputs as of the end of May 2019 is summarized as below.

Output 1: The new curriculum framework is developed

Indicator	Achievement
1-1 The new curriculum framework is proposed.	<i>[Achieved]</i> • Primary level part in the curriculum framework was proposed in the process of CESR
1-2 The new curriculum framework is finalized by NCC through the recommendations of MOE.	<i>[Almost achieved]</i> • The new curriculum framework finalized in December 2014 and approved by MOE in May 2015 • The revised framework was approved in 2019

Development of new curriculum framework

- The new curriculum framework was developed mainly through the process of the Comprehensive Education Sector Review (CESR) and it was finalized in December 2014 and approved by MOE in May 2015. The new curriculum framework is characterized “all-round and balanced development (Five Strengths)”, “21st Century Skills” and “equal treatment for all subjects”.
- The new curriculum framework was revised under the new government lead by the NLD. The main revision seems to be on the upper secondary curriculum in relation to the matriculation examination. The revised framework was finally approved by MOE in 2019.

Output 2: The new textbooks and teacher's guides are developed

Indicators	Achievement
2-1 The new textbooks and the new teacher's guides are proposed	<i>[Achieved as planned]</i> • Grade 1-3 textbooks and teacher's guides were completed • Grade 4 textbooks and teacher's guides are in the process of development
2-2 The new textbooks and the new teacher's guides are finalized by NCC through the recommendations of MOE	<i>[Achieved as planned]</i> • Grade 1-3 textbooks and teacher's guides were approved • Grade 4 textbooks of some subjects were submitted to NCC

- The CREATE has developed the subject-wise curriculum for primary education, based on the new curriculum framework. At present, the overall subject-wise curricula for the primary education was completed, and ones for Grades 1, 2 and 3 have formally been approved by SWC and the NCC.
- Textbooks and teacher's guides for Grades 1, 2 and 3 have been approved, and MOE distributed Grade 3 textbooks for the new school year in 2019. The date of approval of textbooks and teacher's guides from Grade 1 to Grade 3 is shown below.

Table 1: Date of Approval of Textbooks and Teacher's Guides by the NCC

	Grade 1	Grade 2	Grade 3
Textbooks	Jan. 2017	Nov. 2017	Aug.-Sep. 2018
Teacher's Guides	Jan. 2017	Dec. 2017–Jan. 2018	Nov. 2018–Jan. 2019

Source: CREATE

- From December 2018, the Project has started to review and revise the subject-wise curriculum for Grade 4 to develop the Grade 4 textbooks and teacher's guides. Currently the Grade 4 science textbook and some parts of Math and Myanmar textbooks has been submitted to the NCC.

Output 3: The new assessment tools are developed

Indicator	Achievement
3-1. The sample test collection ¹ is developed	<i>[Achieved as planned]</i> • Grade 1, 2, 3 sample excises have been approved by MOE • Grade 4 sample excises is under development
3-2. The guideline on how to utilize the sample test collection is developed	<i>[In progress]</i> • Reference book on Classroom Assessment for Lower Primary was submitted to DERPT in August 2018 and approved • Guidebook "how to use sample excises" is under drafting and it will be finalized by September 2019

- The sample test collection includes various test items sorted subject so that teachers can refer this book when they develop tests or quizzes. As with the assessment guideline, this sample text collection was firstly produced by focusing only Grade 1 test items, and will add test items for other graders year by year, and the sample test collection for Grade 1, 2 and 3 have already approved by

¹ The title was revised from "Sample Test Collection" to "Sample Exercises" in order to be consistent with PLAF's directions. The new title, "Sample Exercises", attempts to encourage primary teachers to practice new assessment approaches in line with PLAF's principles, and to avoid maintaining their conventional approaches, which are heavily marking-oriented assessments.

Handwritten signatures and initials:
 K...
 K...
 M...

MOE. It will also be fully completed in March 2021.

- The Project developed the Reference book on Classroom assessment for Lower Primary (revised from the Assessment Guidebook) and it was approved by MOE in September 2018, and distributed to schools and TEOs nationwide.
- The Project is now developing a “Guidebook on How to utilize the sample test collection” in order to promote an accurate understanding of the assessment among teachers, and to provide teachers with technical support for assessing students’ attainment, especially at the primary education level. This guidebook is composed of the objectives of educational assessment, the categories and approaches on educational assessment, test item design and classroom formative assessment. The draft of the guidebook was submitted to MOE in September 2019.

Output 4: The new primary curriculum is disseminated to ECs

Indicator	Achievement
4-1. Teaching and learning materials and supplemental materials are developed	<i>[Achieved as planned]</i> <ul style="list-style-type: none"> • Teaching and learning materials which summarize important contents in Grade 1 and 2 textbooks have been developed • The EC training plan and training module for Grade 1-3 have been developed
4-2. Training for ECs is conducted according to the government set schedule	<i>[In progress]</i> <ul style="list-style-type: none"> • Training for master trainers in each subject from EC was conducted through the EC training (Grade1) and the central training (Grade 2, 3) for in-service teachers

- The EC training plan and training module for Grade 1-3 have been developed and continued to develop new materials incorporating information of primary Grade 1 and Grade 2 curriculum by TET together with TE experts. TET also developed teaching and learning materials for the new EC curriculum containing a lesson plan, lecture notes, and students’ handouts.
- The training for EC has been provided to EC students until the new 4-year EC curriculum (that reflects the new primary curriculum) is introduced in order to equip the EC students with the minimum knowledge that is necessary to implement the new primary curriculum before their graduation. Master trainers who participated in the central training for in-service teachers are leading the training within each EC. The training for EC will be continued until the primary curriculum reform will complete in 2021.
- The training for EC will be continued until the new 4-year EC curriculum is introduced at the end of 2019 as scheduled. The number of participants of training for EC is shown in the following table (for details see Annex 6).

Table 2: Number of Participants of Training for EC

	Grade 1 (May-Jun. 2017)	Grade 2 (Jan.-Jun. 2018)	Grade 3 (Jan.-July 2019)
Central	300	320	314
Training within EC for EC teacher educators	1,709	1,729	Approx. 1,800
Training within EC for EC students	11,000	1,2485	Approx. 17,000

Source: CREATE

KlayWm *Ta* *Jun*

Output 5: Dissemination activities of the new curriculum are introduced

Indicator	Achievement
5-1. A training package is developed	<i>[Achieved as planned]</i> • Training packages for Grade 1-3 were developed • Training package for Grade 4 was started to be developed
5-2. Teacher training dissemination activities are conducted according to the government-set schedule	<i>[Achieved as planned]</i> • Training for in-service teachers on Grade 1-3 textbook was conducted • Training for Supervisors on Grade 1-3 textbook was conducted • PR activities on the new curriculum were implemented through various measures

- The Project developed the detailed dissemination plan for the training for supervisors and for in-service teachers in coordination with MOE and ADB-EYE project. Based on the detailed plan, training materials (training video, module for participants) were developed. As for multi-media materials, the video-taped lessons were used in the session in each subject to provide more clear images of the new teaching-learning processes to the training participants.
- The Project supported the implementation of Grade 1-3 curriculum introduction training for in-service teachers to equip all primary teachers with practical and concrete knowledge, promote the teaching-learning process suggested under the new curriculum, and develop skills to implement the curriculum. The training was composed of four-layer cascade format; central training, state/regional training, township training, and school-cluster training. The number of participants of the training is showed as follow.

Table 3: Number of Participants of Training for In-service Teachers

	Grade 1 (Jan.-May 2017)	Grade 2 (Jan.-May 2018)	Grade 3 (Jan.-May 2019)
Central (Layer 1)	287	320	314
State/ Region (Layer 2)	3,960	2,171	2,272
District (Layer 3)	7,570	21,921	21,970
Township (Layer 4)	100,530	185,573	217,263

Source: CREATE

- Training for Supervisors is also been conducting to gain basic knowledge of the new primary curriculum, and to be able to organize training programs, and support the teachers to implement the curriculum. Supervisor training programs are designed to provide the representatives of the State/Region Education Office, District Education Office, and Township Education Office with essential information on the new curriculum.

Table 4: Number of Participants of Training for Supervisors

	Grade 1 (Jan 2017)	Grade 2 (Dec. 2017)	Grade 3 (Dec 2018)
Central	411	399	568

Source: CREATE

- The PR activities on the new curriculum have been implemented to be accepted the new curriculum by parents, teachers, and political leaders through various measures such as broadcasting TV commercials, Website, Project's Facebook, short dramas, Media coverage and invited talks etc. The English audio, Assessment documents of the new curriculum are also available in the CREATE Project YouTube Videos for

Handwritten signatures and initials:
 [Signature] [Initials] [Signature]

download. The following table shows the PR items formulated by the Project.

Table 5: PR Items and Targets

Means	PR Items	Targets
Printed materials	New Curriculum Brochure	C/P/Meetings/Schools/Education Offices/ Training participants/DPs
	New Primary Curriculum Poster	Education Offices/Schools/DPs
	Project Brochure	C/P/DPs/Meetings/Schools
Newspapers/journals	New Primary Curriculum Advertisement	General Public
Broadcasted on TV/Radio	New Curriculum Drama	Training participants/General public/DPs
	New Grade 1 TV Commercial	General Public
	New Grade 1 Radio Commercial	General Public
	New Curriculum Commercial-short drama on activeness	General Public
Internet	New Primary Curriculum Website and Articles/Posts	General Public
	CREATE Project Facebook Articles/Posts	General Public
	CREATE Project YouTube Videos for download	DPs, Meetings
	CREATE Project PR video	DPs, Meetings
PR goods	Planner	Education Offices/schools/DPs/Training participants/Surveyors/Meetings
	Pens with CREATE logo	Surveyors/Schools/Meetings
	Plastic and Paper Folders	Surveyors/Meetings
	Cotton Bags	Training participants/Meetings
	Recycle Bags	Survey/Office/Meetings
Media	Internet/Newspapers/TV/Radio	General Public

Source: CREATE

2-2-2 Project Purpose

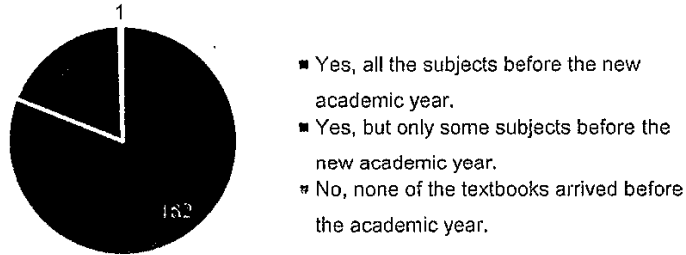
Project Purpose: Educational activities in line with the new curriculum principles are implemented at the primary level of Basic Education Schools and Education Colleges (ECs)

Indicators	Achievement
1. New school timetable is introduced according to the curriculum implementation plan	<i>[Achieved]</i> • New school timetable in line with new curriculum has been introduced in each school
2. The new textbooks, including draft version, is introduced according to the curriculum implementation plan	<i>[Partly achieved]</i> • 81% of target schools in the Impact Survey received Grade 2 textbooks for all six subjects before the new academic year, 19% schools received some textbooks before the new academic year • Four textbooks (Life skills, Visual Arts, Performing Arts and Physical Education) were only distributed to teachers and not to students
3. Lesson is introduced in line with the new curriculum, according to the curriculum implementation plan	<i>[Achieved as planned]</i> • More than 250,000 teachers have received the introduction training for in-service teachers for Grade 1-3
4. The new assessment system is introduced according to the curriculum implementation plan	<i>[Achieved as planned]</i> • Most of schools targeted by the Impact Survey received “Sample Exercise” and “Reference Book on Classroom Assessment for Lower Primary”
5. Disseminated teaching and learning materials and supplement materials are used in ECs	<i>[Achieved as planned]</i> • EC materials (lesson plan, lecture note, and student handout) shared to be used for 4-year EC curriculum • EC training modules were used in central training

th
Khayum
Ja
Sum

Introduction of textbooks and the teacher’s guide

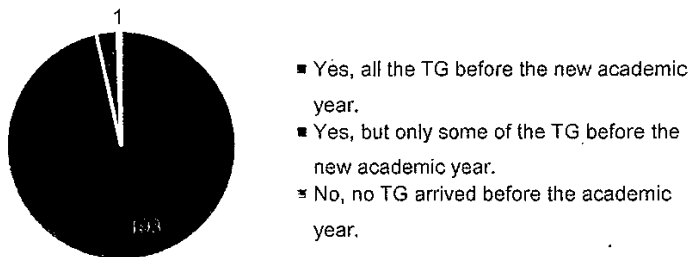
- The result of the Impact Survey shows that out of 200 schools, 162 schools (81%) received Grade 2 textbooks of all 6 subjects before the new academic year, 37 schools (19%) received some textbooks before the new academic year and only one school did not receive any of the 6 textbooks before the new academic year. In comparison with the last academic year in 2017/18, the number of schools receiving Grade 1 textbook for all 6 subjects before the new academic year was only 96 schools (48%), and it was greatly improved as 162 (81%) in 2018/19.



Source: 4th Impact Survey conducted by CREATE in January 2019

Figure 1: Distribution of Grade 2 Textbook

- MOE decided to distribute six subjects (Myanmar, English, Mathematics, Science, Social Studies and Morality & Civics) to students in lower primary. Remaining four textbooks (Life skills, Visual Arts, Performing Arts and Physical Education) were distributed only to teachers and not to students. Instead the vinyl which described summary of contents for those remaining four subjects have been distributed to each school, and MOE decided to distribute all subjects to upper-primary students.
- The reason why MOE decided not to distribute the textbooks for lower grade students is textbooks are too heavy to carry for lower primary students. In the Impact survey, however Grade 2 students were asked “if the textbooks are too heavy to carry to school?”. 56% of the students answered they are not too heavy, while 44% of them answered that textbooks are too heavy to carry. This shows that the weight of the textbooks is not a heavy load for the students.
- For teacher’s guide, out of 200 target schools, 178 schools (89%) received the teacher’s guide of all 10 subject and remaining 22 schools (11%) receive only some of the Subjects for Grade 1. For Grade 2, out of 200 school 193 schools (97%) have received it for all 10 subjects before the new academic year in 2019.



Source: 4th Impact Survey conducted by CREATE in January 2019

Figure 2: Distribution of the Grade 2 Teacher’s Guide

Handwritten signatures and initials:
 K. Aung Mye Thazun
 Th
 Zun

Introduction of assessment tools

- According to the responses from head teachers targeted in the Impact Survey, most target schools received one or two sets of learning materials (including “Teaching and Learning Kit”, “Sample Exercises”, and “Reference Book on Classroom Assessment for Lower Primary”).

Introduction of materials to ECs

- The Project has established a collaboration mechanism with UNESCO-STEM including the consultant (Montrose) and shared the formats of EC materials (lesson plan, lecture note, and student handout) with UNESCO-STEM. UNESCO with Montrose has applied some parts of the materials provided by the project to develop textbooks and teachers’ guides. The Project also made comments on the roadmap and the curriculum framework shared by UNESCO and participated in the workshop to review EC syllabi.
- Grade 1-3 training modules for EC teacher educators was developed and distributed at the time of Central training.

2-2-3 Overall Goal

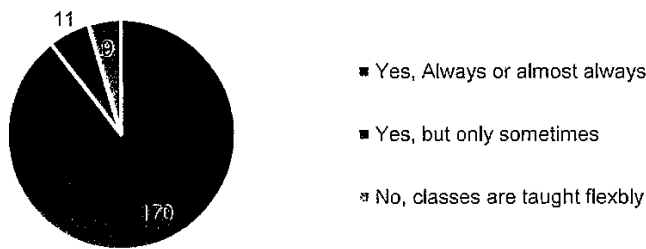
Overall Goal: The new curriculum at primary level of basic education is implemented nationwide

Indicators	Achievement
1. The new school timetable is in use	<i>[Likely to be achieved]</i> 89% of head teachers in the Impact Survey responded “schools always or almost always teach according to the weekly timetable”
2. The new textbooks are in use	<i>[Likely to be achieved]</i> 97% of Grade 2 students in the Impact Survey selected “Always” or “Sometimes” for the question of “I use Math textbook during the Math class”
3. Lesson is conducted in line with new curriculum	<i>[Likely to be achieved]</i> 97.6% of teachers in the Impact Survey selected “Very often” or “Quite often” for the question of “I follow Math textbooks and teachers guide during class”
4. The new assessment tools are used	<i>[Likely to be achieved]</i> 87.8% of teachers in the Impact Survey answered the question “Very often” or “Quite often” to the question “I prepare assessment items and rubrics referring to what suggested in Teacher’s guides or Sample Exercise Grade 2”
5. The new primary curriculum is reflected in new EC curriculum	<i>[Likely to be achieved]</i> About 50% of Grade 1 and 2 contents were reflected on the year 1 EC curriculum

Use of new school timetable

- According to the 4th Impact Survey conducted by CREATE in January 2019, all schools (199 schools) except one prepared weekly timetable. One school in Magway responded it does not prepare a weekly timetable. Among 200 schools targeted in Impact Survey, 89% (180) of head teachers responded “schools always or almost always teach according to the weekly timetable”. Only 6% (11) of them responded “Yes, but only sometimes” and 5% (9) of them responded “No, classes are taught flexibly”.

K
Kbayw
The
Jm



Source: 4th Impact Survey conducted by CREATE in January 2019

Figure 3: Teaching According to Timetable

Use of new textbooks

- According to the results of the Grade 2 student responses on used new Math textbook during the Math class in the Impact Survey, 97% of students selected “Always” (70%) or “Sometime” (27%) to the question of “Do you use Math textbook during the Math class?”

Lesson with new curriculum

- According to the results of the teacher’s self-evaluation on Math class in the Impact Survey, 97.6% of teachers selected “Very often” (79.6%) or “Quite often” (18.0%) to the question of “I follow math textbooks and teachers guide during class”.



Source: 4th Impact Survey conducted by CREATE in January 2019

Figure 4: Lesson with New Curriculum

Use of assessment tools

- In the Impact survey, 87.8% of teachers answered the question “Very often” (49.0%) or “Quite often” (38.8%) to the question “to assess understanding of student, I prepare assessment items and rubrics referring to what suggested in Teacher’s guides or “Sample Exercise Grade 2”.

h
Klaywin
Ta
sun



Source: 4th Impact Survey conducted by CREATE in January 2019

Figure 5: Use of Assessment Tools

Reflection of new curriculum in EC curriculum

- CDT and TET members as well as UNESCO officers explained that it varies between subjects, but about 50% of materials provide by the Project were integrated into the Year 1 EC textbooks and teacher’s guide partly or as a whole. In many cases, activities are taken from lesson plans, lecture notes and student’s handouts were partially reflected. In some subjects, because the new curriculum materials from the Project were provided after the UNESCO-STEM project had developed the draft of EC textbooks, it was too late to reflect those materials from the Project into EC curriculum.
- Year 1 textbook and teachers’ guide were drafted by the UNESCO consultant in January 2019. Four lessons each from all subjects were piloted at Yankin EC and Mandalay EC. UNESCO finalized the Year 1 textbooks and teachers’ guides in June 2019, and then Year 1 curriculum will be fully implemented from the end of 2019. Syllabi, textbooks and teachers’ guides for Year 2 are expected to be developed within 2019 and Year 3 and Year 4 by 2022.

2-3 IMPLEMENTATION PROCESS

Some modification of activities in PDM and schedule were made during the project Phase 1 (May 2014– March 2016) due to (i) the delay of approval of curriculum framework and the one year extension of Grade 1 curriculum introduction, (ii) the unclear approval process of textbooks, and (iii) conducting the impact survey as a new activity. However, most of the project activities have proceeded as planned, without making any major modifications since then as seen in the Progress of the Activities (Annex 7).

Handwritten signatures and initials:
 Klayhm
 IS
 Jim

3. RESULTS OF THE REVIEW BY THE FIVE EVALUATION CRITERIA

3-1 RELEVANCE: *High*²

The Project is consistent with the policies in Myanmar, Japanese ODA policy and needs of MOE to promote the education reform. The approaches taken by the Project are also relevant, therefore the Relevance of the Project is high.

Consistency with policies in Myanmar

- “The Myanmar Sustainable Development Plan: MSDP (2018-2030)” was developed in 2018 in line with the SDGs. In the MSDP, the structural reforms in the education sector are required in order to ensure that basic education not only delivers literacy and numeracy, but also contributes to students’ overall development in ways that allow them to realize their full potential.
- As an education policy, “the National Education Strategic Plan: NESP (2016-2021)” was published in January 2017. The Project contributed the formulation of the chapters of “curriculum, textbooks and assessment” “budget for textbook printing and teacher training” and “teacher education” in the NESP.

Consistency with the Japanese ODA policy

- In the cooperation program between Myanmar and Japan in 2016, the priorities were set to realize the completion of primary education and the improvement of quality of education. In this program Japanese government committed to cooperating in the school constructions, the curriculum development including for all subjects, and the improvement of teachers’ abilities.

Needs of Counterparts

- Overall, the Project is in line with the needs of MOE which aims to upgrade Myanmar’s education to the international standards and has initiated major educational reforms including the amendment of the National Education Law, revision of the Basic Education Law, educational system reform, and the decentralization of basic education administration.
- MOE has promoted CCA to primary schools in the country with its own budget. However, many teachers still face difficulties in applying CCA due to limitations of textbooks and assessment. The textbooks for more than half of the subjects were not been revised for longer than ten years, and assessments focusing on rote memory has still been implemented.
- There are concerns with the high drop-out rates that increase as the grade advances, which is thought to be caused by the social and family environment linked to poverty, quality of education contents, and disparate ability of teachers. The survival to the last grade reaches just 75.4 % (UNESCO, 2016), in spite of the high Net Enrolment Rate of primary education of 92.9% (DERPT, 2017).

Project Approach

- The Project supports all subjects in the primary education. The consistency of the curriculum in the primary education has been secured by supporting all subjects. This approach is considered as appropriate, since it was difficult to instill the cross-sectional education concepts such as active learning and child-centered approach by supporting only some subjects.
- The revision of textbooks was important in changing teachers’ lessons. In addition, it was confirmed by the school visit that the fact that the teacher’s guide distributed to each teacher contributes to the improvement of the quality of their lessons. The Project also supports training for in-service teachers

² 5 rating scales (High, Relatively high, Moderate, Relatively low and Low) were applied to evaluate each criterion.

K
KbayWani
Its
Zun

and pre-service training for ECs as well as various PR activities for teachers, parents and general public. This holistic approach is appropriate for the promotion of the new curriculum practices at the school level.

3-2 EFFECTIVENESS: *Relatively High*

The Project Purpose is likely to be achieved by the end of the Project. However, in line with the set indicator, textbooks of four subjects have not been distributed to lower grade students, and insufficient teacher's capacity to implement the new curriculum leads challenges of teaching and learning in schools. Thus, the Effectiveness of the Project is evaluated as relatively high.

Achievement of the Project Purpose

- The each Output of the Project have been generated according to the schedule, and contributed to the achievement of the Project Purpose "Educational activities in line with the new curriculum principles are implemented at the primary level of Basic Education Schools and ECs". The results of the Impact Survey show that all indicators of the Project Purpose have been achieved according to the originally planned.

Hindering factors of the Project Purpose

- Availability of textbooks and teaching and learning materials is the important factor to attain the Project Purpose. Textbooks for four subjects (Life skills, Visual Arts, Performing Arts and Physical Education) were only distributed to teachers and not to lower grade students. The DEO and head teachers suggested that textbooks of those four subjects should be distributed to all students in at least up to the Grade 3.
- Supports of head teachers to teacher's preparation of teaching materials is one of the key factors for improving teaching and learning practices in the classroom. However, not all head teachers attend the introduction training on the new curriculum. There are cases that head teachers of the high/middle schools with primary level have not participated in the Grade 3 introduction training due to the coincidence of secondary Grade 6 training.
- Teachers frequently mentioned that they have difficulties in teaching the subjects due to insufficient time to prepare their lessons with new curriculum. In addition, it was also pointed out the difficulty in teaching Performing Arts, especially playing the flute and singing songs in front of their students, and Visual Arts because teachers by themselves are sometimes poor in drawing and painting. Some teachers required more opportunities to improve their skills in teaching those subjects in addition to the introduction training.

Logical relations between Project Purpose and Outputs

- Logical relations between the Project Purpose and all Outputs are appropriate. Outputs are mainly related to the development of (i) New curriculum framework, (ii) The new textbooks and teacher's guides, (iii) The new assessment tools, (iv) Pre-service training and (v) In-service training. Without those Outputs, the Project Purpose "Educational activities in line with the new curriculum principles are implemented at the primary level of Basic Education Schools and EC" could not be attained.

3-3 EFFICIENCY: *Moderate*

Most of Outputs are generated as plan by using existing and outer resources to minimize project cost. However, frequent change of CDT and TET members, overlap works with secondary curriculum, quality of training for in-service and EC teachers have room for improvement for the rest of the project period. The

h
Kay Win to Jim

Efficiency of the Project is therefore evaluated as moderate.

Extension of the project period

- The project period was extended from September 2019 to March 2021, in response to the request from MOE to continue the assistance until Grade 5 textbooks and trainings to be completed. The Project will be able to cover all Grades of the primary education by the end of the project period.

Factors to promote effectiveness

- Stronger ownership of MOE was observed in certain training sessions. The DERPT manage the training well with a strong sense of duty. DBE which is responsible of training at the district and township level participated in the training sessions and joined in the discussion with participants to provide necessary information.
- Compared with Grade 1 and 2 textbooks, Grade 3 textbooks were developed within tight timeframe because CDT and SWC made their best efforts and greatly dedicated their time. Closer collaboration between CDT and SWC at the early stage of textbook development greatly improved the process. However, some CDT members still have some difficulties to cooperate with SWC in the periodical opening of SWC.
- The SSWG for Curriculum and Assessment and Teacher Education and Management were established by MOE which shared information and outputs of the project at meetings. And the coordination mechanisms with ADB-EYE and UNESCO-STEM has been established. UNICEF also explained that they have procured teaching learning materials in their school support project based on the necessary material list provided by the Project.
- The Project also conducted monitoring in selected areas to evaluate whether the intended training curriculum was delivered appropriately down to the school cluster training. All issues raised from the monitoring related to the modality and management of training have been reflected to the next phase of the training. The NCC also monitored and evaluated the new curriculum of Grade 1 and 2, and issued the reports with suggestions for its improvement.

Hindering factors for the effectiveness

- The frequent turnover of CDT and TET members has hindered the effectiveness and efficiency of the Project. As 44% of members have been replaced since the project start due to family issues, lack of appropriate housing, and lack of incentives and promotion. There are currently limited human resources, as the posts of TET in Visual Art and CDT in Morality & Civics and Social Studies are still vacant. In addition, most of TET are part time, and TET in charge of Performing Arts are not specialist of those subjects.
- Training for in-service teachers of Grade 4 will be implemented in parallel with Grade 7 and 10 training with the support of ADB-EYE project. This may cause overlap of the training sessions and lack of trainers (EC teacher educators). ADB-EYE has also started to develop Grade 7 and 10 textbooks and teacher's guide. This may also delay the approval process by SWC and the NCC which are the common committees to review both primary and lower secondary textbooks. Careful coordination within MOE and on the training and review schedule is required.
- In cascading training for in-service teachers, the lower the cascade, the thinner the concepts required by the new curriculum. In addition, the cascading training seems to be an unsustainable way of training since it has required huge expenses compare to the cluster based training. The use of cascading training is relevant to transfer knowledge to all teachers nationwide, but at the same time, it is necessary to provide teacher's continuous learning opportunities at clusters and schools levels to consolidate their

K
Wang
Jun

knowledge on the new curriculum.

- Through the monitoring of training for EC, the Project found issues insufficient time for important activities like as group work and discussion, inappropriate assignment of trainers, mismanagement of the training sessions and shortage of training materials.
- The quality of printed textbooks varies from printing company to company. In the first year, there were cases that the binding of textbooks was not strong enough, even on just the first day, some textbooks fell apart. However the quality of textbooks has been improved since the Project provided the necessary information on printing technique to MOE and MOI.

Inputs of the Project

- The training in Japan benefitted NCC and SWC members to understand basic concepts of curriculum development and textbook approval process in Japan; understand the process of textbook development and teaching learning materials; and understand how lessons are conducted using textbooks. Participants began to take initiatives in the reviewing process after returning from Japan. TET members also attended training in Naruto University of Education in Japan, which contributed to the activities of development of EC materials.
- The equipment procured by the Project has been effectively utilized for the project activities. Current condition of most equipment is well maintained and the maintenance measures have been taken when needed. The purchase of digital press (printer) has reduced the enormous outsource printing costs for textbooks and teaching materials.

3-4 IMPACT: Relatively High

Although prominent impacts of the Project have not been observed yet, the indicators of Overall Goal are expected to be achieved after the completion of the Project. Since the increase of students' performance with new curriculum was observed in the Math test scores, the Impact of the Project is relatively high.

Prospect of Overall Goal

- As mentioned in "2-2-3 Overall Goal", some indicators of the Overall Goal have been achieved even at the time of the Mid-term review as most school targeted by Impact Survey use new school timetable, new textbook, assessment tools, and most teachers followed new textbooks to conduct their lessons.
- Year 1 syllabi was finalized in August 2018 and CREATE had to take some time to confirm the alignment of developed EC materials and EC Year 1 syllabi since then. By the time CREATE shared the materials, authors of EC textbook and teachers' guide hired by UNESCO-STEM started their work and found it difficult to incorporate some of the materials that CREATE provided. According to UNESCO-STEM, it is possible to fully integrate CREATE materials in EC Year 3 textbook and teachers' guide through better coordination.

Impacts on teaching and learning at school level

- Many head teachers evaluated that teaching and learning materials are good and effective, and they mentioned that students are interested in colorful pictures in textbooks and students are able to participate in the lessons and their mind of curiosity rose.
- In the interviews, officers from the REO, DEO, TEO and head teachers pointed out the strengths and weaknesses of the new curriculum, textbooks and teacher's guide supported by the Project as following table.

Handwritten signatures and initials:
Klongwin
K
Jum

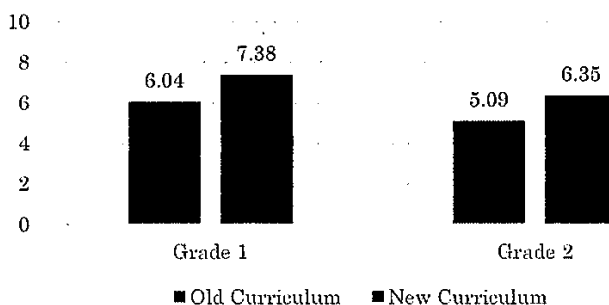
Table 6: Strengthen and Weakness of New Curriculum and its Promotion

	Strengths	Weakness
Teachers	<ul style="list-style-type: none"> • New textbooks are easy to teach • No examination at the lower level reduces teachers pressure • Textbooks arrived well in advance of the academic year • Teaching guides help teachers' lesson preparation • Quality of textbooks are appropriate 	<ul style="list-style-type: none"> • Teacher's proficiency in PA and VA is poor • Textbooks of the subjects (Life skill and PE) should be provided to all students • Insufficient teaching learning materials especially flute for PA and CDs and flashcards for English • Head teachers are not cooperative to support teachers to prepare their lessons • Teachers cannot provide PE and PA practices in the schools with unbalanced student teacher ratio
Students	<ul style="list-style-type: none"> • Active and student center learning are promoted • Students are interested in colorful pictures in textbooks • Team work and good discipline are promoted among students 	<ul style="list-style-type: none"> • Low performing students fall behind others in the group work • Some students cannot read Math Grade 1 textbook
Parents	<ul style="list-style-type: none"> • Parents prefer teaching new curriculum • Parents support to buy teaching learning materials such as flutes 	<ul style="list-style-type: none"> • Some parents did not understand about new curriculum at first • Some parents were worry about the exclusion of test from the lower grades

Source: Interviews to REO, DEO, TEO and head teachers

Impacts on student's Math test score

- According to the results of 3rd and 4th Impact Surveys, the Mathematics test score of the new Grade 1 students (7.38) was significantly higher than that of old Grade 1 (6.04), likewise, the test score of the new Grade 2 (6.35) were higher than old Grade 2 (5.09). The results of t-test also show that those differences between the scores of old and new students were statistically significant ($p < .001$).



Source: Impact Survey

Figure 6: Math Test Scores of Grade 1 and 2 Students

- The percentage of Grade 1 students who like Math was 80% among students with the old curriculum and 92% among those with the new curriculum. Same as Grade 2 students who answered that they like Math were 84% with the old curriculum and 94% with the new curriculum. The reports of the Impact Survey suggested that the new curriculum and textbooks have increased student's interests on Math.
- The percentage of girl students who answered that they like Math was significantly increased among those who use the new curriculum. The Grade 1 girl students who answered that they like Math was

Handwritten signatures and initials:
 K
 Kopylin
 Th
 Jm

70% among girl students with old curriculum, while it was 90% among those with new curriculum, and 79% among Grade 2 girls with old curriculum, but 95% among those with new curriculum. It is also worth noted that the increase of girl students who like Math were much higher than that of boy students.

Impact on non-cognitive skill

- DEO officers and head teachers observed that the student’s non-cognitive skills including self-discipline, confidence, teamwork, seeking help have been promoted after the introduction of the new curriculum. In the Impact Survey, 93.2 % of teachers answered “very often” or “quite often” to the question “students express their opinions enthusiastically during the class” as shown below.



Source: 4th Impact Survey conducted by CREATE in January 2019

Figure 7: Student’s Attitude towards Lessons

Other impacts

- The Project’s comprehensive support in the primary education including textbooks, assessment and teacher’s training has played a role as a platform to mainstream gender, inclusive and ESD aspects in the education sector supported by other DPs.
- The revisions of textbooks were broadcasted by number of media both inside and outside of the country and led to appeal as a visible milestone of educational reform supported by MOE.
- A Facebook page among primary teachers has been established voluntarily to share their experiences in the new curriculum. In the Facebook page, primary teachers enable to access practical videos which show how to play the musical instruments and to practice Physical Education activities introduced in the new textbooks.

3-5 SUSTAINABILITY: Moderate

The political and financial sustainability of the Project is secured. However, the organizational/institutional and technical aspects have room to improve as it is necessary to establish a sustainable framework for curriculum development and introduction training. Therefore, the Sustainability of the Project effects is rated as moderate.

Political aspects

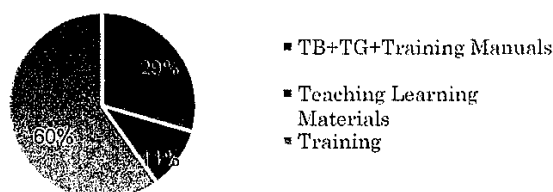
- The Project is sustainable in terms of policy and institutional aspects. As explained in the Relevance, as an education policy, “the National Education Strategic Plan: NESP (2016-2021)” was published in January 2017. The Project contributed the formulation of the chapters of “curriculum, textbooks and assessment” ”budget for textbook printing and teacher training” and “teacher education” in the NESP.
- MOE together with other development partners is currently coordinating Mid-term review of the NESP, and plans to develop the next plan based on the results of the review. It is expected that inputs from the

Handwritten signatures and initials:
 Klaywin
 The
 Jmm
 h

Project on the curriculum development and training in-service teachers to the next plan will secure the political sustainability.

Financial aspect

- MOE has spent necessary expenses for the project activities as well as salary for CPs (CDT and TET). The Project calculates budget for each grade for (i) printing and distributing textbooks and teacher’s guide to all students and teachers and training materials; (ii) providing necessary teaching learning materials to schools; and (iii) delivering necessary training for new curriculum introduction for ECs and all primary schools. As of May 2019, MOE spends total of 53,950 million MMK for above activities, and 60% of budget was used for (iii) delivering necessary training as seen in Figure below.



Source: CREATE

Figure 8: Proportion of Budget Borne by Myanmar Side

Organizational/institutional aspect

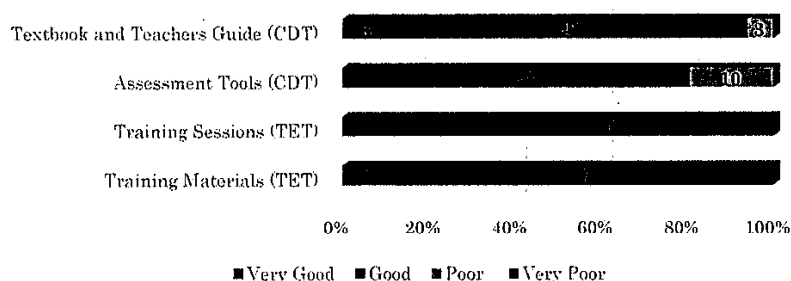
- As the curriculum framework for primary education was formulated with support of the Project and approved as a national framework, the textbooks and teacher’s guides in line with the curriculum framework is expected to be used sustainably. The development process of textbooks and teacher’s guides with NCC and SWC has also been institutionalized by MOE.
- The Project composes CDT members for all 10 subjects, and some of the main members of each subject are EC teachers who will go back to EC after the completion of the Project. Other members except the officers from the Curriculum Section of DERPT in MOE are anticipated to leave from CDT. Therefore, the sustainability of CDT to continue the revision process of textbooks is unforeseen at this moment.
- CDT was able to exhibit the professional knowledge and skills to develop new textbook content, but sometimes SWC would reject CDT’s draft even though their draft was acceptable. The gaps of understanding between CDT and SWC still remain in some subjects. Overlapping of tasks and responsibilities between SWC and NCC also exists.
- Central training for EC and training for in-service teachers are conducted on a temporally basis. Since the length of the training seems insufficient for teachers to understand about the new curriculum, it is necessary to integrate the contents of those training into the national teacher’s CPD programs supported by MOE.

Technical aspect

- It was confirmed that the capacity of CDT and TET has been improved through everyday activities and training implemented in Myanmar and Japan. The results of questionnaire showed that CDT and TET have certain level of skills and knowledge on the development of textbooks, teacher guides, assessment tools, training materials and providing central training. Especially newly assigned CDT and TET members have still room to improve their understanding on the new curriculum and knowledge on formation of textbooks.
- TET answered in the interview that they are able to acquire the knowledge on the new curriculum in

K
Kharyum *Th* *Zun*

cooperation with CDT, and able to provide training for in-service teachers effectively by using the training packages developed by the Project. On the other hand, the particular knowledge and skills that both CDT and TET require for their activities are about the student assessment. The following figure shows the results of self-assessment of CDT and TET on their capacity for developing textbook/teacher's guide, assessment tools, and training material as well as providing training sessions.



Source: Questionnaire

Figure 9: Self-assessment on the capacity of CDT and TET

Capacity of teachers

- Although components of assessment of student's learning are included in the text books and teacher's guides, many teachers have difficulties in understanding the new assessments especially how to develop items and rubrics for assessment.
- As a result of the post-test in training for Grade 1 in-service teachers to grasp participants' understanding, the level of participants' understanding was high especially at the central training and township training 15.9 and 15.5 respectively. The results of post-test also suggest that teacher's response rate was relatively low in the questions of the "New features of each subjects" and "New assessment".

Table 7: Scores of Post Test in Training for In-service Teachers (Grade 1)

	New primary curriculum	New textbook and guide	New assessment	New features of each subjects	Teaching learning process	Total score
Full Marks (a)	3.0	3.0	2.0	10.0	2.0	20.0
Central	2.8	2.7	1.6	7.0	1.8	15.9
State/Region	2.8	2.9	1.7	5.6	1.7	14.6
District	2.8	2.8	1.6	5.9	1.7	14.7
Township	2.6	2.9	1.7	6.8	1.6	15.5
Average (b)	2.8	2.8	1.6	6.4	1.7	15.3
(b)/(a)×100(%)	(93%)	(93%)	(80%)	(64%)	(85%)	(77%)

Source: CREATE

3-6 CONCLUSIONS

The Mid-term Review Team (hereinafter referred to as "the Team") concludes that the Project has been implemented smoothly based on planned schedule. Concerning the five criteria of evaluation, Relevance is high, Effectiveness and Impact are relatively high, and Efficiency and Sustainability of the Project are evaluated as moderate. Especially in order to secure the sustainability of the activities after the completion of the Project, the Team proposes recommendations as the following chapter.

h
Khachwin
Es
Sum

4. RECOMMENDATIONS AND LESSONS LEARNED

4-1 SUMMARY OF THE REVIEW

Firstly, the Team highly commends the strong political and financial commitment and ownership demonstrated by MOE to carrying out the education reform to promote the holistic development of student through basic education. The Team also acknowledges that with such commitment, CREATE has been steadily undertaking key tasks of the said reform for primary level and producing positive progress to date.

It was observed that new curriculum was well accepted in general not only by the schools and teachers but also the communities, largely owing to a variety of promotional activities with different targets at different levels. Nationwide in-service teacher training targeted at all the primary teachers has also contributed significantly to their better understanding of new curriculum. Principals have played an important role in maintaining good communication with parents and communities about new curriculum.

The Team also confirmed by the interviews and classroom observations that the new textbooks, teacher's guides and teaching and learning materials had been effective in supporting teachers to implement new curriculum and thus promoting a paradigm shift in teaching and learning in the classroom. Moreover, there is an indication of improvement in the students' academic performance as well as non-cognitive skills with the implementation of new curriculum as evidenced by the findings of Impact Survey.

It should be also highlighted that the Project has given special consideration to the promotion of inclusiveness, gender equality and ESD across all subjects, and such perspectives have been incorporated in the textbooks. This has contributed to the mainstreaming of those perspectives in primary education although its impact has not yet been studied.

Even though teachers participate in introduction training, they need continuous pedagogical support for the effective implementation of new curriculum in their classrooms. Since head teachers play a key role in providing regular mentoring and opportunities for peer learning, their capacity development is indispensable for the successful implementation of new curriculum. Parents and community members are important stakeholders as well to support the implementation of new curriculum in school, and thus their understanding and positive acceptance of the new way of teaching and learning in classroom should be promoted.

Finally, how to sustain the quality curriculum development and revision cycle beyond the Project period is a key concern by the Team. Since the large number of human resources has been assigned by MOE and the significant investment has been devoted to their capacity development for the ongoing curriculum reform, these resources should be effectively utilized for the future curriculum revision process.

In this respect, the Team urges MOE to consider a feasible way of maintaining, mobilizing and capacitating appropriate professionals to undertake the future curriculum revision, and to start taking appropriate measures to build sustainable and effective organizational mechanism for quality curriculum development and revision.

Based on the results of the review, the followings are the recommendations for the remaining period of the Project implementation.

K
Klaywin Ts *Jum*

4-2 RECOMMENDATIONS

For ensuring accessibility of student to textbooks and teaching and learning materials

The Team concludes that availability of textbooks and teaching and learning materials has been a critical factor for the successful implementation of new curriculum at school, and thus contributing to the holistic development of student. In this respect, the followings are recommended:

(1) Textbooks covering four subjects (Life skills, Visual Arts, Performing Arts and Physical Education)
Textbooks covering four subjects should be distributed to the Grade 1 through 3 students. The NCC monitoring study also reported that teachers were having difficulties or confused in teaching those four subjects without textbooks. Therefore, the textbooks for all subjects should also be accessible to students of lower grades even by lending, to improve the quality of learning in a holistic manner.

(2) Teaching and learning materials along with the textbooks
Necessary quantity of teaching and learning materials listed by the Project should be distributed to each school. For example, DEO officer requested during the interview that CDs and flashcards for English should be distributed to each school as some primary teachers cannot pronounce the English words properly. The NCC monitoring study also found out that because of the insufficient number of flutes distributed for Performing Arts, some teachers skip the lesson because they worry students catch infection disease with rotating use.

For providing continuous support to teachers to facilitate effective implementation of the curriculum

To promote continuous improvement of quality of teaching practices in the classroom after the introduction of new curriculum, it is critical to ensure regular pedagogical support to teachers at school and cluster levels. Principals and head teachers should also play an important role in sensitizing parents and community on new curriculum. To this end, the followings are recommended:

(3) Ensuring participation of head teachers in introduction training
MOE should make sure that all the head teachers and principals participate in the introduction training or its complementary weekend training for primary level for their capacity development. There are cases that principals of the high/middle schools with primary level have not participated in the Grade 3 introduction training due to the coincidence of secondary Grade 6 training.
Enhancing head teachers' understanding of new curriculum and strengthening their instructional leadership are important factors for effective CPD of teachers at school and cluster levels so as to maximize existing opportunities such as regular cluster meetings for improving quality of lessons.

(4) Adapting and integrating developed materials to the national CPD programs
To support the implementation of effective school / cluster based CPD, it is recommended that the Project should closely collaborate with the national CPD programs for the integration of important elements of new curriculum in the programs to appropriately support teachers to implement new curriculum in the classrooms.

(5) Sensitizing parents and community members on new curriculum
It is recommended that the Project should coordinate with the programs involving Parents Teacher Association or community participation, and support to strengthen their promotional activities for new curriculum. There are various materials developed by the Project, and these could be effectively utilized in such programs.

Koaylin

Juan

There are cases that parents have supported the provision of flutes for Performing Arts since the schools were not provided with enough number of flutes. This indicates that if parents understand the importance of new curriculum for their children, they usually are willing to support teachers to implement it in the classroom.

For building an effective organizational mechanism for quality curriculum development and revision

Curriculum needs to be reviewed and improved on a continuous basis beyond the Project, and an effective organizational mechanism needs to be designed and installed for quality curriculum development for improving learning. To make such a mechanism strong and effective, quality human resources need to be mobilized and capacitated. To this end, the Team recommends the followings:

(6) Installing an appropriate incentive system for CDT members

Due to the fact that assignment to CDT is considered to be temporary and not recognized as merit in their career path, most of these counterpart personnel at technical level, particularly EC lecturers are not appropriately incentivized to be engaged in the curriculum reform process. Therefore, it is urgent that MOE should consider to install an appropriate incentive system for CDT members to be attracted and sustained in the curriculum development process during and beyond the Project period. The Team recommends, as an example, that working experience in the curriculum development should be considered one of their promotion criteria by DHE and DBE

(7) Specifying an organizational structure and a concrete timeline to conduct effective curriculum and textbook revision

For the next curriculum and textbook revision, the Team recommends that MOE should firstly specify overall organizational structure and a concrete timeline for the revision process. To this end, it is extremely important to consider what functions and tasks to be performed by different human resources at what stage of the process, where such human resources to be recruited, and then how to capacitate and mobilize them both for regular positions and time-bound specific tasks across different departments of the ministry.

In this respect, it is also necessary that MOE should officially introduce an appropriate incentive system and career pathways for human resources to be engaged in the process.

The Team also recommends that MOE should integrate the curriculum and textbook revision plan as described above in the next NESP.

Others

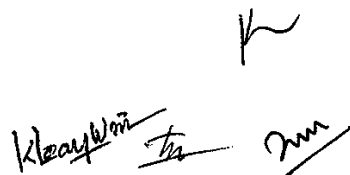
(8) Revising PDM indicators

The Project should revise the indicators in the PDM. Especially some indicators of Project Purpose and Overall Goal are inappropriate to measure project outcomes or overlap with other indicators.

4-3 LESSONS LEARNT

(1) Advantage in support curriculum development for all subjects with comprehensive approach

Ensuring consistency across all subjects of the primary education has promoted the implementation of the new curriculum in schools. The textbooks with the same concepts in all subjects led to the introduction of new curriculum to schools without confusion among teachers and children. The consistency among the subjects will also contribute to educating children with “all-round and balanced development” and “21st Century Skills” in an effective manner. The application of the holistic approach of the Project that include in-service and pre-service training and various PR activities also contributes to understanding both teachers



and general public about new curriculum and promotes its successful implementation at the school level.

(2) Measuring impact on student's performance for awareness raising

The project has conducted the Impact Survey to identify the impacts of the new curriculum on the student's performance. While introduction of new concepts raised the suspicion of teachers and parents about student's performance, showing the positive results of the Impact Survey is important to lessen their concerns on student's learning and promote the new curriculum at the school level.

(3) Effective cooperation through the long-term support

The foundation of CCA in Myanmar was formulated through the "Strengthening Child Center Approach Project Phase 1 and Phase 2". Then, JICA supported the CESR (2012-2015) to develop the framework of the new curriculum. Those uninterrupted support has developed the solid foundation for the curriculum development and the teacher's training system. Moreover, existence of already trained human resources from CCA project has contributed to the smooth implementation of the Project. The long-lasting supports enhance project effectiveness.

Kaywin *th* *h* *mm*

Annex I: Schedule of Mid-term Review

Date		Ms. Mizuno (Team Leader)	Ms. Tokuda (Cooperating Plan)	Mr. Ito (Evaluation Analysis)
23-Jun	Sun			11:45 Narita → 16:05 Yangon (NH 813)
24-Jun	Mon			11:00-12:15 JICA Myanmar Office 14:00-16:40 Project experts
25-Jun	Tue			10:00-16:00 Counterparts (CDT, TET)
26-Jun	Wed			10:15-11:15 National Education Policy Commission (NEPC) 11:30-12:30 National Curriculum Committee (NCC) 14:00-16:30 Subject-wise Curriculum Committee (SWC)
27-Jun	Thu			11:30-12:15 Department of Higher Education (DHE) 12:40-12:45 Department of Education Research, Planning and Training (DERPT) 15:00-15:45 Education Adviser (Dr. Muta)
28-Jun	Fri			9:30 Department of Basic Education (DBE)
29-Jun	Sat			Documentation 16:00 ADB (via Skype)
30-Jun	Sun			Documentation
1-Jul	Mon			14:00 UNICEF 16:00 UNESCO
2-Jul	Tue			13:00 World Bank 14:30-17:00 Project experts
3-Jul	Wed	11:45 Narita → 16:05 Yangon (NH 813)		10:00 Education Collage (EC) president/teachers 18:00 Internal meeting (Evaluation team)
4-Jul	Thu			9:30 - Tharketa Township Education Office (TEO) 11:00 - Thanlyin District Education Office (DEO) 13:00 - Yangon Region Education Office (REO)
5-Jul	Fri			7:30-8:30 Move from RGN to Loikaw 9:30: Meeting with Kayah State Education Department (SED) 10:30 : No 7 Basic Education High School, Loikaw 13:30 : Basic Education Middle School (Extension), Dawtchar (Pao)
6-Jul	Sat			8:45-9:45 Move from Loikaw (LIW) to RGN Documentation
7-Jul	Sun			Documentation
8-Jul	Mon			10:00 Minute discussion with proejet experts
9-Jul	Tue			9:30 Meeting with DBE 13:00 Meeting with DERPT
10-Jul	Wed			14:00 Meeting with DHE
11-Jul	Thu			11:00 Courtesy Call on the Union Minsiter and concerned officials Minute signature with Ministry of Education
12-Jul	Fri			8:30 Report to JICA Myanmar Office 10:00 Report to EoJ 13:30 Report to NEPC, Report to NCC 21:45 Yangon →
13-Jul	Sat			→ 07:00 Narita (NH 814)

Handwritten signatures and initials:
 Khasin
 In
 Jun

Annex 2: Project Design Matrix (PDM) Ver.3 (revised in April 2017)

Project Title: The Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education
 Duration: 6 Years and 10 months
 Target Group: (Direct) Those who are involved in curriculum revision, primary school teachers, Education College (EC) Trainers
 (Indirect) Pupils at primary level, EC trainees
 Target Subject: All subjects at Primary Level of Basic Education
 Target Area: Nationwide

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
<p>Super Goal Pupils' learning performance is improved in line with the new curriculum principle.</p> <p>Overall Goal The new curriculum at primary level of basic education is implemented nationwide.</p>	<p>Results of analysis of national exam</p> <p>(1) The new school timetable is in use. (2) The new textbooks are in use. (3) Lesson is conducted in line with new curriculum. (4) The new assessment tools are used. (5) The new primary curriculum is reflected in new EC curriculum.</p>	MOE Report	Teacher's teaching capacity is improved through Continuous Professional Development (CPD).
<p>Project Purpose Educational activities in line with the new curriculum principles are implemented at the primary level of Basic Education Schools and Education Colleges (ECs).</p>	<p>(1) New school timetable is introduced according to the curriculum implementation plan. (2) The new textbooks, including draft version, is introduced according to the curriculum implementation plan. (3) Lesson is introduced in line with the new curriculum, according to the curriculum implementation plan. (4) The new assessment system is introduced according to the curriculum implementation plan. (5) Disseminated teaching and learning materials and supplemental materials are used in ECs.</p>	MOE Report	Education Reform policy is maintained
<p>Output1: The new curriculum framework* is developed.</p>	<p>(1) The new curriculum framework is proposed. (2) The new curriculum framework is finalized by NCC through the recommendations of MOE.</p>	MOE Report	(1) Proposed documents are endorsed by NCC to MOE and utilized at school level as planned.
<p>Output 2: The new textbooks and teacher's guides are developed.</p>	<p>(1) The new textbooks and the new teacher's guides are proposed. (2) The new textbooks and the new teacher's guides are finalized by NCC through the recommendations of MOE.</p>	MOE Report	(2) All administrative officers work in cooperation with the Ministry of Education to

K
Klaywan
in
2mm

<p>Output 3: The new assessment tools are developed.</p>	<p>(1) The sample test collection is developed. (2) The guideline on how to utilize the sample test collection is developed.</p>	<p>MOE Report</p>	<p>expand new curriculum principle.</p>
<p>Output 4: The new primary curriculum is disseminated to ECs.</p>	<p>(1) Teaching and learning materials and supplemental materials are developed. (2) Training for ECs is conducted according to the government set schedule.</p>	<p>MOE Report</p>	
<p>Output 5: Dissemination activities of the new curriculum are introduced.</p>	<p>(1) A training package is developed. (2) Teacher training dissemination activities are conducted according to the government-set schedule.</p>	<p>MOE Report</p>	
<p>Activities</p> <p>1-1. Provide technical support to the formulation of the new curriculum policy and strategy through CESR process and by other means. 1-2. Provide technical assistance to finalize curriculum framework. 1-3. Formulate aims and objectives for each area of learning. 1-4. Provide technical assistance to develop subject-wise curriculum including contents per grade. 1-5. Identify appropriate teaching-learning strategies for each subject. 1-6. Identify applicable strategies/techniques for assessing pupils' achievement.</p> <p>2-1. Provide technical support to the formulation of guidelines for new textbook and teacher's guide. 2-2. Define scope and sequences of contents of textbook per grade based on the new curriculum framework. 2-3. Define development procedures of new textbooks and teacher's guides. 2-4. Draft new textbooks and new teacher's guide. 2-5. Coordinate with SWC for developing and improving new textbooks and new teacher's guide. 2-6. Coordinate with NCC for finalizing new textbooks and new teacher's guide.</p> <p>3-1. Provide technical support to the formulation of new assessment policy and strategy through CESR process and by other means. 3-2. Develop a sample test collection in line with the</p>	<p>Inputs</p> <p>Inputs by the Japanese side (a) Dispatch of Experts: - Basic Education Development - Chief Advisor - Experts for "Curriculum, Textbooks, and Assessment Component" - Experts for "Teacher Education Component" - Other experts (if necessary) (b) Cost for activities of Experts (c) Cost for seminars and workshops for capacity development for both Components, other than regular meetings (d) Cost for translation (English - Myanmar) other than cost for proofreading (e) Provision of office equipment (f) Training in Japan and third countries (if necessary) (g) Input other than indicated above will be determined through mutual consultations between MOE and JICA during the implementation of the Project, as necessary.</p> <p>Inputs by the Myanmar side (a) Assignment of Counterpart personnel for both Components (b) Approval of final products to be developed by the Project (c) Assignment of editing staff for textbooks, teacher's guides and assessment tools (d) Cost for regular meetings for both Components (e) Assignment of a few primary schools (f) Cost for proofreading of final products such as textbooks, teacher's guides and all related documents in Myanmar language (g) Printing and distribution of final products of textbooks, teacher's guides and all related documents to education offices, schools, and students. (h) Printing and distribution of final products of teacher training for the new curriculum. (i) Cost for implementation of dissemination activities for the new curriculum</p>		<p>(1) Appropriate number of qualified counterparts continues to be assigned to the Project.</p>

Kay Win
Zun

<p>new curriculum principles, a part of which will be included in teacher's guides.</p> <p>3-3. Develop a guideline on how to utilize the sample test collection.</p> <p>3-4. Review and revise sample test collection and guidelines</p>	<p>to schools including in-service teacher training</p> <p>(i) Project office with its running cost</p>	<p>Pre-Conditions Curriculum reform policy is maintained.</p>
<p>4-1. Provide technical support to the formulation of new teacher education policy and strategy through CESR process and by other means.</p> <p>4-2. Analyze consistency between the new primary curriculum framework and the current EC curriculum.</p> <p>4-3. Draft syllabi of teaching methodology subjects in ECs based on the analysis (described in the activity 4-2) and the on-going teacher education reform.</p> <p>4-4. Develop teaching-learning materials and supplemental materials for ECs that reflect the new primary curriculum.</p> <p>4-5. Develop a training plan and training materials for EC trainers.</p> <p>4-6. Conduct training for EC trainers</p>		
<p>5-1. Provide technical support to the formulation of dissemination strategy of the new curriculum through CESR process and by other means.</p> <p>5-2. Develop a detail plan to disseminate the new curriculum through in-service teacher training.</p> <p>5-3. Develop training/dissemination materials.</p> <p>5-4. Promote the dissemination activities for the new curriculum.</p>		

*Definition of "Curriculum Framework" will be confirmed later.

Klaywin *th* *Jun* *K*

Annex 3: Plan of Operations (PO)

Project Title: Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education in Myanmar

Version 4
 Dated 26 February, 2019
 Monitoring

Activities	2014												2015												2016												2017												2018												2019												2020												2021												Remarks	Issue	Solution
	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec			
Sub-Activities																																																																																																			
Output 1: The new curriculum framework is developed.																																																																																																			
1.1. Provide technical support to the formulation of the new curriculum policy and strategy through CER processes and by other means.																																																																																																			
1.2. Provide technical assistance to finalize curriculum framework.																																																																																																			
1.3. Formulate and set objectives for each area of learning.																																																																																																			
1.4. Provide technical assistance to develop subject-wise curricula including content and grade.																																																																																																			
1.5. Identify appropriate teaching-learning strategies for each subject.																																																																																																			
1.6. Identify applicable teaching-techniques for assessing pupil achievement.																																																																																																			
Output 2: The new textbooks and teacher's guides are developed.																																																																																																			
2.1. Provide technical support to the formulation of guidelines for new textbook and teacher's guides.																																																																																																			
2.2. Define scope and sequence of contents of textbook and teacher's guide in the new curriculum framework.																																																																																																			
2.3. Outline development procedures of new textbooks and teacher's guides.																																																																																																			
2.4. Draft new textbooks and new teacher's guide.																																																																																																			
2.5. Coordinate with SWC for developing and reviewing new textbooks and new teacher's guide.																																																																																																			
2.6. Coordinate with MEC for finalizing new textbooks and new teacher's guide.																																																																																																			
Output 3: The new assessment tools are developed.																																																																																																			
3.1. Provide technical support to the formation of new assessment policy and strategy through CER process and by other means.																																																																																																			
3.2. Develop sample test collection in line with the new curriculum principles, a plan of which will be included in teacher's guide.																																																																																																			
3.3. Identify guidelines on how to develop test items and utilize the sample test collection.																																																																																																			
3.4. Review and revise sample test collection and guidelines.																																																																																																			
Output 4: The new primary curriculum is disseminated to ECS.																																																																																																			
4.1. Provide technical support to the formulation of new teacher education policy and strategy through CER process and by other means.																																																																																																			
4.2. Analyze consistency between the new primary curriculum framework and the current EC curricula.																																																																																																			
4.3. Draft syllabi of teaching methodology subjects in ECS based on the analysis (specified in the activity 4.2) and the ongoing teacher education reform.																																																																																																			
4.4. Develop teaching-learning materials for ECS that reflect the new primary curriculum.																																																																																																			
4.5. Develop a training plan and training materials for ECS trainees.																																																																																																			
4.6. Conduct training for ECS trainees.																																																																																																			
Output 5: The curriculum activities of the new curriculum are introduced.																																																																																																			
5.1. Provide technical support to dissemination process through CER process and by other means, after defining new dissemination strategy.																																																																																																			
5.2. Develop a dissemination plan to disseminate the new curriculum through in-service teacher training.																																																																																																			
5.3. Develop teaching/assessment materials.																																																																																																			
5.4. Promote the dissemination activities for the new curriculum.																																																																																																			

Klavy Win
Is
Zun

Annex 4: Inputs by Japanese Side

1. JICA Expert Team

No	Name	Designation	Group	Phase1			Phase2			Phase3			Phase4			Total		
				Field	Home	Sub-total	Field	Home	Sub-total	Field	Home	Sub-total	Field	Home	Sub-total	Field	Home	Total
1	Mr. Norio Kato	Project Team Leader	Management	14.13MM	0.80MM	14.93MM	14.47MM	0.35MM	14.82MM	7.73MM	0.20MM	7.93MM	1.03MM	0.00MM	1.03MM	37.36MM	1.35MM	38.71MM
2	Mr. Yoshihiko Tanaka	Curriculum Development Team Leader	Curriculum	13.87MM	0.65MM	14.52MM	9.87MM	1.45MM	11.32MM	2.80MM	1.00MM	3.80MM	0.43MM	0.10MM	0.53MM	26.77MM	3.20MM	29.97MM
3	Ms. Tomoko Masuda	Teacher Education Team Leader1	TE	3.23MM	1.05MM	4.28MM	5.10MM	2.30MM	7.40MM	2.30MM	1.00MM	3.30MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	11.03MM	4.35MM	15.38MM
4	Mr. Takashi Soma	Teacher Education Team Leader2	TE	0.70MM	0.00MM	0.70MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	2.87MM	0.20MM	3.07MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	3.57MM	0.20MM	3.77MM
5	Mr. Aopio Kato	Teacher Education Team Leader3	TE	0.97MM	0.00MM	0.97MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.97MM	0.00MM	0.97MM
6	Ms. Yumiko Ono	Teacher Education Team Leader4	TE	0.33MM	0.00MM	0.33MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.33MM	0.00MM	0.33MM	
7	Ms. Miho Ota	Teacher Education Team Leader5	TE	0.17MM	0.00MM	0.17MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.17MM	0.00MM	0.17MM	
8	Mr. Isamu Imahori	Mathematics Education Advisor 1	Curriculum	13.77MM	0.00MM	13.77MM	13.77MM	0.00MM	13.77MM	7.60MM	0.40MM	8.00MM	0.80MM	0.00MM	0.80MM	35.74MM	0.40MM	36.14MM
9	Mr. Koji Takahashi	Mathematics Education Advisor 2	Curriculum	1.80MM	0.00MM	1.80MM	1.60MM	0.00MM	1.60MM	0.97MM	0.00MM	0.97MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	3.40MM	0.00MM	3.40MM
10	Mr. Takashi Ito	Mathematics Education Advisor 3	Curriculum	1.80MM	0.00MM	1.80MM	1.83MM	0.00MM	1.83MM	0.97MM	0.00MM	0.97MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	4.60MM	0.00MM	4.60MM
11	Mr. Takashi Soma	Mathematics Education Advisor 4	Curriculum	8.90MM	0.40MM	9.30MM	5.77MM	0.70MM	6.47MM	1.67MM	1.30MM	2.97MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	14.67MM	1.10MM	15.77MM
12	Ms. Marie C. Tan	Science Education Advisor 1	Curriculum	4.63MM	0.00MM	4.63MM	5.47MM	2.10MM	7.57MM	0.97MM	0.50MM	1.47MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	11.77MM	3.40MM	15.17MM
13	Mr. Kenji Matsubara	Science Education Advisor 2	Curriculum	0.77MM	0.65MM	1.42MM	0.47MM	0.50MM	0.97MM	0.23MM	0.25MM	0.48MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	1.47MM	1.40MM	2.87MM
14	Mr. Kenichi Jibutsu	Science Education Advisor 3	Curriculum				0.43MM	0.00MM	0.43MM	4.23MM	4.48MM	8.83MM	0.80MM	0.83MM	5.49MM	0.25MM	5.74MM	
15	Mr. Yoshihiko Tanaka	Science Education Advisor 4	Curriculum	2.17MM	2.65MM	4.82MM	1.33MM	2.45MM	3.78MM	1.17MM	0.90MM	2.07MM	0.13MM	0.15MM	0.28MM	4.80MM	6.15MM	10.95MM
16	Mr. Yuki Osada	Social Studies Education Advisor	Curriculum	2.00MM	0.90MM	2.90MM	2.40MM	1.30MM	3.70MM	1.37MM	0.80MM	2.17MM	0.23MM	0.10MM	0.33MM	6.00MM	3.10MM	9.10MM
17	Mr. James Meriwether Hall	Language Education Advisor	Curriculum	2.00MM	1.10MM	3.10MM	1.87MM	1.08MM	2.95MM	1.07MM	0.55MM	1.62MM	0.00MM	0.05MM	0.05MM	4.94MM	2.78MM	7.72MM
18	Mr. Brian Nolltag Gaynor	English Education Advisor 1	Curriculum				1.10MM	0.20MM	1.30MM	0.53MM	0.20MM	0.73MM	0.27MM	0.00MM	0.27MM	1.90MM	0.40MM	2.30MM
19	Mr. Yoshinori Okada	English Education Advisor 2	Curriculum	1.50MM	1.95MM	3.45MM	0.93MM	1.50MM	2.43MM	0.70MM	0.70MM	1.40MM	0.20MM	0.10MM	0.30MM	3.33MM	4.25MM	7.58MM
20	Mr. Mitsuru Fujie	Physical Education Advisor	Curriculum	2.50MM	1.10MM	3.60MM	2.00MM	0.70MM	2.70MM	1.37MM	0.65MM	2.02MM	0.00MM	0.05MM	0.05MM	5.97MM	2.50MM	8.37MM
21	Ms. Eiko Sakata	Art Education Advisor	Curriculum	1.80MM	1.10MM	2.90MM	1.50MM	1.85MM	3.35MM	1.07MM	0.75MM	1.82MM	0.27MM	0.10MM	0.37MM	4.64MM	3.60MM	8.24MM
22	Ms. Hiroko Kondo	Music Education Advisor	Curriculum	2.33MM	0.60MM	2.93MM	1.70MM	1.05MM	2.75MM	1.00MM	1.00MM	2.00MM	0.30MM	0.20MM	0.50MM	5.23MM	2.85MM	8.08MM
23	Mr. Chiko Yamaoka	Lifeskill Education Advisor	Curriculum	6.83MM	0.70MM	7.53MM	8.13MM	0.75MM	8.88MM	3.40MM	0.30MM	3.70MM	0.43MM	0.00MM	0.43MM	18.79MM	1.75MM	20.54MM
24	Ms. Hiroshi Nishizawa	Textbook Development Advisor 1	Editing	2.57MM	0.00MM	2.57MM	3.93MM	1.05MM	4.98MM	1.77MM	0.50MM	2.27MM	0.00MM	0.10MM	0.10MM	8.24MM	1.65MM	9.89MM
25	Ms. Hikari Miyahara	Textbook Development Advisor 2	Editing	2.27MM	0.75MM	3.02MM				2.00MM	0.00MM	2.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	4.27MM	0.75MM	5.02MM
26	Mr. Daisuke Hosokawa	Textbook Development Advisor 3	Editing	2.83MM	1.30MM	4.13MM	1.93MM	0.60MM	2.53MM	0.97MM	0.20MM	1.17MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	5.63MM	2.10MM	7.73MM
27	Mr. Hiroyuki Seki	Textbook Editing Advisor A	Editing	0.37MM	0.55MM	0.92MM	0.43MM	0.60MM	1.03MM	0.47MM	0.25MM	0.72MM	0.00MM	0.10MM	0.10MM	1.27MM	1.50MM	2.77MM
28	Mr. Norio Matsubara	Textbook Editing Advisor B1	Editing	3.00MM	2.10MM	5.10MM	1.40MM	1.70MM	3.10MM	0.47MM	0.40MM	0.87MM	0.23MM	0.00MM	0.23MM	5.10MM	4.20MM	9.30MM
29	Mr. Shinsuke Minamidate	Textbook Editing Advisor B2	Editing	0.77MM	1.00MM	1.77MM	1.20MM	1.00MM	2.20MM	0.70MM	0.30MM	1.00MM	0.20MM	0.05MM	0.25MM	2.87MM	2.35MM	5.22MM
30	Mr. Kazushi Sakaguchi	Textbook Editing Advisor B3	Editing	1.40MM	0.30MM	1.70MM	2.20MM	0.30MM	2.50MM	1.33MM	0.20MM	1.53MM	0.10MM	0.00MM	0.10MM	5.05MM	0.80MM	5.85MM
31	Mr. Fumitaka Sato	Printing Technology Specialist 1	Editing	0.30MM	0.20MM	0.50MM	0.63MM	0.00MM	0.63MM	0.47MM	0.20MM	0.67MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	1.40MM	0.40MM	1.80MM
32	Mr. Masatsugu Murase	Printing Technology Specialist 2	Assessment	2.57MM	1.95MM	4.52MM	2.37MM	1.50MM	3.87MM	1.37MM	0.60MM	1.97MM	0.00MM	0.05MM	0.05MM	6.31MM	4.10MM	10.41MM
33	Ms. Naemi Takasawa	Assessment Advisor 1	Assessment	1.40MM	1.60MM	3.00MM	1.43MM	2.37MM	3.80MM	0.90MM	1.05MM	1.95MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	2.83MM	3.35MM	6.18MM
34	Ms. Masami Watanabe	Assessment Advisor 2	Assessment	0.00MM	0.00MM	0.00MM	4.47MM	2.30MM	6.77MM	2.57MM	2.05MM	4.62MM	0.00MM	0.25MM	0.25MM	7.04MM	4.60MM	11.64MM
		Impact Survey A	Impact															

Handwritten signatures and initials:
 K
 2mm

No	Name	Designation	Group	Phase 1			Phase 2			Phase 3			Phase 4			Total		
				Field	Home	Sub-total	Field	Home	Sub-total	Field	Home	Sub-total	Field	Home	Sub-total	Field	Home	Sub-total
35	Mr. Ryo Sasaki	Impact Survey B	Impact	0.00MM	0.00MM	0.00MM	4.13MM	2.30MM	6.43MM	1.57MM	0.95MM	2.52MM	0.00MM	0.25MM	0.25MM	5.70MM	3.50MM	9.20MM
36	Ms. Yuriko Ono	Teacher Education Policy Advisor	TE	2.80MM	0.85MM	3.45MM	2.80MM	0.30MM	3.10MM	1.93MM	0.10MM	2.03MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	5.40MM	1.15MM	6.55MM
37	Mr. Chiko Yamaoka	Teacher Education Training Planning Advisor 1	TE	0.70MM	0.00MM	0.70MM	1.23MM	0.00MM	1.23MM	4.40MM	0.20MM	4.60MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	3.86MM	0.10MM	3.96MM
38	Ms. Megumi Ando	Teacher Education Training Planning Advisor 2	TE	2.90MM	0.00MM	2.90MM	6.37MM	0.50MM	6.87MM	1.60MM	0.00MM	1.60MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	14.34MM	0.70MM	15.04MM
39	Ms. Kaori Tanaka	Teacher Education Training Planning Advisor 3	TE	2.30MM	0.20MM	2.50MM	6.40MM	0.60MM	7.00MM	3.57MM	0.40MM	3.97MM	0.00MM	0.00MM	1.80MM	0.00MM	1.80MM	
40	Mr. Atsushi Tsukui	New Curriculum Introduction Training Advisor A	TE	2.80MM	0.00MM	2.80MM	5.77MM	0.00MM	5.77MM	3.33MM	0.00MM	3.33MM	0.00MM	0.00MM	12.27MM	1.20MM	13.47MM	
41	Ms. Naomi Takasawa	New Curriculum Introduction Training Advisor B	TE	2.80MM	0.00MM	2.80MM	5.77MM	0.00MM	5.77MM	3.33MM	0.00MM	3.33MM	0.00MM	0.00MM	11.70MM	0.00MM	11.70MM	
42	Mr. Chiko Yamaoka	New Curriculum Introduction Training Advisor C	TE	3.00MM	0.00MM	3.00MM	3.33MM	0.00MM	3.33MM	1.33MM	0.00MM	1.33MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	
43	Ms. Miho Ota	Teacher Education Training M & E Advisor	TE	12.87MM	0.00MM	12.87MM	16.23MM	0.00MM	16.23MM	7.80MM	0.00MM	7.80MM	1.20MM	0.00MM	7.66MM	0.00MM	7.66MM	
44	Ms. Hikari Miyahara	Project Coordinator / Training Management / PR 1	Management	3.20MM	0.00MM	3.20MM	5.80MM	0.00MM	5.80MM	3.83MM	0.00MM	3.83MM	0.17MM	0.00MM	38.20MM	0.00MM	38.20MM	
45	Ms. Eriko Kosuge	Project Coordinator / Training Management / PR 2	Management	0.00MM	1.60MM	1.60MM	0.00MM	2.55MM	2.55MM	0.00MM	1.05MM	1.05MM	0.00MM	0.00MM	13.00MM	0.00MM	13.00MM	
46	Ms. Megumi Shiota	Japan Study Tour 1	Study Tour	0.00MM	0.20MM	0.20MM	0.00MM	1.75MM	1.75MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	5.20MM	0.00MM	5.20MM	
47	Ms. Michiru Yabuta	Japan Study Tour 2	Study Tour	0.00MM	0.20MM	0.20MM	0.00MM	1.75MM	1.75MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	1.95MM	0.00MM	1.95MM	
48	Ms. Mena Nigapp	Japan Study Tour 3	Study Tour	0.00MM	1.75MM	1.75MM	0.00MM	0.45MM	0.45MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	1.95MM	0.00MM	1.95MM	
49	Ms. Kanae Kawashima	Japan Study Tour 4	Study Tour	0.00MM	0.20MM	0.20MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	0.00MM	2.20MM	0.00MM	2.20MM	
50	Ms. Tomoko Masuda	Japan Study Tour 5	Study Tour	133.85MM	28.40MM	162.25MM	151.76MM	38.03MM	188.79MM	83.26MM	18.80MM	102.16MM	7.69MM	1.65MM	86.98MM	376.55MM	463.54MM	
Total				133.85MM	28.40MM	162.25MM	151.76MM	38.03MM	188.79MM	83.26MM	18.80MM	102.16MM	7.69MM	1.65MM	86.98MM	376.55MM	463.54MM	

Kbaywa
in
mm

2. Local Staff

Position	Phase1	Phase2	Phase3	Phase4
Administration (including translator)	5	8	8	7
Senior Advisor	1	1	1	1
Curriculum Coordinator	1	1	1	1
Curriculum Officer	9	10	10	10
Teacher Education	2	2	2	1
Assessment	0	1	1	1
IT	2	2	2	2
Desktop publishing	3	5	5	5
Illustrator	5	4	2	2
Total	28	34	32	30

Phase1

Excluding 2 part-time staff and 4 Reserchers for Impact Survey

Phase2

Excluding 2 part-time staff and 4 Reserchers for Impact Survey

Phase3

Excluding 3 part-time staff and 2 Reserchers for Impact Survey

Phase4

Excluding 3 part-time staff

Kharyuni *TH* *K* *200*

3. Training in Japan

	Training Course	Duration	Training Institute	No. of Participants
1	Study Tour for Editing Textbooks	2014/10/19-2014/10/31	TIC(JICA Tokyo Training Center)	18
2	Study Tour: Policy and System Reform for Teacher Education	2015/6/17-2015/7/2	Naruto University of Education	12
3	Study Tour for Curriculum and Textbook Development and Evaluation	2015/7/1-2015/7/15	TIC(JICA Tokyo Training Center)	12
4	Study Tour for Editing Textbooks on CREATE Project in Myanmar	2016/1/11-2016/1/23	TIC(JICA Tokyo Training Center)	18
5	Training on Textbook Development for Subject Teaching Courses of Primary Education Program	2016/6/19-2016/7/2	Naruto University of Education	10
6	Training on Textbook Development for Subject Teaching Courses of Primary Education Program	2016/10/30-2016/11/12	Naruto University of Education	12
7	Study Tour for Editing Textbooks on CREATE Project in Myanmar	2016/11/23-2016/12/3	TIC(JICA Tokyo Training Center)	14
8	Study Tour for Editing Textbooks on CREATE Project in Myanmar	2017/1/22-2017/2/1	TIC(JICA Tokyo Training Center)	14
9	Study Tour for Editing Textbooks on CREATE Project in Myanmar	2017/10/15-2017/10/25	TIC(JICA Tokyo Training Center)	15
10	Training on Material Development for Subject Teaching Methodology of Primary Teacher Education Program	2017/1/4-2017/11/19	Naruto University of Education	24
11	Study Tour for Editing Textbooks on CREATE Project in Myanmar	2018/10/23-2018/11/3	TIC(JICA Tokyo Training Center)	10
Total				159

Khaywin

K

Sum

4. Expense of Local Cost

	Phase1			Phase2			Phase3			Phase4			Total		
	MMK	USD	JPY	MMK	USD	JPY	MMK	USD	JPY	MMK	USD	JPY	MMK	USD	JPY
Local Consultant (Secretaries, Curriculum Coordinator, etc.)	50,770,000	434,840	0	64,356,950	753,918	0	41,059,400	406,595	0	1,325,000	31,668	0	157,511,350	1,827,021	0
Travel Cost(Car Rental, Airfare, etc.)	27,636,500	76,466	318,755	82,205,260	68,288	0	46,589,620	41,070	0	2,316,300	3,433	0	158,747,680	189,297	318,755
Consumables	100,141,428	52,998	384,374	90,021,892	101,833	379,121	40,116,868	40,054	42,742	895,610	2,320	0	231,116,898	197,165	786,237
Communication	21,573,652	20,370	0	16,132,470	49,600	0	8,740,600	2,200	0	1,067,000	0	0	47,514,022	72,170	0
PR	5,959,113	7,000	0	47,280,450	0	0	39,097,278	2,000	0	0	0	0	92,335,841	9,000	0
TB&T(Draft) Printing	3,009,050	0	0	75,190,500	0	0	61,154,000	0	0	0	0	0	139,353,550	0	0
Miscellaneous	70,187,215	44,300	5,418	45,803,700	46,918	240,340	32,084,616	11,146	382,575	4,489,600	0	41,880	152,565,131	102,364	670,213
Total	279,276,958	635,964	688,547	420,991,222	1,020,567	619,461	268,842,782	503,065	425,317	10,034,510	37,421	41,880	979,145,472	2,197,017	1,775,205
Total(MMK)			1,036,710,070		1,773,506,167		1,024,703,971		68,954,179				3,901,584,388		
	1USD = 1,190.90MMK (OANDA2016.3.31)			1USD = 1,325.21MMK (OANDA2018.3.31)			1USD = 1,502.45MMK (OANDA2019.3.31)			1USD = 1,518.23MMK (OANDA2019.5.31)					
	1JPY = 0.092MMK (Rate of March 2016 given by JICA)			1JPY = 0.080310MMK (Rate of March 2018 given by JICA)			1JPY = 0.073310MMK (Rate of March 2019 given by JICA)			1JPY = 0.07370MMK (Rate of May 2019 given by JICA)					

Khanywin
Th
Sum

5. List of Equipment

	Item	Specification(Model Name/No, Manufacturer)	Quantity	Unit Price	Currency	Sub-total	Deliver Date	user	Condition
1	Projector	VS18000 / e-PRO	1	1,000,000	MMK	1,000,000	12-Jun-14	IT Team	Faulty, not sure if repairable
2	Laptop	Inspiron 14R-5437 / Dell	7	719	USD	5,033	16-Jun-14	Available	6 Good Condition 1 Good condition but RAM is taken out and used for DHMM
3	Projector	CP-X3030WN / Hitachi	2	692,000	MMK	1,384,000	15-Jun-14	IT Team	Disposed because of faulty
4	Projector	PT-LX30H / Panasonic	1	743,000	MMK	743,000	15-Jun-14	IT Team	Good Condition
5	Laptop	Inspiron 14R-5437 / Dell	3	719	USD	2,157	2-Jul-14	Available	Good Condition
6	Projector	MX3111U / Sharp	2	4,950	USD	9,900	18-Jul-14	Science,PE	Good Condition
7	Laptop computer	Inspiron 15R-3542 / Dell	5	495,000	MMK	2,490,000	7-Aug-14	Available	Good Condition
8	Camera	HDR-PJ350 / Sony	1	524,000	MMK	524,000	14-Aug-14	T-Kyi	Good Condition
9	Desktop Computer	H97-PRO / ASUS	3	993,000	MMK	2,889,000	19-Aug-14	Available	Good Condition
10	Camera	D5200 / Nikon	1	575,000	MMK	575,000	20-Aug-14	T-Kyi	Good Condition
11	Desktop Computer	B85M / ASUS	1	580,000	MMK	580,000	5-Sep-14	IT Team	Good Condition
12	UPS	EP3000 / GE	1	1,390,000	MMK	1,390,000	8-Sep-14	IT Team	Disposed because of faulty
13	Printer	IR ADV C5235 / Canon	1	10,100	USD	10,100	17-Sep-14	IT Team	Good Condition
14	Laptop computer	Inspiron 14R-5437 / Dell	2	609,000	MMK	1,218,000	2-Oct-14	Daw Tin Tin Shu	Good Condition
15	Software	CS 6 Design Standard / Adobe	3	1,470,000	MMK	4,410,000	10-Oct-14	License Invalid	1 Invalid 2 valid
16	Projector	VPL-DX147 / Sony	1	794,000	MMK	794,000	14-Oct-14	IT Team	Good Condition
17	Air conditioner	CS513PKH / Panasonic	2	490,000	MMK	980,000	17-Oct-14	Admin Assistant	Good Condition
18	Server	T320 / Dell	1	3,280	USD	3,280	17-Oct-14	IT Team	Good Condition
19	Printer	CM305DF / FujiXerox	3	850,000	MMK	2,550,000	30-Oct-14	Admin Office	Good Condition
20	Air conditioner	1.5 HP CS/ICU S 13 PKH / Panasonic	20	463,500	MMK	9,270,000	2-Dec-14	Admin Assistant	Good Condition
21	Network Equipment	B85 / ASUS	1	580,000	MMK	580,000	3-Dec-14	IT Team	Disposed because of faulty
22	Network Equipment	27U / VIETRACK	1	1,145	USD	1,145	8-Dec-14	IT Team	Good Condition
23	Laptop computer	Inspiron3442 / Dell	59	510	USD	30,090	8-Jan-15	Available	1 Disposed because of faulty 1 Repairable LCD issue 57 Good Condition
24	Camera	HDR-PJ540 / Sony	1	665,000	MMK	665,000	8-Jan-15	T-Kyi	Good Condition
25	Camera	DCR-SD1000E / Sony	1	900,000	MMK	900,000	14-Jan-15	T-Kyi	Good Condition
26	Generator	DCA 60 / Denyo	1	20,800,000	MMK	20,800,000	6-Feb-15	Admin Assistant	Good Condition
27	Laptop computer	Aspire E5-471 / Acer	2	540,000	MMK	1,080,000	18-Mar-15	Aye Yu Zaw	Good Condition
28	Air conditioner	1.5 HP CS/ICU S 13 PKH / Panasonic	1	541,000	MMK	541,000	9-May-15	Admin Assistant	Good Condition
29	Desktop Computer	H97-PRO / ASUS	4	838,000	MMK	3,352,000	17-Jun-15	IT Team	Good condition
30	Network Equipment	80D / Fortigate	1	4,217	USD	4,217	11-Sep-15	IT Team	Good Condition
31	Illustrator accessoires	Ipad Air 2 / Apple	3	489	USD	1,467	23-Oct-15	connect use with camera	Good Condition
32	Sound System	YYC-1000 / Yamaha	1	88,385	JPY	88,385	25-Nov-15	IT Team	Good Condition
33	Projector	VS18000 / ViewSonic	1	1,100	USD	1,100	4-Dec-15	IT Team	Good Condition
34	Camera	D7200 / Nikon	1	1,370,000	MMK	1,370,000	10-Dec-15	T-Kyi	Good Condition
35	Electrical Equipment	Y135 2500 / Orion Orion	1	18,351,000	MMK	18,351,000	7-Jan-16	Admin Assistant	Good Condition
36	Laptop computer	Inspiron 5458 / Dell	4	689,000	MMK	2,756,000	12-Jan-16	Daw San Myint Tun	Good Condition
37	Office Equipment	500X / GBC	1	1,440	USD	1,440	12-Jan-16	Admin Office	Good Condition
38	Laptop computer	Inspiron 5458 / Dell	1	530	USD	530	26-Jan-16	Available	Good Condition
39	Air conditioner	CS-S13RKH / Panasonic	3	600,000	MMK	1,800,000	27-Jan-16	Admin Assistant	Good Condition
40	Server	PowerEdge R320 / Dell	2	3,545,225	MMK	7,090,450	27-Jan-16	IT Team	Good Condition
41	Network Equipment	DS1815+ / Synology	1	4,633,673	MMK	4,633,673	9-Mar-16	IT Team	Good Condition

Phase1

K
Wawun
mm

Item	Specification(Model Name/No, Manufacturer)	Quantity	Unit Price	Currency	Sub-total	Deliver Date	user	Condition
42 UPS	Falcon+ 1100 / Su-Kam	1	550,000	MMK	550,000	1-Jun-16	IT Team	Good Condition
43 Network Equipment	Zonelflex R-700 / Ruckus	2	770	USD	1,540	20-Jun-16	Beyond Repair	Faulty, beyond repair
44 Software	Acrobat Pro DC / Adobe	1	54,800	JPY	54,800	23-Jun-16	Daw Phyu Phyu Theint	Valid
45 Laptop computer	Inspiron 7559 / Dell	1	1,190,000	MMK	1,190,000	26-Oct-16	T-Kyi	Good Condition
46 Printer	IR ADV C2220 / Canon	1	3,500	USD	3,500	31-Oct-16	Lifeskill, M&C, Social	Good Condition
47 Network Equipment	DS216HI / Synology	1	475	USD	475	21-Dec-16	IT Team	Good Condition
48 Network Equipment	DS1819+ / Synology	1	1,234	USD	1,234	5-Jan-17	IT Team	Good Condition
49 Network Equipment	Red Pro 8TB / Western Digital	8	587	USD	4,696	5-Jan-17	IT Team	Good Condition
50 Projector	PJD-5232L / ViewSonic	2	624,000	MMK	1,248,000	27-Jan-17	IT Team	Good Condition
51 Network Equipment	AS42U / Syntax	1	785	USD	785	28-Mar-17	IT Team	Good Condition
52 UPS	RT1000XL / Schneider	2	4,190	USD	8,380	28-Mar-17	IT Team	Good Condition
53 Camera	AF-S VR 105mm f2.8 / Nikkor	1	89,484	JPY	89,484	30-Mar-17	T-Kyi	Good Condition
54 Laptop computer	PRIME Z270-A / Asus	1	1,176,700	MMK	1,176,700	3-Apr-17	Daw Khine Nyem Zaw	Good Condition
55 Printer	Versant80 / FujiXerox	1	52,311	USD	52,311	9-May-17	IT Team	Good Condition
56 Laptop computer	Aspire F5-573G / Acer	17	843	USD	10,931	10-Jul-17	Ma Zin Min Lwin Tun	16 Good Condition 1 Repairable LCD Issue
57 Software	Office 2016 / Microsoft	8	560	USD	4,480	20-Sep-17	IT Team	Valid
58 Software	Acrobat DC Pro 2017 / Adobe	10	62,800	JPY	628,000	15-Feb-18	Daw Soe Soe Myint	Valid
59 Network Equipment	RS18017x8 / Synology	1	6,400	USD	6,400	15-Feb-18	IT Team	Good Condition
60 Desktop Computer	B250M-Plus / Asus	8	1,507,400	MMK	12,059,200	15-Feb-18	U Win Myint Co	Good Condition
61 Network Equipment	WD 8001 Red Pro 8TB / Western Digital	10	550	USD	5,500	15-Feb-18	IT Team	Good Condition
62 Printer	MX-3114N / Sharp	2	5,200	USD	10,400	8-Mar-18	Admin Office	Good Condition
63 Projector	X137WH / Acer	1	555	USD	555	9-Mar-18	IT Team	Good Condition
64 UPS	RT1000XL / APC	1	3,850	USD	3,850	9-Mar-18	IT Team	Good Condition
65 Projector	CP-X4042WN Hitachi	1	830	USD	830	16-Mar-18	IT Team	Good Condition
Phase2								
66 Server	PowerEdge R330 / Dell	1	3,360	USD	3,360	4-Mar-19	IT Team	Good Condition
67 Desktop Computer	B250 / MSI	1	1,600,000	MMK	1,600,000	5-Mar-19	T Kyi Yee Yint	Good Condition
68 Sound System	ZED 60 14FX / Allen and Heath	1	670,000	MMK	670,000	7-Mar-19	IT Team	Good Condition
69 Sound System	K8.2 / QSC	4	1,360,000	MMK	5,440,000	7-Mar-19	IT Team	Good Condition
Phase3								

Summary

Phase1			Phase2			Phase3			Total		
MMK	USD	JPY	MMK	USD	JPY	MMK	USD	JPY	MMK	USD	JPY
94,726,123	70,439	86,365	16,223,900	115,707	772,284	7,710,000	3,360	0	118,660,023	189,506	858,629

Sub-total 178,619,874 MMK Sub-total 169,621,994 MMK Sub-total 12,758,232 MMK Total 361,000,100 MMK

1USD= 1190.90 MMK 1USD= 1325.21 MMK 1USD= 1502.45 MMK

(OANDA2016.3.31) (OANDA2018.3.31) (OANDA2019.3.31)

1JPY= 0.092 MMK 1JPY= 0.080310 MMK

(Rate of March 2016 given by JICA) (Rate of March 2018 given by JICA)

Handwritten signatures and initials:
 K
 Klay Win
 E
 J

Annex 5: Inputs by Myanmar Side

1. Counterparts Personnel

No	Name	Department	Designation	Subject In charge	Period
Myanmar					
1	Daw Thuang Thinn Aye	Myanmar (Academic), Yankin EC	Lecturer	Myanmar	2013-Sep
2	Daw May Zin Oo	BEPPS ,Zyganinegyi, Bago (East) Region, DBE	Junior Teacher	Myanmar	2013-Sep
3	Daw Khin Aye Moe	Language, Bogalay EC	Head of Department	Myanmar	2015-Aug
4	Daw Nwe Ni Hlaing	BEHS (Branch), Thapyaegone, Dala Township, Yangon Region, DBE	Junior Teacher	Myanmar	2015-Dec
5	Daw Aye Aye Khaing	BEMS (3), Sangchaung, Yangon Region, DBE	Junior Teacher	Myanmar	2016-Jan
6	Daw Maw Maw	Curriculum, DERPT	Staff Officer	Myanmar	2017-Jul
English					
7	Daw May Thu Aung	Curriculum, DERPT	Curriculum Developer (1)	English	2013-Sep
8	Daw Saw Mya Nandar	BEMS, Holeik, Pyin Oo Lwin, Mandalay Region, DBE	Junior teacher	English	2013-Sep
9	Daw Hnin Oo Yan	Curriculum, DERPT	Curriculum Developer (1)	English	2013-Sep
10	Daw Win Yu Aye	Language (English), Sagaing EC	Assistant Lecturer	English	2014-Aug
11	Daw Su Han	Language (English), Yankin EC	Tutor	English	2015-Aug
12	Daw Aye Aye Thant	Yangon University, English Dept.	Lecturer	English	2017-Jul
13	Daw Phyu Phyu	Yangon University, English Dept.	Assistant Lecturer	English	2017-Aug
14	Daw Ei Phyo Zaw	DERPT	Curriculum Developer 2	English	2019-May
Mathematics					
15	Daw Thuzar Khine	Mathematics (Academic) Pyay EC	Lecturer	Maths	2013-Sep
16	Daw Su Thandar Aung	BEMS (2) Dagon (S), Yangon Region, DBE-3	Primary teacher	Maths	2013-Sep
17	U Soe Naing	Methodology, Loikaw EC	Head of Department	Maths	2013-Sep
18	Daw Thin Nu Zar	Curriculum, DERPT	Curriculum Developer (2)	Maths	2013-Nov
19	Daw Wah Wah	BEHS(Sub), Wahtayar, Hlan-da-binn Tsp., Yangon Region, DBE	Junior Teacher	Maths	2018-Sep
20	Daw Lwe Ziang	Hlegu EC	Lecturer	Maths	2019-Apr
21	Dr. Hla Thet Paing	Educational Theory Department, Yankin EC	Assistant Lecturer	Maths	2019-Apr
Science					
22	Dr. Kay Thi Maw	Science (Methodology), Taungoo EC	Lecturer	Science	2013-Sep
23	Daw Sandar Kyaw	Science (Methodology), Pyay EC	Assistant Lecturer	Science	2015-Dec
24	Daw Sandar Win Myint	District Education Office (East), Yangon Region, DBE	Staff Officer (Inspection)	Science	2016-Jul
25	Dr. Khaung May Lait	Botany Department, Yangon University	Lecturer	Science	2017-Jun
26	Daw Soe Soe Nwe	Science (Methodology), Bogalay EC	Assistant Lecturer	Science	2018-Mar
27	Dr. Aye Mya Phyu	Zoology, YU	Lecturer	Science	2019-Jan
Social Studies					
28	Daw Khin Sandar Win	Curriculum, DERPT	Staff Officer	Geography	2013-Sep
29	Daw Khaing Khaing Myint	Academic (Arts), Yankin EC	Head of Department	Geography	2013-Sep
30	Daw Aye Aye Than	BEHS- Nyaungbinthar, Pyinnmana, Naypyitaw Region, DBE-2	Junior teacher	Geography	2013-Sep
31	Daw Thandar Aung	Academic (Arts), Bogalay EC	Head of Department	Geography	2014-Sep
32	Daw Zarchi Seint Seint Win	BEMS (Branch), Hlegu, Yangon Region, DBE-3	Primary teacher	History	2013-Sep
33	Dr. Ei Ei Zaw	YUOE, History Dept.	Lecturer	History	2017-Aug
Morality and Civics					
34	Daw Khin Swe Win	BEHS (5) Myaungmya, Ayeyarwady Region, DBE-1	Junior Teacher	Moral and Civics	2013-Sep
35	Daw Nant Myint Myint Aye	Methodology (History), Yankin EC	Lecturer	Moral and Civics	2014-Aug
36	U Tin Chit	Curriculum, DERPT	Staff Officer	Moral and Civics	2017-Jul

kh

Wang Win *Thy* *Jun*

No	Name	Department	Designation	Subject in charge	Period
Life Skills					
37	Daw Khine Yin Mon	Curriculum, DERPT	Curriculum Developer (1)	Lifeskill	2014-Aug
38	Daw Khine Su Wai	Curriculum, DERPT	Curriculum Developer (2)	Lifeskill	2014-Jul
39	U Tin Win Naing	BEPS (Post Primary), Dawwi, Tharyarwaddi, Bago Region, DBE	Junior Teacher	Lifeskill	2018-Sep
40	Daw Oo Khin Win	BEMS (7), North Okkalappa, Yangon Region, DBE	Junior Teacher	Lifeskill	2018-Sep
Physical Education					
41	U Than Min Soe	BEHS Myit Nge, Amarapura, Mandalay Region, DBE-2	Primary Teacher	Physical Education	2013-Sep
42	Daw Khin Myo Maw	Curriculum, DERPT	Deputy Staff Officer	Physical Education	2017-Jul
43	Daw Khin Moe Myint	YUOE, Dept. Physical School Health Education	Lecturer	Physical Education	2019-Mar
44	Daw Thida Hlaing	YEC, Dept. of Educational Theory	Lecturer	Physical Education	2019-Mar
Performing Arts					
45	Daw Sandar Myint	BEHS (1) Lewal, Naypyitaw, DBE-2	Junior teacher	Music	2013-Sep
46	Daw Aye Aye Myint	BEPS -Maygon, Shwebo, Sagaing Region, DBE-2	Junior teacher	Music	2013-Sep
47	U Kyaw Myint	Education, Lashio EC	Head of Department	Music	2014-Sep
48	Daw May Phyu Sin	Curriculum, DERPT	Staff Officer	Music	2017-May
Visual Arts					
49	U Shwe Mya Tha	Visual Arts, Hlegu EC	Lecturer	Drawing	2015-Jun
50	U Maung Thein Pe	Education, Kyaukphyu EC	Head of Department	Drawing	2015-Jun
51	Daw Mya Pwint Phyu	Post Primary South Dagon, Yangon Region, DBE	Primary teacher	Drawing	2018-Sep
52	U San Lynn Thu	BEPS Nyaung Lann Kan, Yangon Region, DBE	Primary teacher	Drawing	2018-Sep
53	Daw Phoo Ngon Si	BEPS Kyet Shar Soon Village, Kyan Khin, Ayeyarwaddy Region, DBE	Primary teacher	Drawing	2018-Sep
Computer Operator					
54	U Win Myint Oo	Curriculum, DERPT	Computer Operator	Computer	2014-Jun
55	Daw Swe Zin Myit	DEPT	Computer Operator	Computer	2014-Jun
56	Daw Si Si Aung Twin	Computer Dept., Yankin EC	Junior Clerk	Computer	2014-Jun
57	Daw Khine Nyein Zaw	BEPS (7), Yankin, Yangon Region, DBE	Junior teacher	Computer	2015-Dec
Teacher Education					
58	Daw Aye Aye Than	Methodology, Yankin EC	Head of Department	Teacher Education	2014-Jul
59	Daw Lwe Lwe Khaing	Methodology, Thingangyun EC	Head of Department	Teacher Education	2014-Aug
60	Daw Naw Eh Wah	Methodology (Geography), Hpa-an EC	Assistant Lecturer	Teacher Education	2015-Oct
61	Daw Po Po	Language, Meiktila EC	Head of Department	Teacher Education	2015-Sep
62	Daw Kyi Kyi Myint	Educational Psychology, Yangkin EC	Assistant Lecturer	Teacher Education	2015-Sep
63	Daw Tin May Yee	Methodology (Geography), Thingangyun EC	Assistant Lecturer	Teacher Education	2015-Sep
64	Daw San Myint Tun	Education, Meiktila EC	Head of Department	Teacher Education	2015-Sep
65	Daw Thandar Thway	Methodology (Science), Pyaw EC	Tutor	Teacher Education	2017-Aug
66	Daw Thae Wut Yi	Methodology (Myanmar), Yankin EC	Assistant Lecturer	Teacher Education	2017-Oct

Full-time
Full-time
Part-time 10-May-17 Full-time
Part-time 10-May-17 Full-time
Part-time
Part-time 10-May-17 Full-time
Part-time
Full-time
Full-time

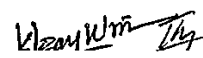


※Excluding 29 retired/transferred/quit counterpart

[Handwritten signatures and initials]

2. Expenditure Born by Myanmar Side

Items	million kyats			Total
	G1	G2	G3	
TB+TG+Training Manual	2,719,225	4,195,206	8,974,088	15,888,519
Teaching Learning Material	3,288,800	966,409	1,484,748	5,739,957
Training expense born by DERPT	317,413	231,133	117,702	666,248
Training expense born by DBE	5,653,935	14,417,025	11,442,279	31,513,239
EC Training expense born by DHE	43,888	61,319	36,820	142,028
Total	12,023,261	19,871,092	22,055,637	53,949,990

Grand Total (MMK) : 53,950 million MMK

Annex 6: List of Introduction Training

1. Supervisors

Grade	Level (Layer)	Date	Length	Trainers		Trainees	
				Attribute	Number	Attribute	Number
G1	Central	1 st batch: 16-17 Jan 2017	2 days	CREATE TE CPs	10	Representatives from SEO/REO, DEO, and TEO	411
		2 nd batch: 19-20 Jan 2017					
G2	Central	1 st batch: 14-15 Dec, 2017	2 days	CREATE TE CPs, DBE officials, DHE	6	Representatives from SEO/REO, DEO, and TEO	399
		2 nd batch: 19-20 Dec, 2017					
G3	Central	1 st batch: 17 Dec, 2018	1 day	CREATE TE CPs, DBE officials, DHE	5	Representatives from SEO/REO, DEO, and TEO, Representatives from EC	568
		2 nd batch: 20 Dec, 2018					

2. In-service teachers

Grade	Level (Layer)	Date	Length	Trainers		Trainees	
				Attribute	Number	Attribute	Number
G1	Central (Layer 1)	1 st batch: 23 Jan – 7 Feb 2017 2 nd batch 13 – 28 Feb, 2017	14 days	CREATE CDT and TE-CP	Approx. 60	Representatives from State/Region Representatives from EC	287
	State/Region (Layer 2)	24 Mar – 8 April 2017	14 days	Participants of Layer 1	228	Representatives from State/Region (primary head and teachers)	3,960
	Township (Layer 3)	26 April – 11 May 2017	14 days	Participants of Layer 2	3,960	Representatives from District/township (primary head and teachers)	7,570
	School Cluster (Layer 4)	13 – 26 May 2017	14 days	Participants of Layer 3	7,570	All primary heads and teachers	100,530
G2	Central (Layer 1)	1 st batch: 15-19 Jan, 2018 2 nd batch 22-26 Jan, 2018 3 rd batch: 29 Jan -2 Feb, 2018	5 days	CREATE CDT and TE-CP	Approx. 60	Representatives from EC	320
	State/Region (Layer 2)	30 Mar – 12 Apr, 2018	9 days	Participants of Layer 1	320	Representatives from state/region (primary head and teachers)	2,171
	Township (Layer 3)	19 Apr – 5 May 2018	14 days	Participants of Layer 2	2,171	Representatives from District/township (primary head and teachers)	21,921
	School Cluster (Layer 4)	8-23 May 2018	14 days	Participants of Layer 3	21,921	All primary heads and teachers	185,573
G3	Central (Layer 1)	1 st batch: 21-25 Jan 2019 2 nd batch: 28 Jan - 1 Feb 2019 3 rd batch: 4-8 Feb 2019	5 days	CREATE CDT and TE-CP	Approx. 60	Representatives from EC	314
	State/Region (Layer 2)	1-10 April, 2019	9 days	Participants of Layer 1	314	Representatives from state/region (primary head and teachers)	2,272

Khandu Singh
2m



Grade	Level (Layer)	Date	Length	Trainers		Trainees	
				Attribute	Number	Attribute	Number
	District (Layer 3)	22 April – 8 May 2019	14 days	Participants of Layer 2	2,272	Representatives from District/township (primary head and teachers)	21,970
	Township (Layer 4)	10-25 May 2019	14 days	Participants of Layer 3	21,970	All primary heads and teachers	217,263

3. Teacher educators and students of Education Colleges

Grade	Level (Layer)	Date	Length	Trainers		Trainees	
				Attribute	Number	Attribute	Number
G1	Central	1 st batch: 29 May - 2 June 2017 2 nd batch: 5-9 June, 2017 3 rd batch: 12-16 June 2017	5 days	CREATE TE-CP	12	Representatives from EC	300
	Training within EC for EC teacher educators	During 19-30 June 2017 determined by each EC	4 days (3 hours x 8 session)	Participants of Central training	300	All teacher educators	1,709
	Training within EC for EC students	During 3-31 July 2017 determined by each EC	6.5 days (3 hours x 13 session)	EC teacher educators	1,709	PPTT and 2 nd year students	11,000
G2	Central	1 st batch: 15-19 Jan, 2018 2 nd batch 22-26 Jan, 2018 3 rd batch: 29 Jan -2 Feb, 2018	5 days per subject	CREATE CDT and TE-CP	Approx. 60	Representatives from EC	320
	Training within EC for EC teacher educators	During March 2018 determined by each EC	4 days (3 hours x 8 session)	Participants of Central training	351	All teacher educators	1,729
	Training within EC for EC students	During April 2018 for PPTT students During June 2018 for the 2 nd year students	11 days (3 hours x 22 session)	EC teacher educators	1,729	PPTT and 2 nd year students	1,2485
G3	Central	1 st batch: 21-25 Jan 2019 2 nd batch: 28 Jan - 1 Feb 2019 3 rd batch: 4-8 Feb 2019	5 days per subject	CREATE CDT and TE-CP	Approx. 60	Representatives from State/Region Representatives from EC	314
	Training within EC for EC teacher educators	During last week of February, 2019	3 days	Participants of Central training	314	All teacher educators	Approx. 1,800
	Training within EC for EC students	July 2019 for PPTT students and 2 nd year students	3 periods at EC	EC teacher educators	Approx. 1,800	PPTT and 2 nd year students	Approx. 17,000

Annex 7: Progress of Activities

Outputs	Activities	Progress
Output 1: The new curriculum framework is developed	1-1. Provide technical support to the formulation of the new curriculum policy and strategy through CESR process and by other means.	• Completed by 2016
	1-2. Provide technical assistance to finalize curriculum framework.	• Completed by 2016
	1-3. Formulate aims and objectives for each area of learning.	• Completed by December 2018 for G4
	1-4. Provide technical assistance to develop subject-wise curriculum including contents per grade.	• Same as above
	1-5. Identify appropriate teaching-learning strategies for each subject	• Completed by January 2019 for G4
	1-6. Identify applicable strategies/techniques for assessing pupils' achievement.	• Planned to complete by July 2019 for G4
Output 2: The new textbooks and teacher's guides are developed.	2-1. Provide technical support to the formulation of guidelines for new textbook and teacher's guide.	• Reviewed Textbook and Teacher's Guide Development Guideline (Ver 12.2) and modified as version 13, then will be announced concerned persons in July 2019
	2-2. Define scope and sequences of contents of textbook per grade based on the new curriculum framework.	• CDT developed scope and sequence of textbook of G4 according to the curriculum outline and reviewed and approved by SWC.
	2-3. Define development procedures of new textbooks and teacher's guides.	• Development procedure of G4 textbooks was agreed at the kick-off meeting for G4 on 11 December 2018.
	2-4. Draft new textbooks and new teacher's guide.	• Drafting G4 textbook and teacher's guides.
	2-5. Coordinate with SWC for developing and improving new textbooks and new teacher's guide.	• Organize SWC meeting for reviewing G4 drafted textbooks by subject.
	2-6. Coordinate with NCC for finalizing new textbooks and new teacher's guide.	• Science G4 textbook was submitted to NCC for approval
Output 3: The new assessment tools are developed.	3-1. Provide technical support to the formulation of new assessment policy and strategy through CESR process and by other means.	• Draft 1.3.1 of National Action Plan (NAP) is completed by MOE. • Consultation meeting was held on 23&24 May 2019.
	3-2. Develop a sample test collection in line with the new curriculum principles, a part of which will be included in teacher's guides.	• G1 and G2 sample exercises were distributed to all primary teachers by MOE. • G3 sample exercises was developed and submitted to DERPT.
	3-3. Develop a guideline on how to utilize the sample test collection.	• Drafting "Reference book for classroom assessment for lower primary (G1-G3)" to emphasis on how to use exercise item by teachers.
	3-4. Review and revise sample test collection and guidelines.	• Reviewed G1 and G2 sample exercises with CDT and made a collection and addition.

Output 4: The new primary curriculum is disseminated to ECs.	4-1. Provide technical support to the formulation of new teacher education policy and strategy through CESR process and by other means.	<ul style="list-style-type: none"> Completed input from the project and UNSECO is now supporting.
	4-2. Analyze consistency between the new primary curriculum framework and the current EC curriculum.	<ul style="list-style-type: none"> Completed by February 2016.
	4-3. Draft syllabi of teaching methodology subjects in ECs based on the analysis (described in the activity 4-2) and the on-going teacher education reform.	<ul style="list-style-type: none"> Completed by August 2018
	4-4. Develop teaching-learning materials and supplemental materials for ECs that reflect the new primary curriculum ¹ .	<ul style="list-style-type: none"> Developed contents of teaching methodology (lesson plan, lecture note, student support materials) in 10 learning areas of G1 & G2. Provided and explained developed contents to UNESCO recruited consultant team and CCT (Core Curriculum Team) and joined in discussion of how to integrate them into 1st year of EC textbooks and teacher's guide
	4-5. Develop a training plan and training materials for EC trainers.	<ul style="list-style-type: none"> Developed training plan and materials of new G3 for EC trainers.
	4-6. Conduct training for EC trainers	<ul style="list-style-type: none"> Conducted training for about 300 EC instructors in INSET central training held in January and February 2019. Training for EC instructors and PPTT students at each EC is delaying due to the delay of training module printing and scheduled after July 2019.
Output 5: Dissemination activities of the new curriculum are introduced.	5-1. Provide technical support to the formulation of dissemination strategy of the new curriculum through CESR process and by other means.	<ul style="list-style-type: none"> Organized a review meeting on G3 INSET monitoring with in-charge departments (DERPT, DBE and DHE) and confirmed the direction of G4 INSET.
	5-2. Develop a detail plan to disseminate the new curriculum through in-service teacher training.	<ul style="list-style-type: none"> Information collection to draft dissemination plan for new G4 is on-going
	5-3. Develop training/dissemination materials.	<ul style="list-style-type: none"> Development of G4 training materials (training video, module for participants) are started.
	5-4. Promote the dissemination activities for the new curriculum.	<ul style="list-style-type: none"> G3 training completed by May 2019 TV commercial to deepen understanding new curriculum to parents and the general public were broadcasted. Advertised on newspapers for new G3 implementation.

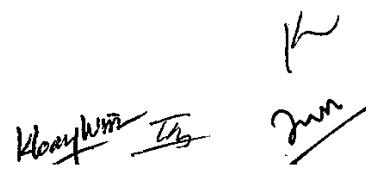
¹ The project has discussed continuously role of CREATE in developing new EC curriculum with DHE and UNESCO STEM and confirmed division of roles of EC textbook development after July 2018 when STEM completed EC textbook development system. As a result, it was confirmed that: (i) CREATE will develop and provide teaching materials (lesson plan, lecture note, student support materials) concerning teaching methodology in primary and (ii) STEM will draft EC textbooks and teacher's guide by outsourcing to Motrose consulting firm utilizing teaching materials provided by CREATE and finalize them upon comments from CCT. It was discussed how to utilize CREATE teaching materials in EC textbook development in August STEM workshop and all subject counterparts of CREATE participated in this workshop.

K

Klanwin The Jim

Annex 8: Evaluation Grid

	Item	Research Questions	Methods	Targets	
Relevance	Consistency with Development Plan	<ul style="list-style-type: none"> Consistency with priorities in the "Comprehensive Education Sector Review (2012-2015)" conducted by the MoE Consistency with the "National Education Strategic Plan (NESP)" approved in January 2017 	<ul style="list-style-type: none"> Questionnaire Interview 	DERPT Project team (Experts, CDT, TET)	
	Consistency with Development Needs	<ul style="list-style-type: none"> Confirmation of issues related to existing primary education curriculum Consistency with issues faced by MoE and schools and their needs (consistency with the education system reform, 4-year teacher training system, etc.) 	<ul style="list-style-type: none"> Interview Education statistics 	NEPC SWC NCC DERPT MoE advisor Donors Project team	
	Consistency with Japanese Policy	<ul style="list-style-type: none"> Alignment with the Japan-Myanmar Cooperation Program and the Japanese government's policy on Economic Cooperation to the Republic of the Union of Myanmar Comparative advantage in curriculum development support of Japan and JICA 	<ul style="list-style-type: none"> Interview Literature review 	Ministry of Foreign Affairs, JICA	
	Appropriateness as a Means	<ul style="list-style-type: none"> Relevance of comprehensive support such as curriculum framework, textbooks and teacher's guides, pre-service/ in-service teacher training, and assessment. Relevance of selection of subjects to be supported and the development process 	<ul style="list-style-type: none"> Interview Literature review 	DERPT MoE advisor Project team	
Effectiveness	Project Purpose (PDM ver. 4 : February 2019)	<p>Project Purpose: Educational activities in line with the new curriculum principles are implemented at the primary level of Basic Education Schools and Education Colleges (ECs)</p> <p>[Indicators]</p> <ol style="list-style-type: none"> New school timetable is introduced according to the curriculum implementation plan The new textbooks, including draft version, is introduced according to the curriculum implementation plan Lesson is introduced in line with the new curriculum, according to the curriculum implementation The new assessment system is introduced according to the curriculum implementation plan Disseminated teaching and learning materials and supplemental materials are used in ECs <ul style="list-style-type: none"> The use situation of the new curriculum, the implementation situation of the educational activity (see impact survey results etc.) 	<ul style="list-style-type: none"> Questionnaire Interview Impact survey report 	DERPT DBE DHE EC Teachers Students Project team	
	Outputs	Output 1: A new curriculum framework is developed [Indicator] 1-1 The new curriculum framework is proposed 1-2 The new curriculum framework is finalized by NCC through the recommendations of MOE	<ul style="list-style-type: none"> Formulation and approval of new curriculum framework (influence of reexamination in new administration) 	<ul style="list-style-type: none"> Questionnaire Interview Literature review 	NEPC NCC DERPT Project team
		Output 2: New textbooks and teacher's guides are developed [Indicator] 2-1 The new textbooks and the new teacher's guides are proposed 2-2 The new textbooks and the new teacher's guides are finalized by NCC through the recommendations of MoE	<ul style="list-style-type: none"> Development of new textbooks and teacher's manuals, approval by NCC Coordination between MoE and Ministry of Information on specifications and delivery after transferring textbook printing works to Ministry of Information Current distribution status, distribution plan, budget of new textbook and teacher's guides 		NCC SWC DERPT Project team
		Output 3: A new academic assessment tool are developed [Indicator] 3-1 The sample test collection is developed 3-2 The guideline on how to utilize the sample test collection is developed	<ul style="list-style-type: none"> Finalization status of regulation of NAP (National Assessment Policy) and Assessment Guideline. Current distribution, plan and budget of Sample test collection and utilization guidelines. 		NEPC NCC DERPT DBE Project team
		Output 4: The new primary curriculum is disseminated to ECs [Indicator] 4-1 Teaching and learning materials and supplemental materials are developed 4-2 Training for ECs is conducted according to the government set schedule	<ul style="list-style-type: none"> Current status of distribution, plan and budget of EC teaching and learning materials Implementation status and evaluation of "Training for EC" Coordination with MoE and UNESCO, status of reflection into EC curriculum supported by STEM and implementation schedule. 		DERPT DHE EC Donors (UNESCO) Project team
		Output 5: Dissemination activities of the new curriculum are introduced [Indicator] 5-1 A training package is developed 5-2 Teacher training dissemination activities are conducted according to the government-set schedule	<ul style="list-style-type: none"> Distribution situation, distribution plan, budget situation of training package for 		DERPT DBE Teachers Project team



	school teachers		
	<ul style="list-style-type: none"> Current implementation status of dissemination activities to school teachers and evaluation by teachers 		
	Causal Relationship <ul style="list-style-type: none"> Degree of fulfillment of external factors (approval of new curriculum by the MoE and NCC, Expansion of the curriculum by administrative officers) for achieving the Project Purpose Hindering factors for the achievement of the project purpose and its countermeasures (textbook distribution status (especially in lower grades), evaluation policy (NAP) approval, curriculum framework approval, communication between CDT and SWC, textbook print quality, etc.) 		NEPC NCC SWC DERPT DBE EC Teachers/Students Project team
Impacts	Overall Goal <p>Overall Goal: The new curriculum at primary level of basic education is implemented nationwide [Indicator]</p> <ol style="list-style-type: none"> The new school timetable is in use The new textbooks are in use Lesson is conducted in line with new curriculum The new assessment tools are used The new primary curriculum is reflected in new EC curriculum <ul style="list-style-type: none"> Implementation status of classes, textbooks, exams and teacher training in line with new curriculum stated as indicators. Review indicators of overall goals and project purpose (plan for full implementation of new curriculum, schedule) 	<ul style="list-style-type: none"> Questionnaire Interview Impact survey results 	NEPC NCC SWC DERPT DBE DHE EC Teachers/Students Project team
	Ripple effect <ul style="list-style-type: none"> Achievements and effects of public relations and educational activities (new curriculum website, Facebook etc.) Possibilities of know-how in curriculum development spreading to KG and secondary education supported by other donors. 	<ul style="list-style-type: none"> Interview Literature review 	DERPT Donors Project team
	Other <ul style="list-style-type: none"> Other positive / negative impacts (Student's comprehension, improvement of scores, satisfaction of textbooks, improvement of teacher training, etc.) Impact of support for emotional education subjects such as physical education, music and art, impact on acquisition of non-cognitive skills Impacts of cross-cutting perspectives such as human rights, peace building, human trafficking, and substance abuse described in textbooks 	<ul style="list-style-type: none"> Interview Impact survey report 	DERPT DBE EC Teachers/Students Project team
	Progress of Activities <ul style="list-style-type: none"> Current progress of activities related to Outputs 1 to 5, excess or deficiency of activities set to achieve the Outputs. Inhibiting factors for achieving the outputs (ex, assignment and transfer of counterparts and its countermeasures, quality of printed textbooks and those deadline, etc.) 	<ul style="list-style-type: none"> Interview 	DERPT Project team
Efficiency	Causal Relationship <ul style="list-style-type: none"> Excess or deficiency of activities set to achieve the Outputs. 	<ul style="list-style-type: none"> Interview 	Project team
	Inputs <ul style="list-style-type: none"> Validation of extension of project implementation period (scope of plan, revision of outputs) Field, number and dispatch timing of project experts Allocation status of project local staff Utilization and maintenance of project equipment 	<ul style="list-style-type: none"> Interview 	DERPT Project team
	Synergistic Effect with Other Projects <ul style="list-style-type: none"> Utilization of assets of precedent JICA technical cooperation project "Project for Strengthening of Child Centered Approach", and synergy with other scheme such as dispatch of education advisers to MoE 	<ul style="list-style-type: none"> Interview 	DERPT EoM advisor Project team
	Current Supports by other Donors <ul style="list-style-type: none"> Curriculum and assessment, activities in the sub-sector working group of higher education and teacher education, supports in education sector by other donors (UNESCO, UNICEF, ADB, WB etc.), duplication, synergy, effects, collaboration possibility with CREATE 	<ul style="list-style-type: none"> Interview 	Donors MoE advisor Project team
	Political and Institutional Aspects <ul style="list-style-type: none"> Positioning in the National Education Strategy Plan approved in January 2017, possibility of reflection of contains of CREATE in the next policy Current status of the review of the "New Curriculum Framework" under the new administration, its finalization (part of the secondary education) and approval. 	<ul style="list-style-type: none"> Interview Literature review 	DERPT Project team
Sustainability	Organizational Aspect <ul style="list-style-type: none"> Possibility of continuity after the completion of the project, possibility of establishing curriculum development in MoE The impacts of collaboration and communication gaps in the process of review by SWC and approval by NCC Impacts and countermeasures of resignation and transfer of CDT and TET members Current status of the coordination between the MoE and the Ministry of Information on arrangement of specifications and delivery dates of textbooks. 	<ul style="list-style-type: none"> Questionnaire Interview 	NEPC NCC SWC DERPT DBE DHE Project team
	Financial Aspect <ul style="list-style-type: none"> Financial situation of printing and distribution of textbooks and materials, and training for in-service and EC, (request, approved and actual amount of budget) Perspective of budget allocation and responsible department in MoE after the completion of the project 	<ul style="list-style-type: none"> Questionnaire Interview 	DERPT DBE DHE Project team
	Technical Aspect <ul style="list-style-type: none"> Capacity of CDT and TET on curriculum and textbook development and training implementation Understanding of newly assigned CDT and SWC on the new curriculum. Capacity of EC teachers to implement training for in-service teacher and training for EC 	<ul style="list-style-type: none"> Questionnaire Interview 	SWC DERPT DBE DHE Project team
	Necessity of Revision of Project Design <ul style="list-style-type: none"> Necessity of new activities for the establishment of the sustainable implementation system (strengthening the curriculum division in DERPT) 	<ul style="list-style-type: none"> Question sheet Interview 	DERPT Project team

